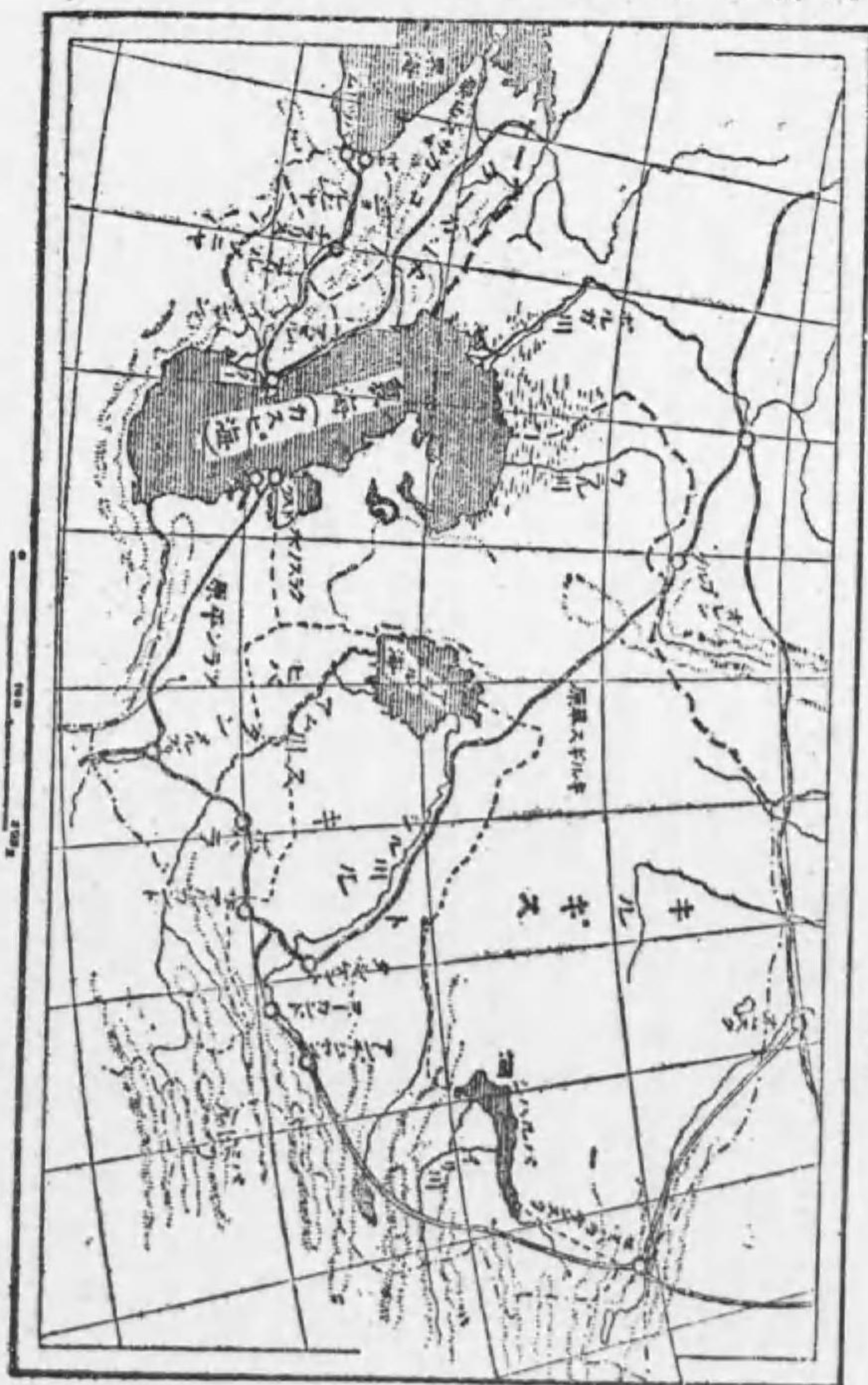


【タシケント】 中亞第一の大都會である。古來交通の要地、陸路貿易の中心地として發達した上に、近年、外裏海及びトルキスタンの兩鐵道が連接して、市況が益々盛になり人口は三十萬に近しい美しい市街で、産物に絹布・製革がある。

【サマルカンド】 タシケントの西南にある。帖木兒の舊都で、今に尙ほその城址や墳墓がある。露人の新市街もあり、商業が行はれ人口は九萬に餘る。



【メルブ】 アフガニスタンに對する軍事上、商業上の要地で、外裏海鐵道はこゝからクシクに支線を派してゐる。

【セミパラチンスク】 アルタイ鐵道の原地。

### 第三節 高加索

#### 通説

#### 位置・境域

裏海と黒海との間にある地方で、北はマニチ河の凹地帯によつて、歐羅巴露西亞に連り南はアルメニヤの山地の間に波斯及び土耳其と境を交へ、面積約三萬方里ある。

#### 地勢

中央は高峻な高加索山脈が東西に亘つて、城内が自ら南北の二部に分れる。高加索山脈は長さ三百里、高さ平均三千米を超え、南北兩側に急斜して、山脈の外形は世界山系中にも、類例の稀な程に美麗である。最高峰は海拔一萬九千尺に及び、この外雪線以上の峰が九つもあつて、これからの山上から壯大な氷河が懸つてゐる。山脈より北部の地は一帯に不毛の臺地をなして、遊牧の民の水草を追うて漂泊するにまかせ、山脈より南部の地はアルメニヤ山地との間に、地味の肥沃な溪谷を横へてゐる。

#### 氣候・産業

北部は雨が少く、草原が廣く、専ら牧畜が行はれて殊に馬が多い。

南部は温暖・多雨で、諸種の穀物や葡萄その他の果實がよく熟り、養蠶・養蜂が行はれ、牛その他の家畜も相當の數に上つてゐる。また裏海沿岸のバクー附近は世界屈指の石油産地である。

### 住民

人口約一二〇〇萬。歐亞兩大陸の間に横はる爲に、各地の住民が雜居して、六十幾種の言語が行はれ、風俗も隨つて雜駁である。ジョルジャ人は容貌の美を以て知られ、アルメニヤ人と猶太人とは商業に巧みである。

### 政治

北部はコーカシヤと稱して、露國勞農政府の下に自治區をなし、南部はグルジン・アゼルバイドジャン及びアルメニヤの三共和國に分れ、露國と同一の政體を立ててゐるが、共同した後高加索社會主義ソヴェト共和國と稱し露國聯邦の中に加はつてゐる。

### 處誌

【アゼルバイドジャン】この地方の東南部にあつて裏海に面する、やはり社會主義ソヴェト共和國で面積約五千六百万里、人口二百萬に餘る。住民の四分の一は回教徒である。石油の産に富む。  
【バクー】首府で、人口二五萬。裏海の岸にあり、油田の中心地をなし、石油は油槽車と鐵管とて之を黒海々岸のバツーム及びボチに送り、油槽船で各國に積出す。

【グルジン】アジェルバイドジャンの西に隣る。面積約四千三百万里、人口二三七萬ばかりの社會主義ソヴェト共和國で、住民の九割は農牧を業とし、穀物・果實等の産に富み、この地方に於ける三共和國の中でも一番人口の密度が大きい。

【チフリス】首府。高加索地方第一の大都會で、氣候風景も交通の便もよく、市況は盛で人口三十萬に達する。

【バツーム】黒海々岸の良港で、石油の輸出港として著はれてゐる。

【アルメニヤ】アルメニヤの山間に位し、面積約二千五百万里、人口一二一萬餘。同じく社會主義ソヴェト共和國で、首府をエリヴァン(人口九萬)といふ。ジョルジャのバツーム港を門戸とする。

### 問題

- 一、中亞細亞の位置・地勢。
- 二、中亞細亞の住民・生業。
- 三、高加索地方の地勢如何。
- 四、中亞細亞と高加索地方との人口密度を比較せよ。
- 五、中亞細亞及び高加索地方の産物を擧げよ。
- 六、高加索地方の住民。
- 七、高加索及び中亞の政治的區劃如何。
- 八、左記の地につきて。  
バクー　チフリス　ボチ　バツーム  
タシケント　コーカンド　サマルカンド
- 九、アマ・シルの兩河に就きて。
- 一〇、アラル海・裏海につきて。
- 一一、中亞細亞の鐵道につきて。

### 第九章 亞細亞洲總括

#### 第一節 地文

##### 地勢

【海岸】北・東・南の三面が、大洋に圍まれてゐる。北極洋方面は、出入が著しくない。尤もヤルマル半島・オプ灣の如きもあり、また海岸には一帯に低平の地がついてゐるけれども、年内の大部分、海陸共に凍結してゐて、夏季にさへ殆ど利用せられない。

印度洋方面は、中央に印度の大半島が突出して、ベンガル灣とアラビヤ海とを分ち、西部にもアラビヤが張出て、細長い紅海と波斯灣との間に世界第一の大半島をなしてゐる。

太平洋方面は、日本列島・馬來諸島等が綺麗に羅列



てゐて、大陸との間に南支那海・東支那海・日本海・オホーツク海・ベーリング海等多くの縁海を擁し、これら縁海の間々は臺灣島・朝鮮半島・樺太島・甘察加半島——島・半島・島・半島——によつて隔てられてゐる。

この外、地中海方面にも、小アジア半島の突出があつて地中海から黒海を離してゐる。

【山系】本州の大山脈は、中央の『世界の屋根』と稱せらるゝパミル高原から四方に派出し、その中で最も著はれてゐるのは、ヒマラヤ・外ヒマラヤ・カラコラム・崑崙・天山・スリマン・ヒンズークシヌ等の諸山脈である。

ヒマラヤ山脈は、世界最高の山脈で、印度及び支那の境上を走り、脈中に世界第一の高峰エベレスト（八八四〇米）をおこしてゐる。

ヒマラヤ山脈の北に外ヒマラヤ山脈、外ヒマラヤ山

脈の北にカラコラム山脈、カラコラム山脈の北に崑崙山脈が並び、崑崙山脈とヒマラヤ山脈との間が世界第一の高原西藏である。

崑崙山脈は東に走り、青海地方で、三派に分れ、中央をそのまま東に進むものは泰嶺（北嶺）となり、南に轉ずるものは支那山脈（南嶺）となり、北に向ふものは賀蘭山・陰山から興安嶺山脈につゞく。泰嶺の末は一且海に没するけれども再び顯はれて日本列島を造り、南嶺も遙に朝鮮南部の地體と脈絡する。

西藏高原の東の端は、東走せるヒマラヤ山脈と、南轉せる支那山脈との間に覺まつて幾條かの横斷山脈となり、印度支那地方に競ひ入つて印度支那山系といはれる。崑崙山脈の北には、タリム盆地を隔て、天山山脈が連り、天山山脈の北方には、之と大體に並行するアルタイ・サヤン等の諸山脈が簇りこれら諸山脈と興





【北部】 一帯に寒威酷烈で、シベリヤの東北部は世界最寒の地である。一年の大半は河も湖も悉く氷結してしまふ。極北部一面に凍土帯をなして樹木を生ぜない。

【西南部】 唯小亞細亞の沿岸地方のみは稍々溫和であるが、その他は大概炎熱寡雨で、所々に廣い沙漠が横はつて、世界最熱の地方とさへ稱せられる。

【中部】 土地が高くて海が遠いから、大概大陸性氣候で寒暑の差が最も甚しく、且つ雨量も少く、到る處に不毛の沙漠や草地を横へてゐる。

【東支那】 東部から南部にかけては、一帯に海洋性の特徴を有して、寒暑の差が甚しくなく、相當の雨量もあつて、概して氣候が良好である。但し南部の熱帶地方には夏季の酷熱の堪え難い程の處があり、また世界最多雨地と稱せられる處もある。また東南部の大部は季

節によつて風向を異にし、年内の半は東北風が吹き、半は西南風が吹き、その東北風の時は乾季、西南風の時は雨季をなし一般に植物の生育が甚だ盛である。

【註】 かやうに季節によつて吹く風を季節風と名づけ、季節風の吹く地方を季節風帯と稱する。我が國の大部、朝鮮南部、支那の一部は最も溫和である。

【註】 沙漠の分布 本洲の中央部には東南部の多雨帯と平行して、長く東西に横はる一つの大寒雨帯があり、蒙古のゴビから新疆省のタクラマカン・中亞細亞、及び西藏・イラン・アラビヤの高原からアフリカのサハラに亘る砂漠地をなしてゐる。

### 天産

本洲は土地が廣くて、地勢が複雑で、氣候も一樣で

### 第二編 亞細亞洲

ないから、天産も隨つて豊富で、且つ雜多である。

【中部・西部】 降雨の稀な草原帯では僅に、羊・馬・駱駝・整牛等の牧畜が行はれるくらゐであるけれども、

【南部・東部】 季節風帶熱帯林には榕樹・椰子樹・檳榔樹・チーク・マンゴローブ・藤・護謨等の類が繁茂して、屢々密林をなし、殊に肉桂・肉豆蔻・胡椒・丁子等の香料に富む。また植物の生育が盛であるから、米・茶・綿・麻・藍・阿片・珈琲・規那・甘蔗・煙草等の栽培が廣く行はれる。動物にも象・虎・豹・犀・獅子・狸々の類から大蛇・毒蛇・鱷・孔雀・鸚鵡等の如き大きなもの珍らしいものが多い。

【北部】 森林帯には蝦夷松・椴松・落葉松・樺等の針葉樹の密林があり、森林に近く貂・狐・白熊の知き毛皮獸が棲み、馴鹿や犬や養はれる。

また東北の近海には臘虎・臘胸獸・海豹・鯨等の海獸、

鯨・鱈・鮭等の魚族が多い。

この外、到る處に鐵物が埋藏せられ、東部の鐵、石類北部の金、東南部の錫等が最も著はれてゐる。

### 第二節 人文

#### 産業

【農業】 本洲の主要産業で、印度から日本に亘れる季節

風帯及びシベリヤ西南部の草地地帯等に最も廣く行はれ、米・大豆・茶・繭・生絲等は世界産額の大部を出す。

主要農産物及びその産地は次の如し。

米—印度・印度支那・馬來諸島・支那本部・日本。

茶—印度・錫蘭・瓜哇・支那本部・日本。

綿—印度・印度支那・支那本部。

砂糖—印度・印度支那・馬來諸島・支那本部・臺灣。

珈琲—印度・馬來諸島。

規那—馬來諸島。

香料—印度・馬來諸島。

阿片—印度。

藍—印度。

煙草—馬來諸島・印度・中亞細亞。

麻—印度・馬來諸島。

大豆—南滿洲。

生絲—日本・支那。

【牧畜業】 中部・西部の草原又は沙漠地方では、主産業

として羊・山羊・馬・牛・駱駝等を飼ひ、西藏では整牛を

養ふ。支那本部・滿洲等では牛・馬・羊等外に豚が多く、

印度には牛が多い。また印度及び印度支那では、盛に

水牛と象とを使役する。

【林業】 滿洲の東部及びシベリヤの中部には松・樺・樺

白楊等の良材を出し、支那東南部・印度支那・印度より

馬來諸島にかけて熱帯樹の良材に富み、殊に印度支那のチーク材・紫檀・黒檀等が最も名高い。また近年馬來諸島には盛に護謨が栽培せられる。

【水産業】 我が樺太・千島から甘察加の近海は、所謂世界

三大漁場の一で、日露の漁民が盛に出漁して、鱈・鯿・

鮭・鱒等の魚族、獵虎・臘胸獸・海豹等の海獸及び昆布等

の漁獲が少くない。

【鑛業】 各種の鑛物が豊富に埋藏せられてゐるに拘はら

ず、採掘は未だ十分でない。

石炭—日本・支那・印度・シベリヤに産する。

支那の埋藏量は頗る多くて、將來を有望視せられ

てゐる。

鐵—支那・シベリヤ等に産する。

金—シベリヤに多い。多く砂金である。

銅—日本に多い。

錫—馬來半島の産額は世界第一である。

石油—高加索・蘭領東印度等から出る。

寶石—支那の新彊省及び西藏・印度・錫蘭・印度支那・

ホルネオ等に産する。

【工業】 原料豊富で勞力にも乏しくないから、前途は有

望であるが、發達が尙ほ幼稚で、日本・印度及び支那の

一部にのみ行はれ、生絲・絹布・綿絲・綿布・製麻・製茶・

製糖・製鐵・造船・陶磁器製造等で主とする。

【商業】 歐米諸國に對し、原料品・食料品の供給地、加

工品の需要地として重要な關係を有し、東部の日本・支

那、南部の印度・印度支那には重要な商港が少くない。

就中、横濱・神戸・上海・漢口・香港・新嘉坡・甲谷陀・孟買

等を最も著しとする。中部から南西部に亘る沙漠・草

原地方には、今に尙ほ隊商によつて僅に貿易が行はれ

てゐる處が多い。

### 交通

【陸運】 内部の大山脈や高原・沙漠等が横はつて尙道路も備はらず、河川の利用も出来ない地方では、旅行運搬に専ら馬や駱駝が用ひ、北部の冬季、水陸共に凍結するやうな平原地方では橇を用ひ之を馴鹿又は犬に牽かせてゐる。

鐵道の發達は歐米に比べると著しく劣つてゐるけれども、東部・南部及び西部の平原地方の中には、列國の經營によつて次第にその著しいものがある。線路の延長は印度が第一で、日本・支那が之に次ぐ。

北方のシベリヤ鐵道は、外バイカル・黒龍江、ウスリ・東支・南滿洲・安奉・京義・京釜及び支那の諸鐵道と連絡して、世界交通の大幹線をなしてゐる。

【水運】 楊子江・黒龍江・ガンジス河・裏海等は最も多く

利用せられ、殊に楊子江の水運は列國の競争が行はれる程に盛である。

海上では、太平・印度の兩洋共に日・英・佛等諸國の汽船が活動してゐて、航路は横濱・神戸・上海・香港・新嘉坡・コロンボ等に集中し、主として歐洲・濠洲・北米・南米の諸港と連絡してゐる。

【電信】 陸上線は大陸を横斷して歐洲に通じ、海底線は長崎・上海・香港・新嘉坡等の各港、及び附近相互の間に通ずる外、太平洋を横斷して遠く北米に通ずるものがあり、南下して濠洲に連るものがあり、西の方歐洲に走るものもある。

また無線電信局も、近來各地に設けられて、通信が大層便利になつた。

### 住民

【人口】 大約八億七千萬に達し、世界全人口の半以上に當る。その密度は日本・支那・印度及び瓜哇等に最も大きく、此等の諸國の大河の流域又は沿海地方は世界に於ても人口の最も稠密な地方に數へられる。けれども中部から西部及び北部にかけては一體に稀薄で、シベリヤには無人の境がある。隨つて全洲の密度は歐洲の半にも及ばない。

【人種】 大要次のやうに區別せられる。最大多數を占め、主に東部・中部・北部に住む。

#### 一、亞細亞人種

- 北方民族
  - ツンクニス族(滿洲族)、蒙古族、土耳其族、大和民族、朝鮮族
- 南方民族
  - 漢族(支那族)、西藏族、印度支那族。

第二編 亞細亞洲



二、歐羅巴人種  
主として南部・西南部を占め、ヒンツ  
族(印度族)・イラン族・アラブ族等  
(ユラフ)  
(リカ人種)  
に分たれる。

三、海岸諸島  
東南部の馬來諸島及び印度の東南の  
一部に多く、馬來族・ドラビダ族等の  
別がある。

【宗教】 本洲は世界宗教の發源地で、夙くから各種の宗  
教が行はれて、靈地が甚だ多い。

佛 教  
印度に起つたものであるが、其の後東流して  
日本・支那・暹羅・緬甸・瓜哇等に行はれ、今は  
却つて印度にその迹を絶つてゐる。

印度教  
印度族本來の宗教であつた婆羅門教から脱化  
したもので、専ら佛敎東流後の印度に行はれ  
てゐる。

アラビヤ半島に起り、一にマホメツト敎とも

同 教  
いふ。中部・西南部に盛で、印度や馬來諸島の  
一部にも行はれる。

政 治

支那・印度及びメソポタミヤは共に世界文明の發源地  
で、波斯・アラビヤも亦夙くから開けた處である。けれど  
も、その後衰へて、今は一向に振はないのみならず、波  
斯・アラビヤに於ては、尙ほ昔のまゝに水草を逐うて移  
住することをつけてゐるものが多くある。

本洲に於ける獨立國は、我が帝國の外、支那共和國・土  
耳其共和國・暹羅王國・波斯王國等である。尙ほアルメ  
ニヤ・シヨルジヤ・アセルバイドジャン等の小共和國、及び

ネパール・アータン・アフガニスタン・ヘジャス等の酋長  
國も獨立の名義はあるが、その國勢は何れも弱小で、事  
實の名義に伴はぬものばかりである。

右の外、即ち全洲の約三分の二の地は、歐米諸國の領  
土又は准領土となつてゐる。今之を各國別に舉げてみる  
と、

- 英吉利
  - 印度・錫蘭・ベルチスタン・緬甸・海峽植民
  - 地・ホルネオ西北部・香港・九龍半島・威海
  - 衛・亞丁・オーマン・エルハサ・メソポタミ
  - ヤ・パレスタイン・外ヨルダン・ハドラマウ
  - ド等
- 佛蘭西
  - 佛領印度支那・廣州灣・シヤンデルナゴル・
  - ヤナオン・ボンヂシエリー・カリカル・マエ・
  - シリヤ
- 和 蘭
  - 馬來諸島の大部。

第二編 亞細亞洲

米 國  
ファイリピン諸島。  
葡 萄 牙  
チモル島の東半・澳門・ゴア・ダマン・ジウ。  
露 西 亞  
亞細亞露西亞。

問 題

- 一、アジアの地勢圖を描け。
- 二、アジアの双子河を列舉せよ。
- 三、太平洋方面に於ける主要なる半島・島嶼・内海を舉げよ。
- 四、アジアの高地方に於ける氣候・生物につきて。
- 五、世界の最多雨地と稱せらるゝ地如何。
- 六、世界最寒の地。
- 七、アジアに於ける内陸河。
- 八、アジアに於ける大盆地。
- 九、ヒマラヤ山脈の南北に於ける氣候・産物の差。



- 一〇、アジアの天産。
- 一一、アジアの主要産物。
- 一二、アジアに於けるチルク、護謨、石油、石炭、錫、大豆、米、茶、綿、生絲の産地を問ふ。
- 一三、アジアの主要商港。
- 一四、アジアに於ける鐵道の發達につきて。
- 一五、アジアに於ける英、佛、露、米、蘭の勢力につきて語れ。
- 一六、極東に於ける英、米、佛の海軍根據地。
- 一七、支那人、印度人の分布。
- 一八、アジアより他大陸に通ずる海底電線。
- 一九、アジアに於ける宗教の分布。
- 二〇、アジアに於ける獨立國。
- 二一、アジア洲中、日本人の多く移住せるは何れなりや。

- 二二、左の諸國の首府を問ふ。  
波斯 暹羅
- 二三、太平洋に面するアジアの主要港。
- 二四、威海衛、安南、錫蘭の政治的異同を述べよ。
- 二五、アジアの大都市を五つばかり人口順にならべよ。

### 第三編 北亞米利加洲

#### 第一章 緒論

##### 北亞米利加洲

- 太平洋を隔て、遠く我が國の東に位し、歐羅巴洲との間には大西洋を挟んでゐる。
- コロンブスの新に發見した、面積約百六十萬方里の、世界第三の大陸で、
- 中央に大富強國、アメリカ合衆國が横はり、以南に、その他の小獨立國が多く、以北には、一つも獨立國が無い。

#### 第二章 グリーンランド

北アメリカ大陸の東北にある世界第一の大島で、面積は我が本洲の約九倍に當り、十三萬六千方里にも及ぶけれども、大部北極圏内に横はるのと、地勢高峻性をなして海拔三千米に及ぶ所さへあるのとで、地域の七分の六分まで一面に氷雪で覆はれ、氷雪は氷河となり、氷河は盛に海中に落ちて氷山となる。

南部少許の海岸低地は纔かに人類の生活に適し、これに一萬内外のエスキモー種族が漁獵に従事してゐる。本島のエスキモー種族の中には他の地方に於けるエスキモー種族よりも文化の程度が稍々進んでゐて、氷屋に住まはず流木を蒐めて普通の家屋を造り、また基督教を奉じて寺院を建て、學校を興してゐるものさへある。今丁抹の



女少の一鳴キスエ

### 第三章 加奈陀

#### 通説

#### 位置・境域

北亞米利加洲の北部を占め、面積は約六十二萬方里、略々歐羅巴洲全部に等しく、我が國の十五倍に近い。  
英吉利の領土である。  
南は一帯、北緯四十九度の緯線、スベリオル・ヒュ  
ーロン・エリー・オンタリオの四大湖及びその他でアメリカ合衆國と境を接し、西北の一部は、主として西經百四十一度の經線により、アラスカと境を接してゐるが、其の他は悉く外洋で、東は大西洋・西は太

平洋、北は北極に面する。

大西洋と北極洋との間は、パツフィンランドを始め、數多の島嶼があつて、世界第一の大島グリーンランドと近く相對してゐる。

#### 地勢

西部はロツキ一山脈及びその西に並行するカスケード山脈その他數條の山脈から成る高地で、高地の北部には高度二萬尺に達するローガン火山が聳え、その南部には水産で名高いフレザ一河が流れてゐる。この高地の大部分は一面に過去の氷河作用を受けたもので悉くその氷河の遺跡である。高峻な處は今に尙ほ氷河を存してゐる。太平洋岸に著しく發達してゐるフィヨルド式の峽灣は東部にはラブラドル臺地があつてノバスコチヤ半島との間にセントローレンス灣を挟み、灣の口に新フオンドランド

島を横へてゐる。中部は一帯の大平原をなし、ハドソン灣が深く灣入して、その灣を遠く捲きにまいた形に、スベリオル以下の五大湖・セントローレンス河・マツゲンジ一河等の流域の低地帯が繞つてゐる。  
一體中央の低地も東部のラブラドル臺地も共に氷河の作用をうけた地相を有つてゐて、殊に低地では氷河の押し出した堆石の分布に基いて、河流や湖沼が一定の形式に配列し、その東南には特に大湖を幾つも堪えてセントローレンス河の上源となつてゐる。また東海岸にも西海岸の如く過去の氷蝕作用によつてその形式を制定せられてゐる處が多い。

エリー湖の水がオンタリオ湖に落ちる途中に世界第一のナイアガラ瀑布がある。瀑布はゴートといふ島で二つに分れ、アメリカ瀑布は高一八〇尺、幅約三町、加奈陀瀑布は高一七三尺、幅約八町ある。その水の響きは萬雷の一

時に落ちるにも似て、壯觀無双である。近時その水力を盛に引いている／＼の動力に用ひてゐる。

### 氣候

土地が広いから、處によつて種々に異つてはゐるが、位置及び四圍の關係から概して大陸性



ナイヤガラ川の瀑布

である。殊に中部から北部にかけて甚しく、冬季は川も湖水も海岸も悉く堅氷に鎖され、極北部の凍原の如きは全く人類の生活に適せない。

東部海岸は近海にラブラドル寒流があつて、氣温が著しく下り、セントローレンス川なども凍つてしまふ。この邊での不凍港はハリファクスだけである。ラブラドル寒流がメキシコ灣流といふ暖流と相會ふ新フオンドランド近海には屢々濃霧を起す。またこの寒流によつてグリーンランド邊から來る氷山がこゝで融解してその携へて來た土砂を沈める爲に、新フオンドランド島の東には大きな淺瀬が出来てゐる。

西部海岸は日本海流の影響で、氣候が温和で海の凍る所は少い。而して雨量も多い。

### 産業

農業・牧畜業が主要産業で、林業がその次に位する。何れも氣候と開發の歴史により東南部に發達してゐる。

【農業】 大湖沿岸からウイニペガ湖邊に亘る一帯の地は地味肥え、人口の約八割は農業に従ふ。麥類の産額は一億五千萬石に及び従つてまた製粉業が盛である。その他馬鈴薯・果實等も多く出る。

【牧畜業】 殊にセントローレンス河の流域中、マニトバから東方の低地に盛に行はれ、牛・馬・羊・豚の數が多く、最も牛が夥しい。牛酪や乾酪の産出は合衆國を凌いで、大湖地方の乾酪は宇内第一の稱がある。皮革の産額も多い。新フオンドランド・プリンスエドワードには狐が養はれてゐる。

【林業】 森林の面積は非常に廣く、國の約三分の一を被ひ、松・樅等の良材に富み、南部地方から盛に木材及びバルブを製出する。また砂糖楓が多い。西部からは飛

行機材料に適するスプルース材を出す。

【鑛業】 亦盛であつて、中にもニツケルはその産額世界産額の過半を占め、ヒューロン湖の北方から多く出る。石炭は、その産額を價格にすると、諸鑛産中の第一位を占め、東部のノバスコチヤ半島及び西部のロツキー山脈地方に多い。この外、スベリオル湖地方に銅・銀・鐵・鉛・錫をも産する。またアラスカに近いクロンダイクは産金地として名高い處であるが、發見後まで二十餘年にしかならず、寒氣の酷烈な僻地にかゝはらず、ドーソンシチーといふ人口一萬以上の町が出来てゐる。

【水産業】 水産も豊富で、殊に東岸のノバスコチヤ半島附近及びセントローレンス灣には鱈・鯨・鰻の漁獲が盛んで、牡蠣も多い。西部の諸川殊にフレザー川には鮭が多く、これ等の漁獲物は鹽漬・罐詰・氷藏等に製せられ

て、米・英等の諸國に輸出せられる。西部には我が邦人の漁業に従事してゐるものが多い。

【工業】原料の豊富と水力の自由とで將來を期待せられてゐるが、今は製粉・製紙・挽材等が最も盛である。

【商業】この國の外國貿易は近年著しく發達して取引は主に英・米の二國との間に行はれてゐるが、我が國とも漸次に盛になる。主要輸出品は小麦その他の穀類・バルブ・畜類・礦物等で、輸入品は金屬器・織物・機械等。

### 交通

【陸運】鐵道に大陸を横断せる二大幹線がある。一は加奈陀太平洋鐵道といひ、ハリファックスから起り、モントリオール・オッタワ・ウイニペグを経て、太平洋岸の晩香坡に至る。一はグラントランク太平洋鐵道といひ、ケベックに起り、ウイニペグを経てプリンスル

バートに至る。これ等の鐵道が南部を走り、且つ之によつて地方が漸次に開發せられてゆく有様はよく西比利亞に似てゐる。

【水運】東南部にはセントローレンス河や、スヘリオル・ヒューロン・エリー・オンタリオ等の湖水が多くあつて、結水期を除けば航通が甚だ便利であるが、尙ほこれまでに大約四億圓の大金をかけて運河を開き、其の間の連絡を自在にしてゐる。スヘリオル・ヒューロン兩湖を連ぬるソーサンマリー運河の如きはカナダと合衆國との各々に一線づゝあつて船舶の往來が頗る頻繁である。

東岸はカナダの正門に當り、ハリファックス・モントリオールを中心として盛に歐洲と交通し、西岸は晩香坡によつて東洋や濠洲の諸港と連絡し、我が國の汽船も常に往來する。

【通信】海底電線はノバスコチヤ半島に起つて英本國に至るものと、晩香坡島に起つてフアンキング島・フィジー島・ノーフォーク島を経て濠洲に通ずるものとある。

無線電信局はノバスコチヤ半島にあつて、自由に歐洲と通信する。

### 住民

【人口】約八八〇萬。その密度は僅に我が國の百二十分の一に過ぎない。而かも東南部を除けば人口甚だ稀薄で、未墾地が廣く横はつてゐる。

【種族】住民の大部は、英人及びその子孫で、住民の約八割を占め、従つて英語が廣く行はれ、新教を奉ずるものが多い。然し、セントローレンス河の下流地方はカナダに於ける最初の殖民地として佛蘭西人によつて

開かれた處だけに、佛蘭西人の子孫が多く、風俗も宗教もすべてその本國と同様である。

土人の印甸人は人口十一萬餘に過ぎない。諸處に團居する。北方沿岸及び島嶼の間に三千餘のエスキモー族が散布してゐる。

(註) エスキモー族 夏季は天幕内に起臥し、冬季は堅穴に蟄居し、その堅穴の上を氷塊を積んで被ふものがある。森が無いから舟でも天幕でも之を造るには流木を寬めて組合せ之に獸皮を張る。衣服は獸や魚の皮で製し、肉を食ひ、燈に魚油を用ふる。

### 政治

英吉利の四大植民地の一で、英國王の任命せる總督は首府オッタワに駐在して政治を監督し、その下に、植民地を組織せる内閣と議會とあつて自治制を布き、殆ど本

國の干渉を受けない。獨立國の觀がある。地方は九州及び二地方に分れ、各州に知事及び州會があつて、やはり自治を行ひ、殆ど中央政府の干渉を許さない。國防には、加奈陀の壯丁によつて組織する陸兵があつて、國境を守つてゐるけれども、海岸の防禦は専ら之を本國の海軍に俟つて、東岸のハリファクス、西岸のエスクワイモルトを軍港とする。

都 邑

【ハリファクス】 ノバスコチヤ半島の東岸にある不凍港で、加奈陀の正門に當りカナダ太平洋鐵道の起點をなし、また英國艦隊の根據地でもある。人口約六萬。  
【クエベック】 セントローレンス河の岸にあり、加奈陀に於ける最古の都邑で、附近の聚落は英國人のまだ來ない以前に、佛蘭西人によつて建設せられたもので、

クエベックはその中心地をなし、都邑の外觀や市民の生活狀態に佛蘭西風のところが多く、市民の間には今尙ほ佛蘭西語が行はれてゐる。人口十萬。  
【モントリオール】 人口六十二萬。加奈陀第一の大都會で、セントローレンス河とその支流のオッタワ河との會合點に位す。航洋汽船の終航點に當るのみならず、カナダ太平洋鐵道も大幹鐵道もこゝで交叉するので、水陸交通の便利よろしく、商工業の繁榮はカナダ第一で、盛に木材を集散する。

【オッタワ】 政廳所在地である。オッタワ河に沿ひ、水運の便が開けて、製材の盛なことは世界第一だと稱せられる。我が總領事館がある。人口十一萬。  
【トロント】 人口五十二萬。オンタリオ湖の北岸にある。湖上汽船が盛に往來して商工業が活潑である。  
【ウイニベグ】 國の中央平原に位し、カナダ太平洋及び

我が國との關係

日米間の最近航路に當り、我が日本郵船・大阪商船兩會社の汽船がビクトリヤに寄港する。ビクトリヤは横濱から約四三〇哩。航路約十四日を要する。西部のブリチシユコロンビヤ州には、邦人の在留者が約一萬八千に及び、多く漁業・伐木等に從事する。我が國との貿易は年々盛大に赴く傾向があつて、主として我が國から絹織物・製茶・陶磁器等を輸入し、我が國へは木材及び製紙用ハルプを輸出する。

第四章 ニューファンドランド

セントローレンス灣口に横はる島で、面積約七千方里。我が北海道よりも少しく大きい。島は略々三角形をなし、大陸の東部にあるアバラチヤ

大幹兩鐵道もこゝで相會し、農業・牧畜の大中心地をなす。人口十六萬。近來急速に發達した市街である。ハドソン灣岸のネルソン港は、夏季ウイニベグの農産・畜産を水路によつて直接歐洲に輸出する門口である。  
【晚香坡】 カナダの西岸第一の良港で、カナダ太平洋鐵道の終點に當り、東洋及び濠洲に對する交通・貿易の大中心地をなし、人口二十萬。附近の農地・漁場・鑛山等には邦人の勞働者が多い。我が領事館がある。  
【ビクトリヤ】 晚香坡の對岸、同名の島上にある良港で我が郵船が時々寄港する。人口四萬。  
【プリンスルパート】 太平洋北部の良港で、グラントランド鐵道の終點に當る。餘りに北方に片寄つてゐる爲に市況がまだ盛でないけれども、我が國からアメリカを経由して歐洲に至る最捷路の上にある。

山系の餘派が幾條の山脈となつて縦走し、山地・森林に富み、海岸には殊に岬灣の屈曲が多い。

沿海は名高い淺瀬をなし、且つ寒・暖二流の會同する處なので、世界三大漁場の一と稱せられ、鱈漁が盛に行はれる。また海豹も多く、その皮と脂肪とを供給してゐる。尙木材を出し、鐵・石炭その他有用の諸礦物にも當む。

人口は約二十六萬。その七分の二は漁業に従事する。政治上はラブラドルの東北部海岸、面積約二萬方里、人口三千七百ばかりの地方と共に、英國の直轄植民地となつて、カナダとは離れてゐる。

首府をセントジョンズといひ、不凍港で、主要漁港をなし、人口四萬に近い。歐洲との間に航路及び水底電線が通じてゐる。

東南のセントピエル島・ミクロン島は、佛蘭西に屬し、漁業の中心地である。

### 第五章 アラスカ

アメリカ大陸の西北部に突出した大半島で、面積は十萬方里に餘るけれども、人口は僅かに五萬五千に過ぎない。而かもエスキモー族が多い。

コルジレラ山系が東から来て、域内に二萬尺内外の高峰を起し、その餘脈は西に延びてアルユーション列島となる。ユークン河は夏季の短い間ではあるが舟運に便利を與へる。

比較的緯度も土地も高い爲に、氣候が寒冷で、氷河に富んでゐるが、全く農耕に適せないといふのではな。近年シベリヤから馴鹿を輸入して飼養してゐる。またおひ／＼に製材も行はれるやうである。ことに諸處に金その他の礦産があり、近海及び河川には魚族が多く、またベーリング海のプリビロフ島には鰻鮠が群棲する。

西曆一八六七年米國が露西亞から買収した處で、今は米國の一地方となつてゐる。初め米國がこゝを七百二十萬弗で買収したのであるが、最近礦産だけでも年々千七百萬弗の利益を擧げてゐる。

### 問題

- 一、加奈陀と亞米利加合衆國との境界につきて述べよ。
- 二、加奈陀の地勢を概説せよ。
- 三、加奈陀の氣候を詳説せよ。
- 四、加奈陀の湖沼につきて。
- 五、聖ローレンス河とマツケンジー河との比較。
- 六、左につきて知れるところを記せ。
 

スベリオル湖	ナイアガラ瀑布
ハドソン灣	フンダー灣
ユーゴン河	ニューフォンドランド
- 七、加奈陀の産業。

### 八、加奈陀の交通。

- 九、加奈陀の人口につきて。
- 一〇、加奈陀が工業地として將來を期待せらるゝ所以。
- 一一、我が國と加奈陀との交通並に貿易上の關係につきて述べよ。
- 一二、加奈陀に於ける我が領事館の所在地を問ふ。
- 一三、加奈陀の統治につきて。
- 一四、加奈陀に於ける交通と都會との關係を述べ、シベリヤとを比較せよ。
- 一五、加奈陀の重要輸出品を問ふ。
- 一六、左の各項に答へよ。
 

ニューフォンドランドバンク
グラントトランク太平洋鐵道
ソーサンマリー運河
グリーンランド

### 第六章 亞米利加合衆國

#### 通説

#### 位置・境域

北米大陸の中央に横はる大國で、北は一帯に加奈陀と接し、南は墨西哥に連り、東から南にかけては太西洋及び墨西哥灣に臨み、西は太平洋に面す。

(註) 東西兩洋の間は約千二百里に亘り、その兩岸に於ける經度の差五十五度に餘つてゐるので、その間に四つの標準時を設けてゐる。

面積は四十九萬四千餘方里。やがて歐洲ほどある。これに大陸西北部のアラスカ・太平洋中の布哇・ガム・サモ

ア、東洋のフィリピン、その他ボートリコ・パナマ地帯等を加へると、六十二萬方里に及び、我が國の約十四倍に餘る。

#### 地勢

地勢上、大體、東部山地・中央平原・西部山地の三部に區別することが出来る。

【東部山地】 ア巴拉チャ山脈がある。東北から西南の方向に走る數條の低い平行山脈で、最高點ブラック山でも海拔二千米に過ぎない。山脈の西側は緩傾斜をなすけれども、東側は臺地狀をなし、それが突然低くなつて海岸の平地に落ちる。その爲に、そこに幾つも瀑布が並んで懸つてゐる。この瀑布の並ぶ一線上に水力發電所が澤山に競ひおこつて大小數多の都市が發達を遂げてゐる。

河川にはアドソン川・テラウエーヤ川・ボトマク川等が最も名高いけれども、アバラチャ山脈から出る河川に大きいのはない。但し何れも河口が三角江をなして、潮汐を感じ、割合に大きな船を容れ、大抵瀑布線に至るまでの間は舟運の便利がある。

海岸の北部はロング島・チエサビーク灣等の出入が多く、ニューヨーク・バルチモーア・ボストン等の良港に富むけれども、南部は低平な砂濱で、洲渚が多く、良港に乏しい。フロリダ半島は大西洋とメキシコ灣とを分ち、沿岸に珊瑚礁が發達してゐる。

【西部山地】 コルサレラ山系が南北に亘つて雄大を極め、殊に東のロツキー山脈は高峰峻嶺に富み、中でもアランカ山(四三三三米)が最も高い。西のカスケード及びシエラネバダ兩山脈にもホイットニー(四五二三

米)・フィニアア(四三七七米)の如き高峰がある。この東西兩山脈の間に、コロラド・コロンビヤ等の高原や、ユタの大盆地を抱き、大鹹湖を堪え、コロラドの峡谷、ヨセミテの奇勝・黃石公園等を有し、地形の變化が最も著しい。コロンビヤ高原は一つの熔岩臺地で、コロンビヤ川がこの水を寬めて太平洋に落ちる。コロラド高原は降雨の稀な處として滿目一木もない禿禿の荒野原をなし、その高原を深く刻んで流れるコロラド河は世界第一の大峽流をなし、谷の深さの七千尺に達する處がある。

(註) コロラド峡谷は幅十哩乃至十三哩、壁高平均三千尺乃至五千尺、成層岩二五〇哩の間を削磨してゐる。ユタの盆地は、コルサレラ山系の幅の最も廣い部分に中り、盆地の東邊に大鹹湖がある。大鹹湖は、海拔約四千尺の處に位し、鹽分に富み、夏季の浴客で繁昌す

る。  
 (註) 大鹹湖は面積二七〇方里。鹽分千分の一四六。南太平洋鐵道が湖水を横斷して十餘里に亘る橋を架け、海岸に海水浴場が發達してゐる。鹽分の濃厚な爲に沈没の恐れが少く、婦人小兒も安心して來る。  
 黄石公園はミズリー河の上流地からコロラド・コロンビヤ兩河の水源地に亘り、面積は約我が一府縣にも當る大國立公園で、高山・高原・峽谷・谿流・瀑布・森林・温泉等ありとあらゆる地形を具へ、間歇温泉の如きも七十以上からある。



深淵のドラロコ

水河の浸蝕によつて出來た峽谷で、幅一哩、長八哩に

ヨセミテはシエラネバタ山脈中にある國立公園で、

亘り花崗岩の巨岩が壁立し飛瀑・谿流・森林等が天下の奇觀をなしてゐる。  
 ロツキー山脈の東は緩斜して中央の大平原に及び、カスケード・シエラネバタ兩山脈の西は急斜して、海岸山脈との間に細長いカリフォルニアの盆地を挟み、サクラメント河が、その間を流れてサンフランシスコ灣に入る。海岸は一體に出入が



岩膏のラミセロ



少いけれども、ヒューセットサウンドや桑港等の良灣がある。

【中央平原】 廣大な平原で、東はアパラチヤ山脈から西はロッキーマウンテンに至り、北は加奈陀から南はメキシコ灣まで擴る。そのほとんど總べてがミシシッピ河の流域に屬する。

ミシシッピ河は、本流は源を北境のカス湖に發し、ミズリー・オハイオ・アーカンサス、レッド等、幾多の大支流を併せて平原の中央を南下し、キメシコ灣に注ぐ。ミズリー川の水源から測ると河口に至る全長が一六五〇里に及び、世界第一の長流である。河口に鳥の趾形の大三角洲を作り、河畔に無数の河跡湖を散點して、河道の幾度も變はつたことを説明してゐる。本支流共に水量が多くつて流れが緩かた、交通・灌漑の便は共に頗るよろしく、實に米國の寶庫ともいふべき大平原を

養ふ立派な大動脈の役目をしてゐる。

この平原の西北部はプレーリーと稱せられる草原で、漸次に開けて農場となり、また重要な牧地となつてゐる。

平原の東北部、加奈陀との境にスベリオル・ミンガン・ヒューロン・エリー・オンタリオの五湖があつて、湖岸線が頗る長く、水利は最もよい。

南部につゞくメキシコ灣岸は砂洲や潟が多くて、殆ど天然の良港が無い。



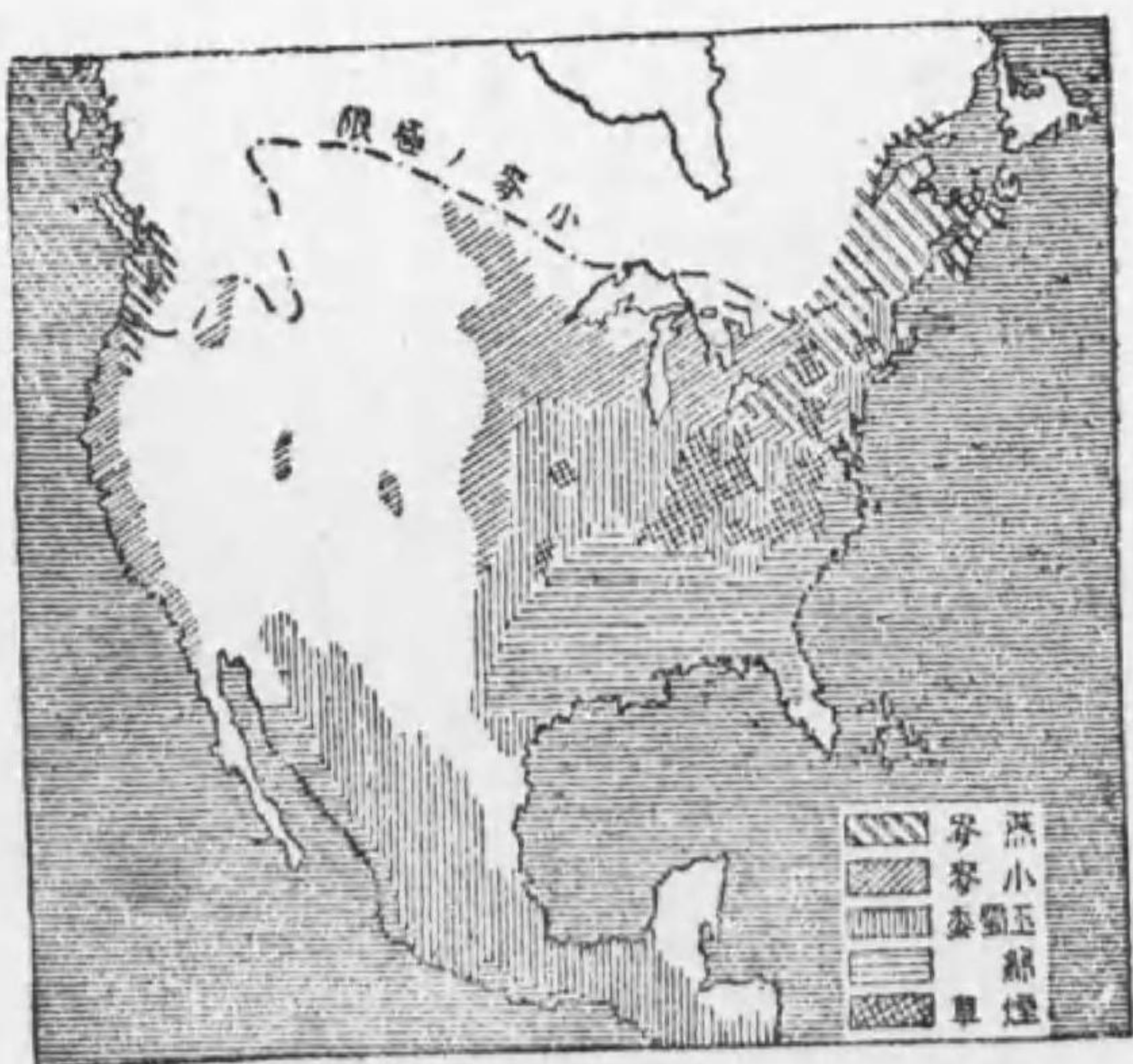
### 氣候

大西洋の北部はラブラドル海流の影響で、寒感が稍強けれども、南部はメキシコ灣流に近い爲に、亞熱帶性氣候で、雨も多く、往々颶風の襲來がある。

中部平原は、地勢上、冬季の北風も夏季の南風も之を遮るものが無いから、寒暑共に烈しくて、殊に北部の寒威は猛烈である。南部のメキシコ灣岸地方は熱帶性で高温・多雨である。

西部高地は大陸性であるのは勿論であるが、雨が少くて沙漠や鹹湖をなす。

太平洋岸は、一體に日本海流の影響を蒙つて、大西洋よりも遙に溫和で、雨も少からず、果實の生熟に適し、殊にカリフォルニア州は良好といふので名高い。



産 業

國土廣大、地味肥沃で、且つ天産豊富、氣候も農耕勞作に適用してゐるから、移住者の増加と交通の發達と國民の勤勉とに伴つて、諸種の産業は年々に開發興隆し、その規模は何れも宏大で、産額の多量なことに於て實に世界無双である。

【農業】 農業中央の大平原は世界最大の農場で、大農法が最もよく發達し、耕耘に收穫にすべて大仕掛の機械を使つて、産額も産業中の首位を占め、小麦・玉蜀黍・棉・煙草は何れも世界第一の産額である。

就中、棉は南部諸州に産し、産額約世界の七割に當り、盛に歐洲その他我が國へも輸出する。煙草はオハイオ河領以東に産し、小麦・玉蜀黍は北部・中部から出る。小麦粉の年々歐洲に送られるのは大したものである。

この外、南部の米、中部の大麥、北部の燕麥、西部の果實等も巨額の産出がある。

果實は林檎・オレンジ・葡萄・苺等を主とし、専らカリフォルニア州で栽培し、我が移住



畜家の原平部西國米

民の従事するものが多い。また馬鈴薯や蔬菜も作る。

【牧畜業】 中部及び西部に盛に行はれ、牛・馬・豚は頭數は何れも世界第一又は第二に位し、殊に豚肉の如きは世界産額の約三分の一を出す。羊も多い。けれども羊毛は尙ほ他から多量の輸入を仰いでゐる。

【林業】 開墾と共に東北から漸次南及び西へ採伐を進められたが、それでも森林の面積は尙ほ國土の五分の一を被らてゐる。殊に西部カリフォルニア州邊には、樹齡千年以上の巨木が多く、一本の立木に穿つた隧道を二頭立の馬車で優に通過するといふ程なのがある。

林産は今もやはり東部に多く、西部ではオレゴン州のオレゴン松は我が國へも輸入せられて名高い。

【水産業】 世界の主要漁業國で、大西洋岸に好漁場があり鱈・鯨・鯖・鮭・比目魚・牡蠣・蛤等を産する。太平洋方面は鮭が最も著はれてゐる。

【鑛業】 鑛業も亦甚だ豊富で、五大湖附近及びアパラチヤ山地に殊に多く、石炭・石油・鐵・銅の産額は何れも世界第一位である。

(註) 石炭は中部平原とアパラチヤ山脈に多く、炭田の總面積全國の約六分の一を占め、石油年産英・獨二國を合せたものに匹敵し、世界全産額の三分の一に當る。石油は中部のカンサス・オクラホマの二州と東部のペンシルバニア州附近に多く、世界全産額の三分の二近くを産す。鐵及び銅は共にスベリオル湖附近に多く、鐵は世界の四割、銅は二分の一を産す。

また兩部からも金・銀・銅・鉛・亜鉛・石油等が多く出る。

【工業】 石炭・石油等の燃料に富み、鐵その他の金屬を始め農・牧畜・林産等の原料品が夥しく、資本は裕かて、交通の便利な上に、教育が進歩し、政府の保護があり、



井抽るけ於にヤニルオフリカ

爲に著大な發達を遂げて、規模壯大を極め、その盛大なことに於ては歐洲の先進國を凌駕するものがある。中でも電氣工業が最も進歩し、製鐵・造船・機械製造・紡織・煙草・製油・製粉・製肉・煉乳・乾酪・罐詰業等何れも殆ど他に比ぶ國がない程の發達である。紐育からベンシルバニアに至る間の地方は佛國にも劣らぬ絹機業の盛大を極め、バターソンはアメリカのリヨンと稱せられる。

【商業】 産物の豊富なのにつれて、商業も極めて盛大である。その取引高は英國と並び、殊に保護政策の結果、年々輸出が輸入を超過するの好調をつけてゐる。英國・カナダ次に我が國・キューバ等を主要取引國とし、主として綿・穀物・鐵油・機械・鐵等を輸出し、絹・砂糖・羊毛・皮革・珈琲・護謨等を輸入する。

交通

【陸運】 鐵道の發達の著しいことは世界第一で、その延長は約二十八萬哩に達し、世界に



第三編 北亞米利加洲

おける鐵道總延長の約四割を占めてゐる。その分布は、早くから開けた東北部に密で、西南部に至る程、粗である。鐵道の大部分は私設會社の經營に屬し、そしていろ／＼の會社があるから線路の系統は實に甚だしく錯雜してゐる。

- 大北鐵道……シヤトル・シカゴ。
  - 北太平洋鐵道……タコマ・シヤトル。
  - ユニオン太平洋鐵道……桑港・シカゴ。
  - 中央太平洋鐵道……桑港・セントルイス。
  - 南太平洋鐵道……桑港・ニューオルリーンス。
- 右の五鐵道は何れも大陸の横斷線である。汽車は速力も早い、構造、設備も完備してゐる。

【注】 日本の最急行列車は一時間およそ三十哩だけれども、英國のは五十哩。米國のは六十哩を走る。この國はまた自動車發達が殊に著しい。その數は

人口四につき一臺の割合である。

【水運】 鐵道と共に航路の發達も著しく、殊に英國との間の如きは世界の模範航路とも稱せられ、紐育・ホストン・ライラデル・フイーヤ等は何れも世界屈指の大港である。内陸の水路もよく開けて、ミシシッピ川だけでも本支流を合せると六千哩にも及ぶが、大西洋と五大湖とミシシッピは運河で連絡し、殖産・興業に利すること大きい。

(註) ナイアガラ瀑布にはウエランド運河、スベリオル湖口の急流にはソーサンマリー運河が通じてゐるから、吃水の浅い船は、セントローレンス川口から約八百哩も溯つて遠く大陸の中心都市にまで達することが出来る。

商船の噸数は約千八百萬噸に餘り、英國に次ぎ、世界第二位にある。けれどもこれら商船の多数は内國航

路に用ひられて外國航路は尙ほ外國船に依頼する所が多い。我が日本郵船・東洋汽船・大阪商船等もこの國に至る航路を有つてゐるが、又近年パナマ運河の開通の爲にその東岸にも航路を開くやうになつた。

住民

【通信】

電信・電話の發達も大きい。水底電線は東岸には數條の歐洲線と、一條の南米線とがあり、西岸にはアジアに達するものがあつて、その支線が我が小笠原線と接続してゐる。無線電信の利用も勿論盛である。

住民

【人口】

約一億六百萬に達するけれども、面積が大きいから、密度は甚だ小さい。平均一方里二百ばかりで、我が國の十分の一にも及ばず、しかも西部は一方里僅かに一九にしか當らない。

けれども年々平均三十四萬内外の移民が歐洲から來

る故に、人口の増加は頗る急激で、外國出生の者が千四百萬に近い。但し近年移民法が改正せられて外國人の入國を著しく制限するやうになつた。

今日國民の最大多数がイギリス人であることは言ふまでもないが、イギリス人とは餘程趣を異にして、別に所謂米國人氣質なるものをつくつてゐる。即ち

●性質が快活で、獨立進取の氣風を有ち、何事につけても世界第一とならうといふ氣概と抱負とを有つてゐる。

●自由平等を愛する爲に、社會に貴族の如き階級を缺き、位階勳等の制もなく、軍人を除くと、金モールをつけた禮服のやうなものもない。汽車にも等級を設けない。

●實利實益を重んじ、大に金力を尙ぶが爲に、實業が發達して、富豪の多いことは世界無比である。

ヨ、ロツバ人以外では、黒人が全人口の約一割を占め、多く東南部に分布してゐる。昔て奴隸としてアフリカから來た者の子孫で、今は自由の身となつてゐるけれども、それでも人種上の僻見て、白人からは甚しくきはれてゐる。

アメリカの原住民たるインデアンはミシシッピ以西の地に居るが、人口は僅か二十四萬餘に過ぎない。それも次第に減少する傾向があるから、政府はオクラホム其の他に特別の地區を設けて、その區内には白人の居住を禁じたり、生活の必需品を供給したり、醫師や教員を派遣したりして保護してゐる。

また西部地方に約六萬の支那人、十一萬の日本人が居る。けれども近年東洋人の労働者は全く入國を禁止せられてしまつた。

【教育】 黒人や無學の移民がある爲に、無學文盲の者が

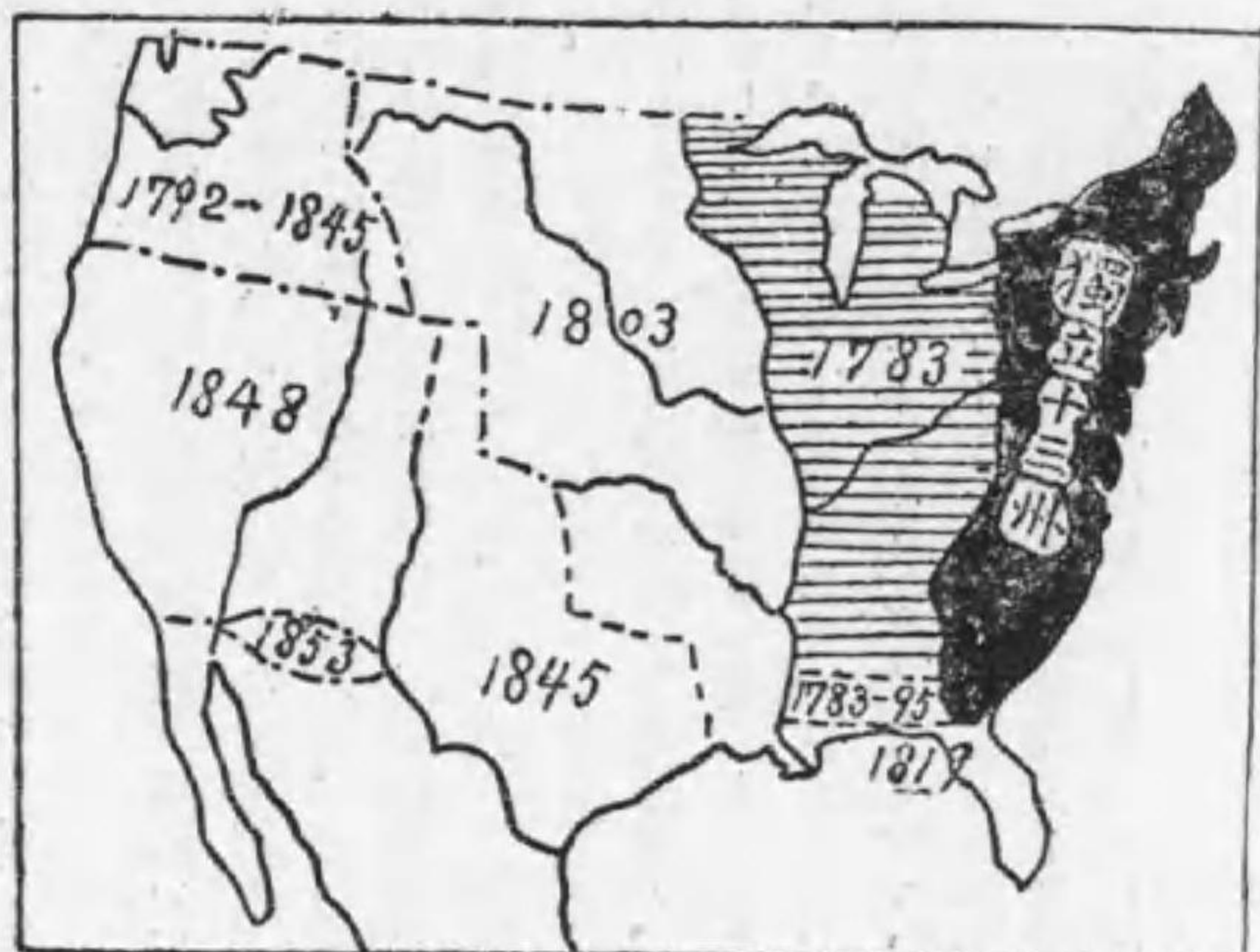
國民の割に達し、初等教育も列國に比べて稍々劣るけれども、高等教育・實業教育は著しく發達して、大學の數の如きは世界第一で、しかも私立のものに立派なものがあつた。また富豪の寄附で出來た學術研究所等もあつて、今度の世界大戰の結果、學術の中心が獨逸からこの國に移つたかのやうにも思はれる。女子の教育が殊に甚だ盛で、一般に女子が尊敬せられ、隨つて女子が多數各般の事業に従事してゐる。國語は英語で、宗教は信仰自由であるが新教が普く行はれる。社會一般の風尚は新奇を逐ひ、なすことすること、生活の模様等餘程ヨーロッパの舊い國々とは異つてゐる。

(註) 著名な大學はホストン附近のハーバート大學・紐約のコーロンビア大學・ニューヘブンのエール大學・ホルチモアのジョンホプキンス大學・シカゴのシカゴ大學等。學術研究所はヒッツバーグ・華盛頓等にある。

### 政治

【沿革】もと英國の植民地であつた東部の十三州が、結東して本國に反き、獨立して共和國を建て、漸次に國土を擴張して今日の如き大國となつたのである。初め東部の地には、夙くから西班牙・和蘭人等の植民地が相接してゐて、互に覇を争つたが、遂に英人が最も勝を制した。而してその植民地の發達すると共に本國との間に課税問題が漸次にやかましくなつて來てその極、戰爭となり、獨立の宣言となり、一七八三年は列國の承認する所となつた。それから西部の諸州が或は買収せられたり、或は併合せられたりして、今日の如き尠大な地域を領有するやうになつたのである。

從來はモンロー主義といつて、米國の事は米國自身で處理する、これに就いて歐洲は彼是言ふな、その代



米國の膨脹圖

り米國も歐洲の事には關係せぬから、といつたやうな國是を執つてゐたが、近年布哇やフィリピン等を領有した上に盛に海軍を擴張し、歐洲の大戦にも參加し、シベリヤ・支那等にも關係するやうになつた。

【政體】今、四十八州・一區・二地方から成る聯邦共和國で、首府を華盛頓といふ。

(註) 合衆國の國旗の紅白十三條の横線は、獨立當時の十三州を表はし、四十八の星章は、現今の四十八州を示すもので、一州を加へるごとに星一つを増す。大統領が聯合政府の行政を統べ、四年毎に改選せられる。立法部は各州を代表する上院と、人民を代表する下院とに分れてゐる。

中央政府の權能は、條約の締結及び陸海軍・郵便・電信・度量衡・貨幣等に關する政務にあつて、その他の事

はすべて各州の自治に一任せられてゐて、殆ど中央政府の拘束を受けない。

(註) 大統領・副大統領の選挙は、複選挙といつて、先づ選挙人を選出し、その選出せられた選挙人が更に大統領又は副大統領を選挙するのである。

副大統領は、大統領を補佐し、上院の議員を兼ね、大統領の辭任又は死去の時、その残りの期間大統領となる。

州はそれ／＼に州民の公選による知事と、上下兩院とを有して、中央政府の権限に屬せざる政務を處理するから、あたかも一獨立國たるの觀がある。四十八州とは、メイン・ニューハンプシャイア・ヴァーモント・マサチューセツト・ロードアイランド・コンネチカツト・ニューヨーク・ペンシルヴァニア・ニュージャージー・デラウエア・メリーランド・ヴァージニア・ウエストヴァ

ージニア・ノースカロライナ・サウスカロライナ・ジョージヤ・フロリダ・アラバマ・ミシシッピ・テンネツシ・ケンタツキー・オハイオ・インヂアナ・イリノイス・ミシガン・キスコンシン・ミネソタ・アイオワ・ミズリ・アルカンソー・ルイジアナ・テキサス・オクラホマ・カンサス・ネブラスカ・サウスダコタ・ノースダコタ・モンタナ・アイダホ・ワイオミング・コロラド・ニューメキシコ・アリゾナ・ユター・ネヴァダ・カリフォルニア・オレゴン・ワシントン

一區は、コロンビヤ區といひ、華盛頓及びその附近約十万里の地域で、中央政府に直屬する。二地方はアラスカ・布哇で、各々大統領の任命せる總督が駐在して之を治めてゐる。

【軍備】 陸軍は常備は強大でない。志願兵で組織し、僅か十數萬に過ぎない。けれども一朝事ある際には數百

萬の大兵といへどもよく動かすことが出来る。海軍はイギリスと共に極めて優勢な艦隊を有つてゐる。

(註) 米國の重要軍港は、大西洋方面ではボストン・ノーフォーク・フィラデルフィアのリークアイランド及び紐育のブルークリン、太平洋方面では、桑港のメーアイランド・ピュセツトサウンドのブレマートン。

【領地】 西曆一八九八年(明治三十一年)西班牙と戦つて之を破つた結果、ポートルコ島を取り、フィリピン諸島及びグアム島を購つたが、翌年南太平洋中のサモア諸島の一部を領有し、また近時丁抹から西印度にあるセントトーマス・セントジョン・サンタクルーズの三小島を買入れた。この外、パナマ運河地帯を永久租借してゐる。

### 日米の關係

#### 第三編 北亞米利加洲

#### 【國際上】

我が國に開港を勧めたのも我が國と最初に條約を結んだのも、みなこの國で、爾來我が國との間に密接な關係を保ちて、學術・技藝を我が國に傳へたことも少くない。日露戰役には調停の勞を執つてくれたし、明治三十九年以來は互に大使を派遣したり覺書を交換したりして、最近の大戦には互に與國となつて、シベリヤに共同出兵までし、また大正十一年には、英佛二國を加へた四國の間に太平洋に關する條約を締結した。然るに近年兎角その極端な帝國主義を採るやうになつた爲に、屢々東亞に於ける我が利權を脅かすが如き面白くない風があるのはいかにも遺憾なことである。

#### 【移民上】

我が移住民がカリフォルニア州・オレゴン州・ワシントン州等の西部から南部諸州に互り約十萬もある。多く園藝・米作・伐木・漁業等に從事して、中には成功して巨萬の富を致し、社會上にも相當勢力を占めて

ある者さへある。然るに、近年我が邦人の發展が彼に喜ばれずして、甚しく壓迫を加へられ、殊に最近に於て我が移民は全く入國を禁止せられたのみならず、これまで移民の手に汗して贏ち獲た所有權まで脅かされるやうになつてしまつたのである。

【貿易上】 彼我の貿易は年々盛大に赴き、世界的不景氣の間にも、この勢をつゞけてゐる。最近、我が貿易額の約四分の一は、この國との間に行はれ、兎角疎隔しやうい彼我の國際關係を、これによつて結付けてゐるともいふべき傾がある。

我が國から米國への主要輸出品は、生絲・絹織物・製茶・植物性脂肪油で、米國から我が國への重要輸入品は實綿・絲綿・鐵類・木材・機械類等である。その輸入高が輸出高よりも遙かに大きく、この國は

我が國の大切な顧客である。

總領事館は桑港及び紐育にあり、領事館はシアトル・ポートルランド・ローザンゼルス・シカゴにある。

【交通上】 日本郵船會社のシアトル線―神戸・横濱・丹クトリア・晚香坡・シアトル。紐育線―門司・香港・上海・太沽・大連・神戸・四日市・横濱・桑港・バルボア・クリストバル・紐育。

大阪商船會社の紐育線―香港・上海・太沽・大連・神戸・四日市・横濱・桑港・羅府・パナマ・紐育。晚香坡線―香港・上海・神戸・四日市・横濱・ピクトリヤ・シアトル・タコマ・晚香坡。

東洋汽船會社の桑港線―長崎・神戸・横濱・ホノル、桑港。

海底電信は、我が東京より父島に至るものが、桑港からホノル、ミッドウェー・グアムを経て來るものと

父島に於て接続する。

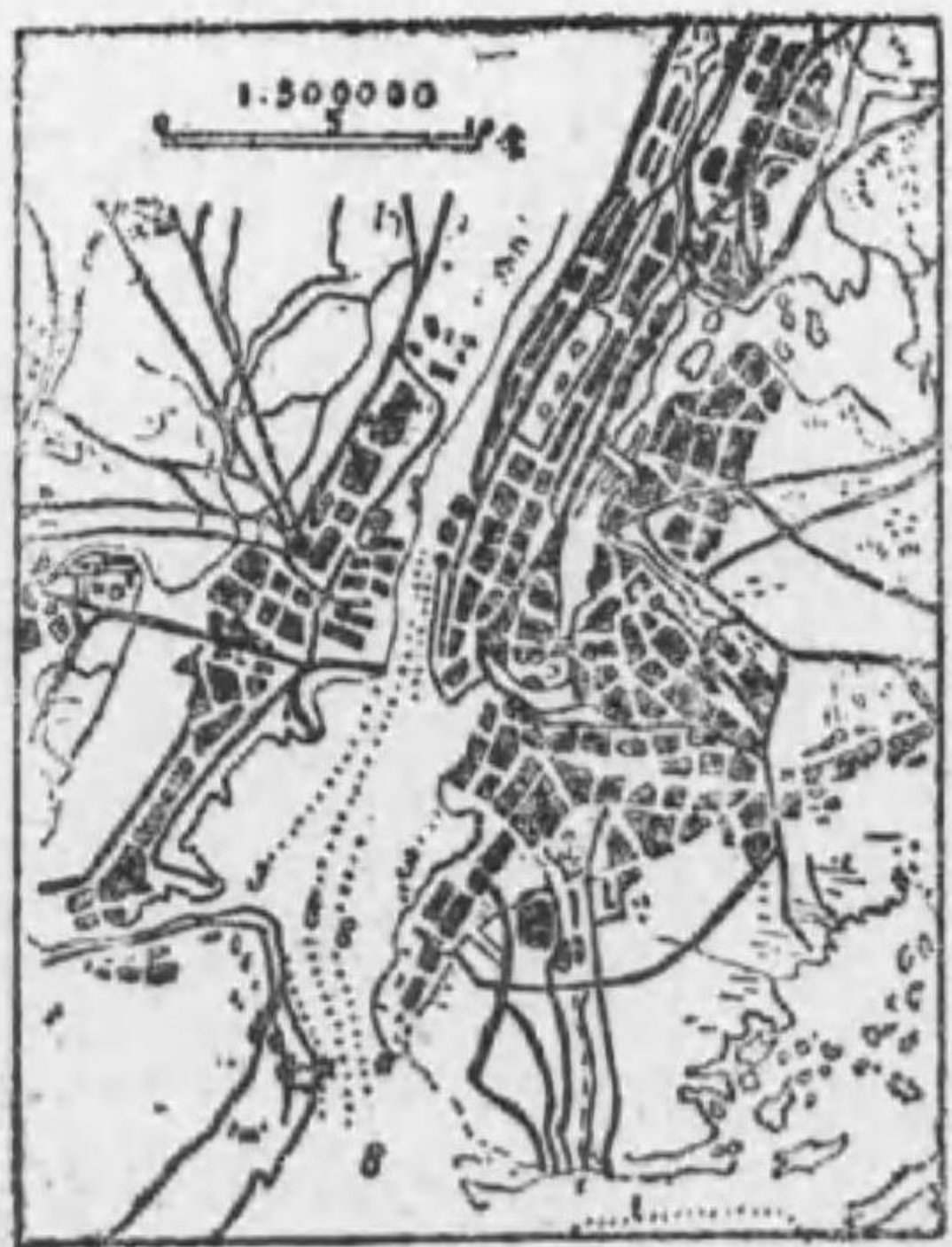
無線電信は我が原町局が直接に米國の局と通信することが出来る。

### 處誌

### 東部地方

獨立當時の所謂十三州の大部を占め、最も早く開けた地方に屬し、歐洲先進國と差し向ひ、良港灣が多く、且つ石炭・石油・鐵に富んでゐるから、工・商業の發達が殊に著しく、米國の富の大半は此の地方に集中せられ、紐育・ホストン・費府を始め、殷盛な都會や商港が甚だ多い。

【紐育】 ハドソン河口に跨り、マンハタン島上の本市とロング島上のブルクリンと、その他附近の諸都市とを併せて大紐育市と稱し、面積七〇方里。人口五六〇萬。倫敦と共に世界に於ける最大の都會である。市街



紐育及びその近隣

は壯麗で、大層高樓が天を摩し、地價の高いのも世界第一で、一坪三拾萬圓に當る處もある。地價が高いか

ら、建物の高さも次第に増して、六十階以上に達するものさへある。世に之を摩天閣と稱へる。隨つて鐵道

は高架。地下編むが如くに通り、電車が晝夜絶えず織るが如くになつてゐる。

港は廣くして深く波は静で、如何なる大船巨舶も自由に出入することが出来、延長三十里に餘る繫船岸壁には各國の商船が常に雲集して盛に穀物や石油を輸出し、米國貿易の過半は此で行はれ、その商況の盛なこと



110

は倫敦を凌ぐものがある。

また各種の工場が四萬近くもあり、一年の生産額が百億圓に上り、「紐育の富は米國を仕配し、米國の富は世界を仕配す」と稱せられる。事實近年、世界の金融・交通・商業の大中心は倫敦から紐育に移つたとも觀られる。

我が總領事館の所在地で、我が汽船も寄港する。かの世に名高い。コロンビヤ大學・スタンダード石油會社はこゝにある。

西北にあたるバターソンは我が生絲の大需要地で、世界屈指の絹業地である。

【ポストン】東岸にある、この國第二の貿易港で、また紡績・時計製造等の工業も盛である。人口七十六萬。市街は壯麗。建國當時からの古い都會で、米國最古の大學ハーバート大學があり、出版業に於て世界に名高く、

第三編 北亞米利加洲

教育・文學の地として著はれてゐる。北方のボーツマ

スは日露條約の訂結地である。

【費ラワッデルフイーヤ】人口百八十萬の大都市。テラウエヤ河に沿ひ附近は鐵・石炭の産に富み、殊に石油の取引は世界第一である。随つてまた此國第一の工業地であつて製鐵・造船・紡績等の業が最も著しい。米國獨立宣言當時の名高い獨立閣はこの市にあつて、今に保存せられてゐる。

【バルチモア】牡蠣の養殖に名高いチエサヒーク灣頭の良港で、穀物・煙草の輸出が多い。ジョンズホプキンズ大學の所在地。人口五八萬。

【華盛頓】ボトマク河の左岸に位する清麗閑雅な市街である。首府で、大統領官邸(白宮)・國會議事堂・各國大使館等があり、人口四十四萬。市から程近い處にワシントン



【ピッツバー】

オハイオ河の上流地にあり、人口七十萬。石炭・鐵・石油の大取引所で、製鐵業は世界無比。有名なカーネギーの大鐵工所はこゝにあつて、盛に機械・兵器



を製造する。

【リッチモンド】 バージニア煙草の市場で、史上にも著はれてゐる。その東南にノーフォーク港がある。

【クリーブランド】 人口六十六萬。エリー湖の南岸に臨み、製鐵・製油・造船等の工業に名高い。

【バッファロー】 エリー湖の東北岸に位す。ナイアガラ瀑布の水力を利用して、盛に製粉・製材等の工業が行はれてゐる。

中部地方

ミシシッピ河の流域に屬し、廣く農業・牧畜が行はれてゐる。隨つて東部よりも都市が少い。但しスベリオル・ミシガン兩湖地方は鐵・銅等の鐵産に富み、工業が盛な爲に、シカゴの如き大都市も發達してゐる。

【市俄古】 ミシガン湖に臨む大都會で水陸交通の要衝に

當り、三十六の鐵道幹線がこゝに集中してゐる。で中央平原の物資が盛に集散せられ、殊に穀物・肉類等の大市場をなす。また世界第一の屠畜場がある。製粉・製材も名高い。極めて速に發達した市街で、人口は約百七十萬。

【シンシナチ】 オハイオ河の中流に臨み、豚肉罐詰で名高い。

【ルイスビル】 オハイオ河の中流に位す。世界第一の煙草市場。

【ミネアポリス】 ミシシッピ河の上流に臨み、河を隔ててセントポールと相對す。共に汽船通航の極に當る開墾地の新都會で、盛に穀物を取引する。殊にミネアポリスはこの國第一の製粉業地である。

【聖路易】 ミシシッピ・ミズーリ兩河の會合點附近の河港で、國の略々中央に位し、水陸交通の要衝を占め、

西部地方

盛に小麥・煙草・豚肉等を集散し、製粉業行はれ、内地商業の大中心をなす。人口七十七萬。

【ニューオルリンス】 棉花輸出港としては世界第一に位す。ミシシッピの河口から約九十哩も溯つた點にあり、人口四十萬。晩秋・初冬の頃、市況が頗る賑ふ。

西方のガルベルストンは棉の大輸出港で、近時ニューオルリンスを凌ぐ景況である。

コルゲレラ山地と以西の太平洋岸地方とを含む。山地は地形錯綜して、黃石公園・ヨセミテ公園・コロラド峽谷等、世界的奇觀の多くある處で、太平洋岸地方は、一八四八年カリフォルニアに金銀發見せられて以來、處に礦産・林産等の事業も起り、横斷鐵道も開通せられ、急速の發達をしたけれども、まだ、開拓の餘地が多い。

カリフォルニアは氣候が溫和で、空氣が清明で、風土等がよほど我が國に類似した地であるが、我が同胞が多數移住して果樹の栽培や園藝に成功してゐる。

【シヤトル】 タコマと共にヒューゼットサウンド灣内にあり、我が國の汽船の航路に當る。大陸横斷鐵道の終點でもあり、東洋及びアラスカの航路も集り、交通上・通商上の要地である。木材市場として殊に名高い。

【ポートランド】 コロンビア河の下流に臨み、木材及び鮭の取引が盛である。附近には我が邦人の漁業や伐木に従事してゐる者が多い。

【桑 港】 金門海峡を控え、西岸第一の良港、太平洋方面の大關門で、東洋及び濠洲に對する交通上・商業上の要地をなす。我が汽船の定期航路にあたり、横濱を距る四八〇〇哩、約十六日程で達する。石油・果實を多く輸出する。日米貿易の中樞地點である。人口五十

一萬。附近に本邦人の在住者が多く、我が總領事館がある。

【サクラメン ト】 桑港の

東方にあたり、カリフォルニア平原を流れるサクラメント河に沿ひ、本邦人農業・園藝經營の中心地である。

【ローサンジェルズ】 カリフォルニア州農業の中心地に



當り、附近で盛に栽培せられる林檎や蜜柑や葡萄等の果實の集散が多く、また附近から多量に石油を産するので、近年急足の進歩をして西部の大都會となり、人口五十七萬に達した。我が領事館がある。邦人の在留者は大抵この地方に住んでゐて、農園を營み、野菜市場の如きは、一時邦人獨占の形であつたが爲に反つて近年屢々激しい排斥と迫害を受けてゐる。

【サンペドロ】 ローザンジェルズの外港で、我が汽船が寄港する、こゝでは邦人が多く漁業に従事してゐる。

【テンバー】 ロッキー山地にある鑛業の一中心地。

問題

- 一、亞米利加合衆國の地勢を問ふ。
- 二、亞米利加合衆國と加拿大との國境につきて記せ。  
費府 ガルベルストン シヤトル

- 三、亞米利加合衆國の海岸につきて答へよ。
- 四、亞米利加合衆國の東西兩山地を比較せよ。
- 五、亞米利加合衆國の地形圖を描け。
- 六、米國(亞米利加合衆國の略)の本支流につきて知れるところを述べよ。
- 七、左記につきて知れるところを述べよ。  
ヨセミテ 黄石公園 大鹹湖
- 八、米國の氣候如何。
- 九、米國の主要農産物を列舉せよ。
- 一〇、米國の主要農産物分布圖を描け。
- 一一、米國に工業の盛なる所以。
- 一二、米國の林業及び牧畜を問ふ。
- 一三、米國の鑛業の狀況。
- 一四、米國に於ける工業市の分布につきて。
- 一五、米國貿易の大要に付きて述べよ。

- 一六、米國の主なる取引國を擧げよ。
- 一七、米國に於ける鐵道分布につきて。
- 一八、米國の略圖を描き、大陸横斷鐵道を記入せよ。
- 一九、米國住民の人口及び人種につきて。
- 二〇、我が國と米國との貿易關係如何。
- 二一、我が國及び米國の異同を比較せよ。
- 二二、米國の政治。
- 二三、米國の宗教・教育につきて記せ。
- 二四、米國の港市を列擧せよ。
- 二五、五大湖に於ける交通及び沿岸都市につきて。
- 二六、紐育の盛大なる市況。
- 二七、左記都市の特色。  
ホストン 華盛頓  
ピッツバーグ  
リッチモンド
- 二八、左記都市の位置及び特色を示せ。

- 市俄古
  - 聖路易
  - ミネアポリス
  - ロサンゼルス
  - ボーツマス
  - タコマ
  - カクラメント
  - 新オルリーンス
- 二九、米國に於ける我が領事館の所在地。
  - 三〇、日米間の海運につきて。
  - 三一、米國に於ける我が移民につきて。
  - 三二、米國の鐵道及び都市の發達せる關係を答へよ。

### 第七章 墨西哥

#### 位置・境域

亞米利加合衆國の南に隣り、太平洋と墨西哥灣との間に挟まれて、國土の半は熱帯に屬してゐる。面積約十三萬方里。我が國の三倍に近い。

#### 地勢

海岸には狭い平原があるが、國內は、合衆國の西部高地からつゞくコルゲラ山系が連亘して、一帯に高原をなし、高度平均二二〇〇米を保ち、東北部に稍々低下する。高臺の南部には、オリザバ(五五八三米)・ボボカテパトル(五四五二米)・イスタクシファトル(四七九〇米)等の火山が峙つ。

沿岸はカルフォルニア半島及びユカタン半島の著しく突出する外、大概單調である。一體に太平洋岸には斷崖の處が多く、メキシコ灣岸には平沙・沼澤の地に富む。メキシコ灣と太平洋との間の最も狭い處をテファンテペカ地峽といひ、兩洋交通上の重要地點である。

#### 氣候

#### 産業

北回歸線が國の中央を通過するから、南半は所謂熱帯に入り、殊にメキシコ灣沿岸の低地は灣流の影響で、極熱・濕潤を極め、發黃熱と稱する惡疫が流行して、白人の居住に適しないけれども、海拔千米から二千米までの地は、最も溫和で健康に適し、多數の聚落が發達してゐる。然るにまた二千米以上の高原となると、ズツと寒くなつて雨が少く、處々に沙漠様の地が横はつて、仙人掌や龍舌蘭の如き植物のみが生育してゐる。

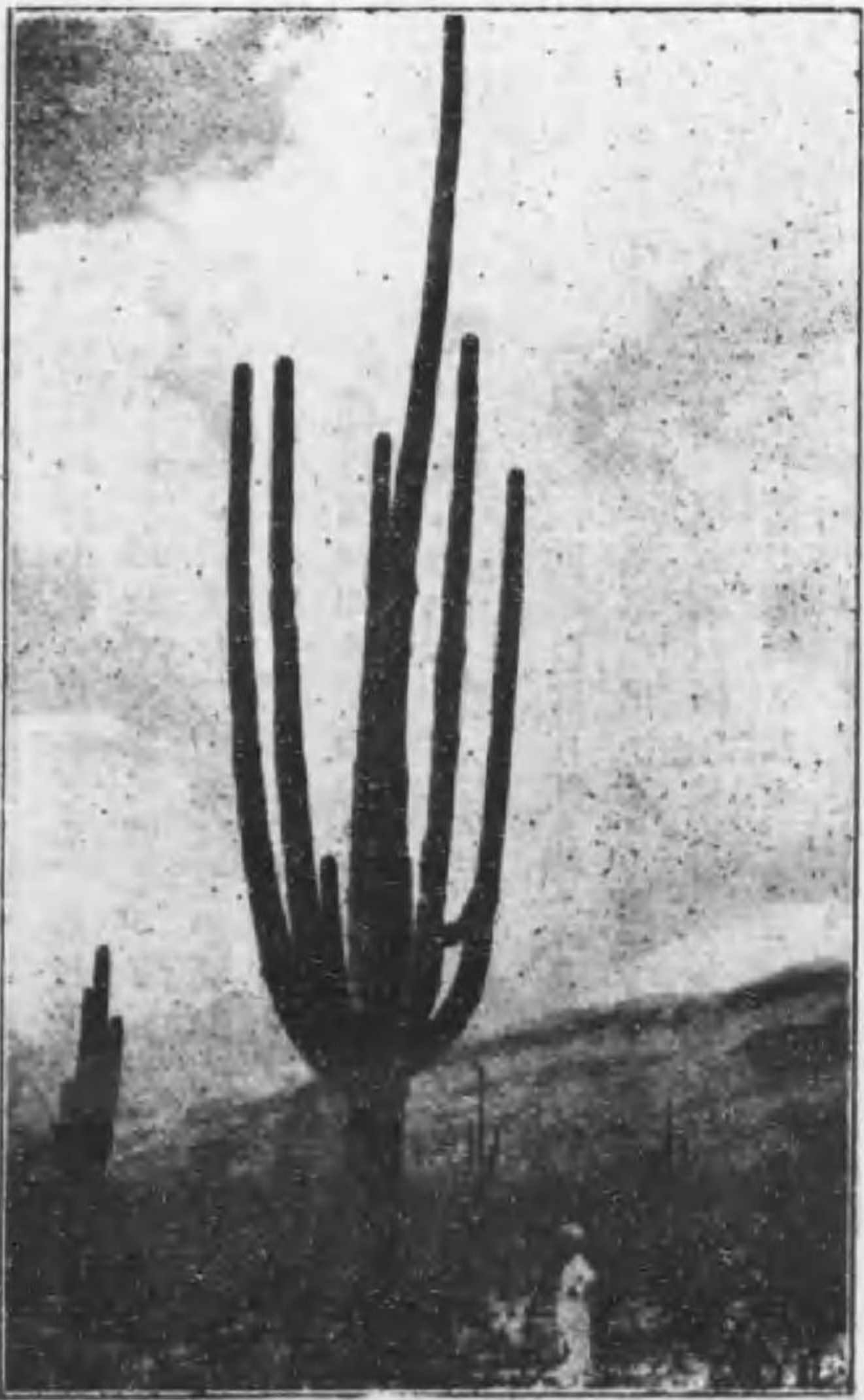
【農業】 低地には甘蔗・綿・米・果實、稍々高地には煙草・珈琲、高原には小麦・玉蜀黍・龍舌蘭・仙人掌等を栽培し、龍舌蘭の纖維はヘネケン麻で、その髓の乳液はブルケ酒の原料となる。また仙人掌の寄生蟲から洋紅の原料コチニールを製する。玉蜀黍は産額多く、國人は

大抵之を常食とする。

【鑛業】 この國の主要産業で、鑛業は豊富である。中にも銀の産額は世界第一に居り、メキシコ銀の名は世に著はれてゐる。石油も近年著しくその産額を加へ、世界第二の供給國となつてゐる。また銅の産額も世界屈指の中にある。その他、縞瑪瑙・蛋白石等の裝飾石も出る。けれども國內の財政が豊でないから、農業・鑛業共に、英・米・佛・獨等諸外國の資本によつて經營せられるものが少くない。

【牧畜】 牛・羊も飼ふ。皮革・肉類の輸出もある。

【林業】 桃花心木・護謨等を産する。



メキシコの仙人掌

### 住民

人口約千四百萬。密度は甚だ小さい。

住民の五分の一は西班牙人で、三分の一は土人その他は、西班牙人と土人との雜種メスチゾ族である。西班牙語を用ひて國語とし、舊教を奉ずる。而して教育は一般に未だ振はない。

### 政治

北米中最も早く開けた國で、歐羅巴人の渡米以前に、すでに王國を建て、一種アメリカインゲンヤン固有の文化の稍々見るべきものもあつたが、西班牙の爲に征服せられて、長くその植民地となり、後、獨立して聯邦共和制を樹てたけれども、内亂と政變とが屢々あつて一向に國運が振はず、常に隣りのアメリカ合衆國に干渉せられてゐる。

### 我が國との關係

この國が西班牙の植民地となつてノヴァイスパニヤ(ノ

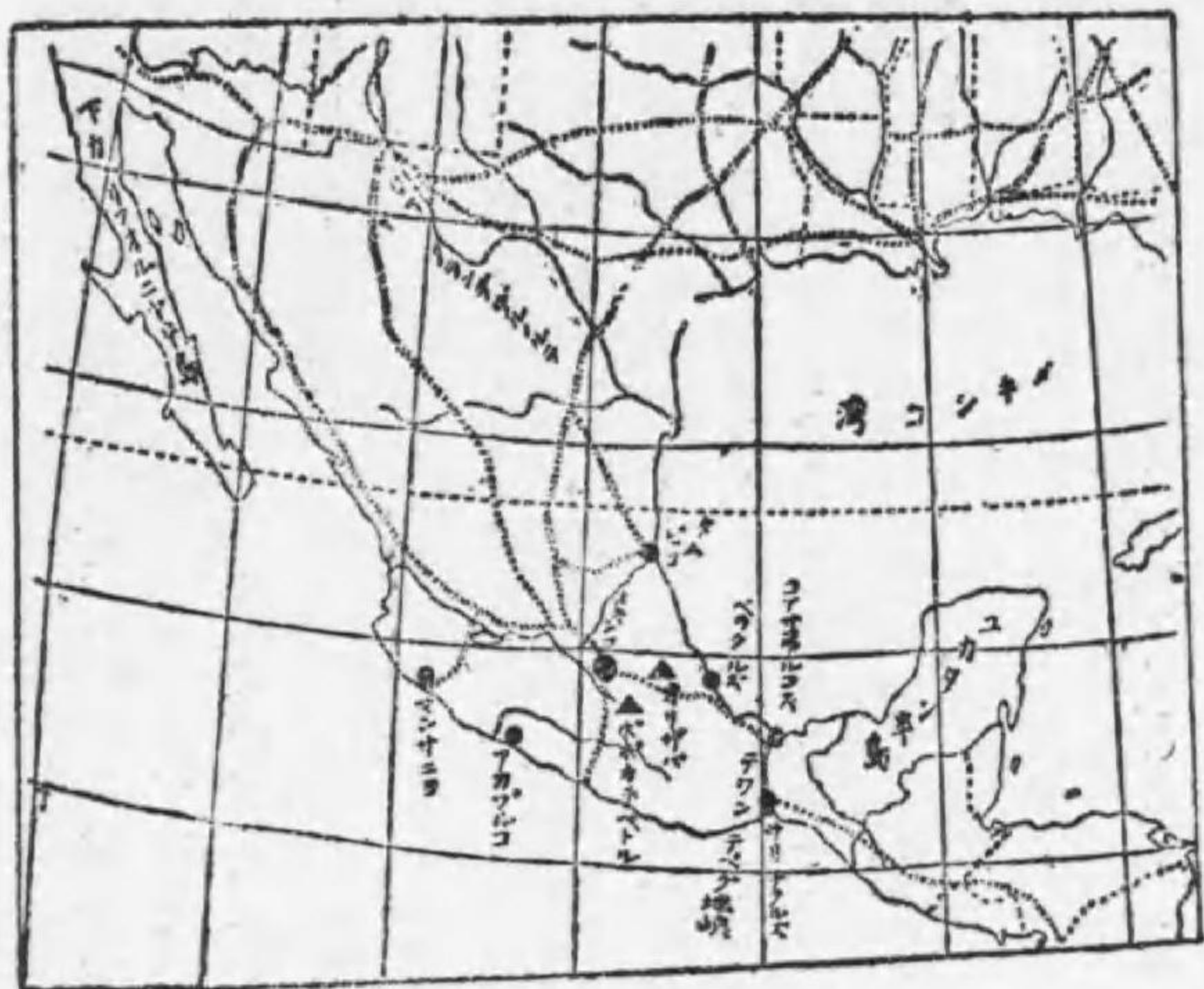
第三編 北亞米利加洲

ビスパンヤ)といつた頃、徳川家康が、我が國の船を、この國の太平洋岸アカプルコに至らしめたことがある。その後、我が國の鎖國した爲にその關係も長く絶えてゐたが、近年條約國となつてからは、國交年と共に厚きを加へ、我が移民を歓迎し、我が移民の東南部チャパ邊に於て農耕・採鑛の事に従つてゐる者も多い。

### 地方誌

【墨西哥】 首府。國の中央に位し、高原上海拔二二三〇米の地にある。空氣も景色もよい。人口一〇八萬。鐵道・道路四方に通じ、國內第一の商業地であるが、商業の實權は獨逸人の手にあるといふ。我が公使館がある。この博物館は、アメリカの重要な古物を多く陳列してゐる。

【ベラクルス】 疫病が屢々流行する濕熱な不健康地で、



あるが、この國での最も重要な貿易港である。  
 【タムピコ】 石油の輸出港として名高く、船舶の出入が多い。  
 【ポートメキシコ】 コアツアコアルコスともいふ。テワンテペグ地峡横断鐵道的一端を占め、サリナクルスと共に兩洋連絡の要地をなす。  
 アカプルコ } 共に太平洋岸の要港。  
 マンサニヨ }

### 問題

- 一、墨西哥の位置・地勢・氣候・天産につきて述べよ。
- 二、墨西哥の産業如何。
- 三、墨西哥の重要産物を列舉せよ。
- 四、墨西哥の住民及び政治を問ふ。
- 五、左記につきて知れるところを述べよ。

### 地勢

一般に高原性をなしそして到る處に火山が聳え、中には海拔一萬尺を超えるものもある。屢々大噴火をなし、また地震の災害を蒙むことも多い。比較的太平洋岸に急峻で、カリブ海沿岸は稍々低平である。

### 氣候

全土熱帯内に横はる爲に暑熱烈しく、殊にカリブ海沿岸の低地は濕潤で、蚊の多い、惡疫流行地として名高い高地は概して溫暖である。

### 産業

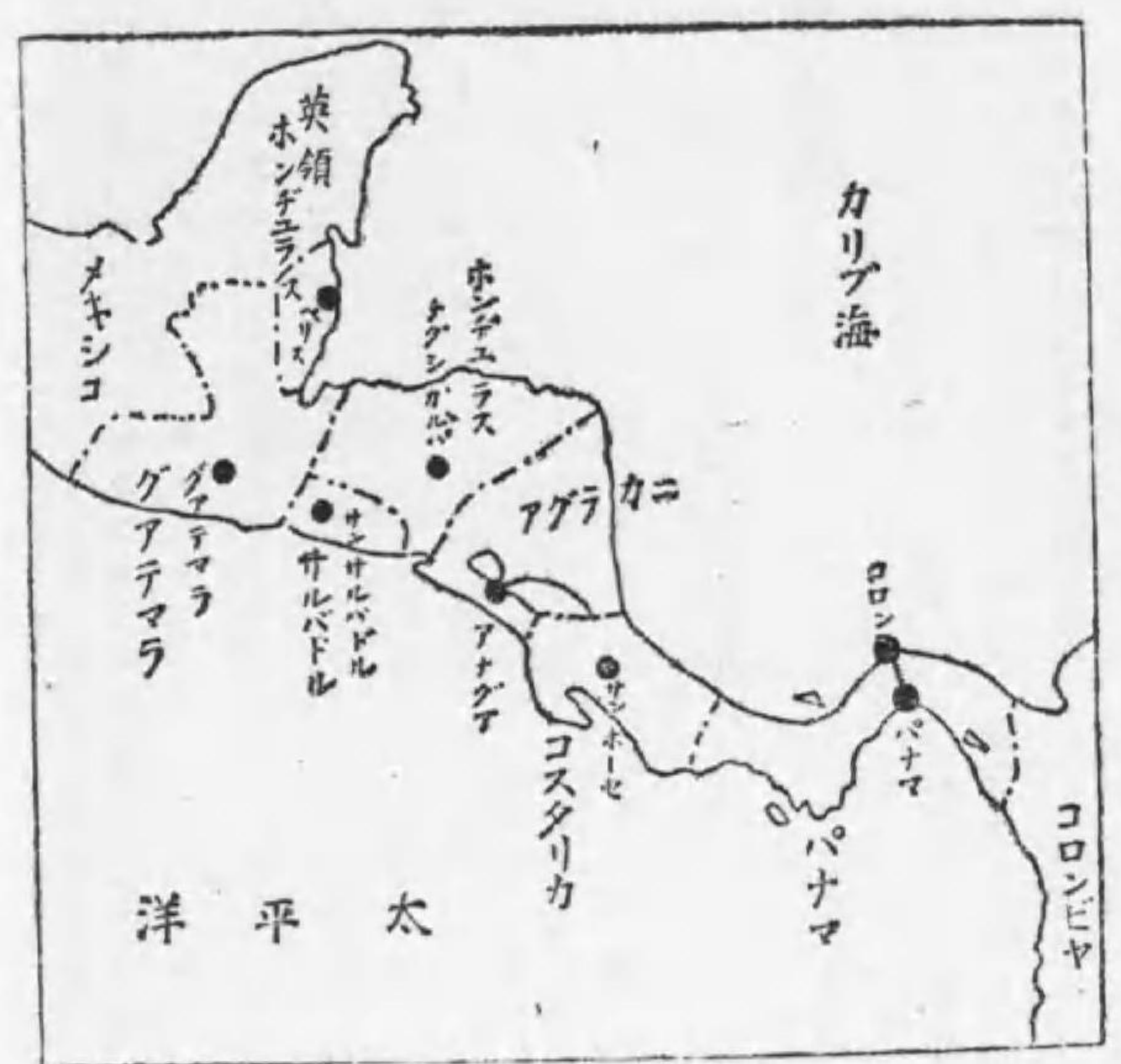
【農業】 氣候が溫暖・濕潤で、地味が肥沃なる故、植物の生育が宜く、玉蜀黍の如きは年に四回の收穫がある。

## 第八章 中央亞米利加

### 位置・境域

墨西哥の東南に連る細長い地域で、南北アメリカの中間に位し、太平・大西洋連絡の要地に當つてゐる。面積約三萬五千方里。略々我が國の五分の四に當る。

第三編 北亞米利加洲



農産は珈琲を主とし、バナナ、甘蔗、煙草、藍、カ、オ、コチニール等を出し、メキシコによく似てゐる。  
 【林業】 熱帯性の森林が到る處に繁茂し、桃花心木その他の良材に富み、護謨・染料等も多く出す。

住民

人口は約五百八十萬を算し、密度は地勢に随つて太平洋方面に大きい。  
 種族はアメリカ土人が最も多くて、人口の二分の一を占め、その他は西班牙人の白人及びその雜種に屬する。西班牙語が広く行はれてゐる。

政治

全部もとは西班牙の領土であつた。今は次の六共和國と一英領とに分れてゐる。

國名	面積	人口	首府
グワテマラ	八〇〇〇	二〇〇〇	グワテマラ
ホンチユラス	七四〇〇	六〇〇	テグシガルバ
サルバドル	一四〇〇	一三〇	聖サルバドル
ニカラグア	八二〇〇	七五〇	マナグア
コスタリカ	三〇〇〇	四六〇	サンホセ
パナマ	五七〇〇	三四〇	パナマ
英領ホンチユラス	一四〇〇	三五〇	ベリズ

何れも國勢は振はない。野心家があつて屢々革命を企て、騒亂が相踵ぐ状態である。  
 近時、これら諸國の中、グワテマラ・ホンチユラス・サルバドル・コスタリカの四國が共同して中央アメリカ聯邦を組織したけれども、まだ強固なものとはいへない。

第三編 北亞米利加州

【パナマ運河】 パナマ運河はチャグレス河の河谷に沿つて、パナマ・コロンの間約二十里を開鑿したもので、アメリカ合衆國の經營に係る。  
 パナマ地峽の開鑿は最初、彼のスエズ運河に成功した佛人レセツプの計劃したものであるが、その工事が地理上の困難によつて豫定の如く進まず、尋いて資本の缺乏を招き、遂に中止の止むなきに至つた。それをその後、アメリカ合衆國が、パナマの獨立を援助してその運河開鑿の權利を得、八億萬圓といふ大金と九年の日子を費して大正三年八月に至り完成した。  
 運河は幅五十間乃至二町五十間、深き四十二尺。太平洋方面に三段の水閘と、大西洋方面に三個の水閘とを設けて、最高水面八十五尺に達し、閘内に電車を用ひて船體を索引し、通常九時間乃至十一時間で、全部を通過することが出来る。

これが爲に、横濱と紐育との間は三千七百哩の距離短縮となり、常に太平・大西兩洋連絡の上に利するばかりでなく、世界に於ける海運上に大變化を變へたものである。

アメリカ合衆國は運河の兩側一帯各五哩の地を永久租借し、且つ運河の兩端並にパナマ灣内の諸島を譲り受けて要塞を設け防備を嚴にしてゐる。

我が國はパナマに領事官を置き、バルボアに日本郵船會社紐育航路の汽船が寄航する。

### 問題

- 一、中米諸國の人口密度を計算せよ。
- 二、中米諸國の地勢・氣候と人口分布の状態とを比較説明せよ。
- 三、中米の墨西哥と類似せる點を挙げよ。

- 四、パナマ運河につきて。
- 五、中米に於ける獨立國と首府を問ふ。
- 六、中米のカリブ海岸と太平洋岸とを比較せよ。
- 七、中米の住民。
- 八、中米の産業。
- 九、中米の政治につきて。

### 第九章 西部印度諸島

#### 總說

墨西哥灣口から東南の方、南アメリカのオリノコ河口に至るまでの間に横はる弧狀の列島で、東北は大西洋、西南はカリブ海に面す。約一千の島嶼から成り、面積一萬六千方里。略々我が本州同様である。地形上、大アンチル列島・小アンチル列島及びバハマ諸島の三部に別た

れる。

バハマ諸島は弧狀の外列をなし、一帯に低平な珊瑚礁から成り、小アンチル列島は大概火山島であつて、大アンチル列島は、キューバ・ハイチ・ジャマイカ・ポトリコの四島から成り、就中キューバは弧狀の主軸をなす丘陵性の最大島で、殊にその南部を東西につゞく稍々高い山脈が、東のハイチ及びポトリコから遠く小アンチル列島に脈絡し、別にジャマイカはハイチの南部に脈絡し、弧狀の内列をなすものと見做される。

氣候は、列島の位置が大部熱帯に屬するけれども、小島嶼から成る爲に海洋性であつて、中米のやうに不良でない。規則正しく乾雨の二季が交代して、八九月頃にはハリケンと稱する颶風が屢々襲來する。

各島の氣候が暖て雨が多い爲に甘蔗・煙草・珈琲の類は到る處に産し、キューバの甘蔗は産額世界第一である。

人口約九百萬も黒人が其の多數を占め、西班牙人もかなり居る。



中央にキューバ・ハイチ・ドミニカの三共和国があるが、米國がこの中央の三共和国に勢を張り、ポトリコ・セントトーマス等を領し、英國が周圍にあるバハマ諸島・ジャマイカ・トリニダード・バードス等を有つてゐる。其の他、極小さい佛領・蘭領の地がある。

### バハマ諸島

フロリダ半島の東南に連り、西印度諸島の外帯をなす珊瑚礁で、五百有餘の小島嶼となつて散點してゐる。けれども總面積は僅に七百餘方に過ぎずして、二十個の島嶼の外はすべて無人島である。人口六萬に近い。珊瑚礁であるから地勢は何れも低平で、鳳梨・オレンジ・トマト等の栽培が行はれる。近海には海綿を産する。

群島中のサンサルバドル島は土人の所謂ワットリンゲ

島で、コロンブス最初の上陸地として名高い。

### 大アンチル列島

キューバ・ハイチ・ポトリコ・ジャマイカの四島から成る。

【キューバ】西印度諸島中の最大島で、面積約七千三百

方里。略々我が九州の三倍に當る。

もと西班牙の領地であつたが、近年アメリカ合衆國の援助によつて獨立し、共和國となつた。隨つて合衆國の勢力が今に尙ほ偉大である。

墨西哥灣口から東西に長く横はり、西はユカタン半島と相望む。地勢は一帯に丘陵性で低平である。南の一部に稍々高い山脈があるが、山勢ハイチ島に似て、西印度諸島の主軸をなしてゐる。土地がよく開けて、甘蔗・煙草・珈琲等の栽培が盛に

行はれ、中にも甘蔗糖の産額は世界第一である。煙草も亦ハバナ港から輸出せられるのでハバナ煙草といはれるが評判が好い。この外、鳳梨・バナ、等の果實も多く産する。また山地は森林に富み、マホガニー等の良材を出す。

人口三百萬に餘る。

首府をハバナといふ。人口三十六萬。西印度第一の都會で、煙草に名を得てゐる。水陸の便よろしく、殊に米國との間は、船が列車を積んで連絡してゐる。

【ハイチ】キューバの東方に並ぶ面積四千七百里ばかりの島である。列島の主軸をなす山脈が東西に走り、別に列島の内帯をなす山脈もジャマイカからついで来て、地勢高峻である。

島内が二共和国に分れ、東半は白人の組織するドミニカ國、西半は黒人の建てたハイチ國である。西半の

ハイチ國は面積約千七百里。人口二百萬に餘る。多數は黒人であるが、もと佛國植民地であつた關係上、佛人の子孫がかなりにゐて官話には今も佛語を使つてゐる。珈琲・コ、ア、綿・煙草・砂糖・鳳梨等を産し、産業には米國の資本を多く輸入してゐる。この國は近年米國の保護國となり、財政・警察等の諸權は委く米國の手に歸した。

首府をポルトオープリンスといひ、人口十二萬五千。東半のドミニカ共和國は面積約三千方里。人口九十萬。もと西班牙の領地であつた處だから、西班牙人の子孫や、西班牙人と土人との雜種が多くて、黒人はズツと少い。

甘蔗の栽培が最も盛で、殊に南部に行はれる。中部東北部は煙草・コ、ア、珈琲等を産する。首府サントドミンゴは人口三萬。



この國は長く米國の軍事占領となつてゐたが、最近に撤兵せられる筈である。

【ジャマイカ】 英領である。ハイチの西に並ぶ。面積約七百万里。人口はやがて九十萬ある。山が高く樹木がよく茂り、耕地には甘蔗・珈琲・果實が多い。

首府をキングストンといふ。世界屈指の良港である。人口は六萬餘。

【ポートルコ】 ハイチの東に列び、面積五七〇方里、人口百三十萬。米國の領地で、砂糖・煙草・珈琲その他果實を産する。

### 小アンチル列島

ポートルコの東方から、オリノコ河の口にまで、半月狀に列ぶ二十有餘の小島嶼をいふ。大概火山島で、中にもマルチニー島のブレイ火山の如きは、明治三十五年に

大破裂をして、その麓なるサンピエールの港市を破壊してしまつた。

小アンチルの諸島は、次のやうに四國に分領せられる。

英領—ドミニカ・セントビンセント・バルバドス・トリ

ニダード。

佛領—グアドルツプ・マルチニー。

米領—セントトーマス・サントクルーズ・セントジョ

ン。

蘭領—リウワード諸島。

【トリニダード】 小アンチル列島中の最大島で、英國に屬す。地産の特産があるので名高い。

【バーバドス】 英國の海軍根據地となつてゐる。

【セントトーマス島】 大正五年に米國が二千五百萬弗を以て丁抹から購つたヴァージン諸島の一島で、ポートル

リコの東に位し、良港があるので名高い。

### 問題

- 一、西印度諸島の主要島を列挙し、及びその位置を述べよ。
- 二、西印度諸島の氣候如何。
- 三、西印度諸島の政治的區劃。
- 四、西印度諸島に於ける米國の勢力。
- 五、西印度諸島の主要産物。
- 六、キューバと米國との間に於ける交通狀況。
- 七、左記につきて記せ。

ハバナ	バハマ	トリニダード
バーバドス	ポートルコ	ハイチ

### 位置・境域

北亞米利加洲は西半球の北部にあり。

北は開きて一部寒帯に入り南は閉ちて熱帯に横はる。

三面海に臨み、南方、太平洋と大西洋との間はパナマ地峽によつて南亞米利加洲に連り、西北方、太平洋と北極洋との間は、ベーリング海峡を隔て、亞細亞洲と相對し、北方、大西洋と北極洋との間には、大小幾百の島嶼が散布してゐる。

面積は約百六十萬方里。亞細亞・阿弗利加に次ぐ、世界第三の大陸である。

### 第十章 北亞米利加洲括論

#### 第一節 地文



地勢

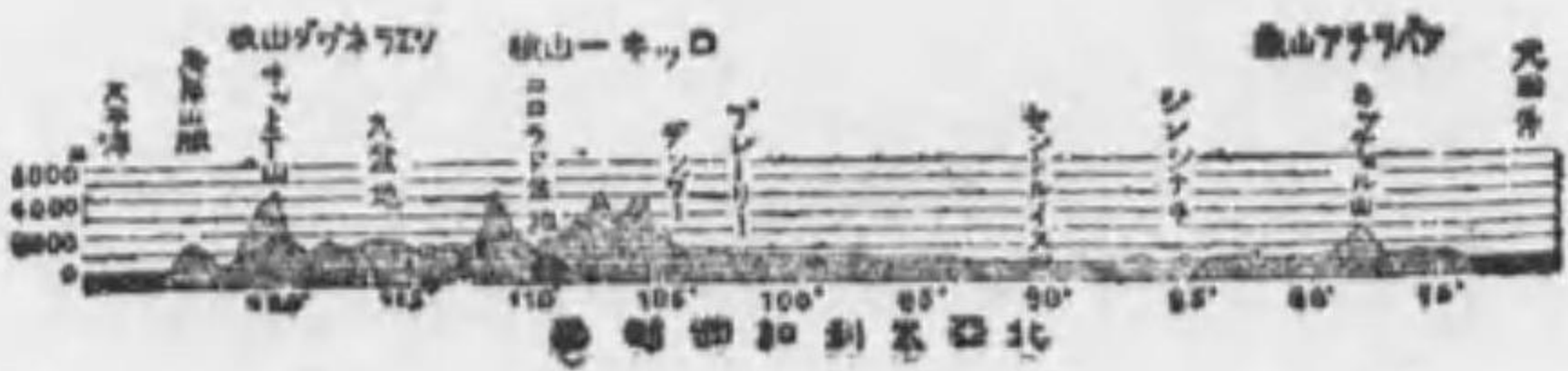
大陸は略々三角形をなし、太平洋に面する一辺が最も長い。三角形の著しく破壊したやうに見える所は、北方のハドソン湾と南方のメキシコ湾とで、ハドソン湾は方形に近く、メキシコ湾は圓形に似、何れも湾内から土砂を掻き上げて棄てたやうな形に、その湾口に群島を横へてゐる。一は水深浅く、冬季堅氷に鎖され、一は水割合に深く、且つ暖流の釜を以て稱せられてゐる。地勢は自ら三部に分れ、東西に山地、中央に平原がある。
【山系】 西部山地は、所謂コルゲラ山系の連亘する處で、数條の山脈が、西北ベリリング海の岸から太平洋岸に沿うて、並び走り、中にもロッキーマウンテン、シエラネバダ、カスケード等の山脈は、處々に海拔四千米以上の高峰をおこし、廣大な盆地・高原を抱き、一帯に峻峻雄大を極

めてゐる。高度は漸次に南に至る程小さくなるが、幅員は中央部に於て最も廣く、こゝに名高いユタの大盆地やコロラドの大峡谷を造る。南方メキシコの高原からは、漸次に山勢が衰へて遂にパナマの地峡に及ぶ。
東部山地は、概して西部山地よりも高度が低い。アパラチヤ山系は数條の山脈から成り、高度は二千米以下である。西南から東北の方向に互つて、餘脈はノバスコチヤ半島・ニューファンドランド半島となつてゐる。北部は氷河の削磨を受けた痕跡が著しく、東部は断層による瀑布線を有つてゐて、工業市の發達を促してゐる。
ラブラドル高原は、ハイトオブランドの一部をなすもので、セントローレンス河谷を隔て、アパラチヤ山地と相對するが、一面に氷蝕の痕を有ち、高度は更に落ちて最高點僅に六百米内外に過ぎず、しかも漸次西

第三編 北亞米利加洲

に低下する。

グリーンランドは内陸氷河を戴いた一大高原で、沿岸は大陸の西北岸の如く峡灣が多い。西印度諸島も、主として東西に走る山脈を骨格としゐるが、同じく東部山地に屬すべきものである。
また太平洋岸には大火山脈があつて、アレウト列島からアラスカに入り、海岸に沿うて南走し、北部に本洲の最高峰マツキンレー(六二四〇米)や、ローガン(五九五〇米)、南部にオリザバ(五五八二米)・ボボカタペト



ル(五四五二米)等の火山をおこし、南米に連る。蓋し太平洋の周縁に横はる大火山脈の一部であつて、また名高い地震帯をなしてゐる。

中央低地は、北は北極洋岸から南はメキシコ灣岸に及び、メキシコ灣・カリブ海もその接続と見做される。中部以北は、過去氷河の勢力を蒙り、その結果數多の湖沼と、これを連絡せる河川とに富み、北方の一部凍原を除けば交通便利である。南部はミシシッピの流域に屬し、農耕最もよく開け、西部にはプレーリーがある。

【水系】 ハイトオブランドを繞る一帯の低地には湖沼多く、これら湖沼の水は流れて一はセントローレンス河となり、一はマツケンジー河となる。湖沼の中では、スベリオル・ミシガン・ヒューロン・エリー・オンタリオの五大湖及びウキニヘグ湖等が最も著はれ、何れも大

部内地の開墾に貢獻してゐる。エリー・オンタリオ湖の間には、有名なナイアガラ瀑布がある。

中央平原の南部を流るミシシッピ河は、世界第一の長流で、ミズリー・オハイオ等の大支流と共に舟楫・灌漑の利頗る多く、その流域は實に米國の一大寶庫をなす。

この外西部高地に、リオ格蘭デ・デル・ノルテ・コロラドの二大峽谷、またアラスカにユーコン河がある。

(註) 北極洋に注ぐ諸大河は、一年の大部凍結して、その利用の少いことは、ちやうど西比利亞の河川のやうである。

### 氣候

北亞米利加洲は、南北は約二千里、東西千二百里に互る大陸で、北は極圈、南は熱帯に入り、暖流もあり、寒

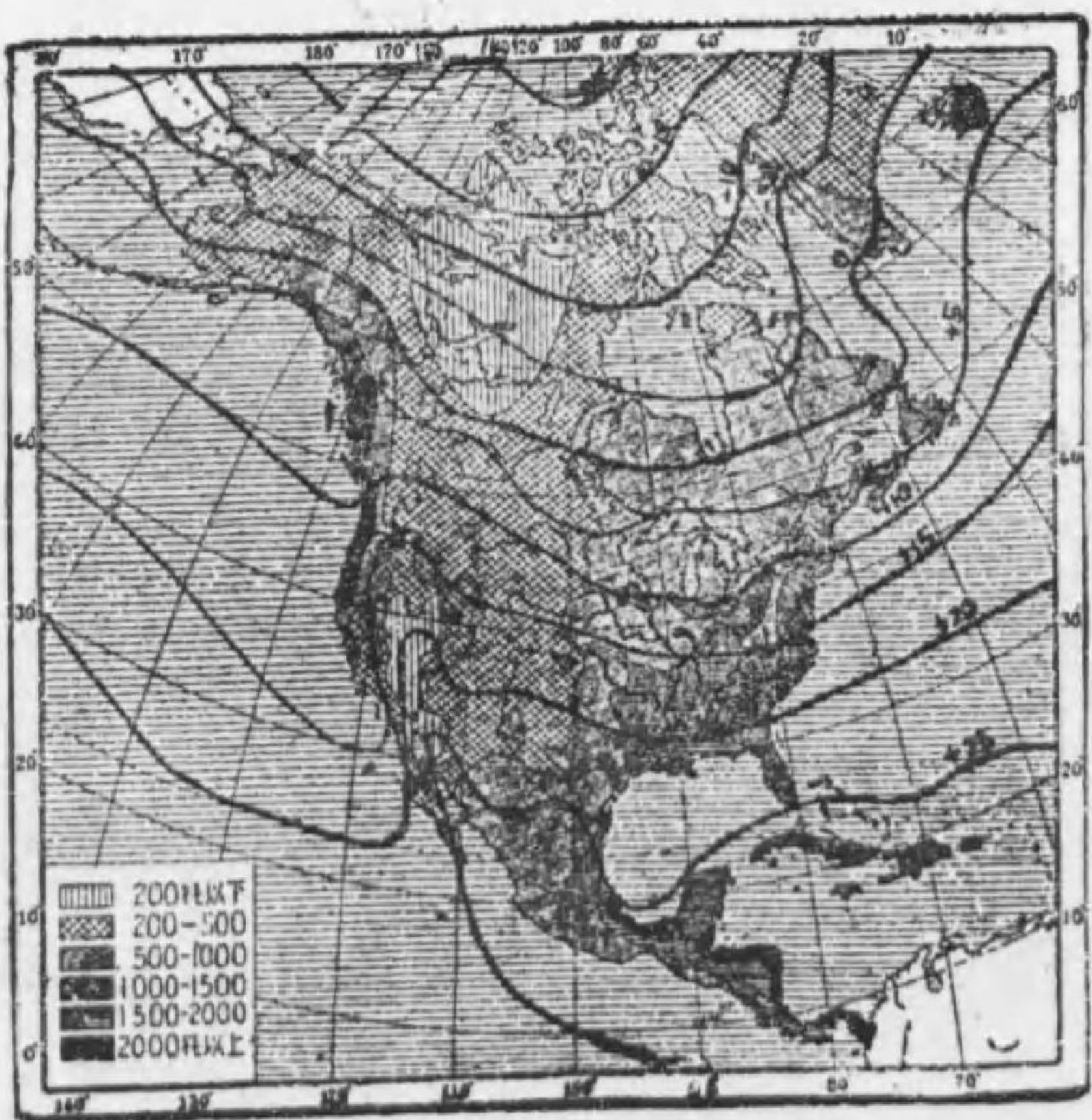
流もあるから、氣候は各地に於て甚しい差がある。

中部の沿岸地方は概ね溫和であるが、南部のメキシコ灣附近は、その灣が暖流の釜といはれるだけに、高温・多濕である。北部の沿岸は一帯に寒氣烈しくて、パツフィンランド附近の寒氣はシベリヤの北部にも劣らない。

(註) 加奈陀では、凍原のことをバーレンランドといふ。その性質は、歐亞の凍原と異なる。

中央の大平原は、南は熱帯に、北は寒帯に開き、而かも東西に山地を有するから、一般に大陸性で、降雨も少い。

東西の兩岸に於ては、西岸は日本海流の影響で、東岸よりも比較的高温・多濕である。東岸は暖寒流の爲に、南と北とで氣温著しく異り、氷山は屢々ニューフオンドランド附近まで浮動する。またメキシコ灣附近には往々颶風の害がある。



第三編 北亞米利加洲

### 天産

【植物】 新大陸だけに舊世界に比べて特殊のものが多く、南部に桃花心木・蘇枋木・仙人掌・龍舌蘭の如きものがある。煙草・玉蜀黍・馬鈴薯は今でこそ廣く世界の到る處に栽培せられるけれども、もとはこの大陸から移したものである。

極北部は一木一草でもない荒涼たる凍原をなすけれども、その南方は、一帯に世界の北方大森林帯の一部をなし、針葉樹の美林が連つてゐる。中部の内にはブレイリーや沙漠があるけれども、西部海岸地方には巨大な樹木が茂り、メキシコ以南には亞熱帯及び熱帯林がつづく。

【動物】 舊大陸に比べると、高等動物の種類は少い特殊なものに海狸・ビヌーマ（アメリカ獅子）・野



北亞米利加洲の地理

犬・ブレイリー犬・タヒア・七面鳥・蜂蜜・鱒尾蛇・アリゲートル（アメリカ鱷）等がある。

動物と同じく、中部以北は概ねユーラシアのものに類似し、以南が本洲特有のものに富む。全世界に誇る中央平原の大牧場にある幾千萬億の牛・馬・羊・豚等は悉く、白人が移住後に歐洲から齎したもので、その増殖するに随つて、かつて中央大平原に群をなすつゝ彷徨してゐた野牛の如き、次第に狩り立てられて、今は僅に黄石公園に残つてゐるといふ程になつてしまつた。

東西の兩海岸の中部以北は、ユーラシア北部と略々相等しい水族に富んで、世界主要の水産地をなしてゐる。

【礦物】 本洲の礦産は甚だ豊富である。中にも、アラスカからカリフォルニアに至る西部沿岸地方の金、合衆

國からメキシコ・中米に至る間の銀、合衆國及びメキシコの石油、合衆國の石炭・鐵を最も著しとする。

### 第二節 人文

#### 産業

北亞米利加洲は、地域が廣く、大部温帯に横はり、且つ熱帯にも寒帯にも互るから、亞細亞に似て、天産が頗る豊富で、産業も随つて非常に盛である。しかも産業中にはその規模の舊大陸に比べて甚だ大きいものがある。

【農業】 中央の大平原に最も盛に行はれる。沃野が廣く、その割合に人口が少いから、耕作にも收穫にも大概家畜と機械との力を用ふる所謂大農法で、農業の規模が頗る大きく、生産の尙ほますゝ發達する見込がある。殊に合衆國の如きは本洲原生の玉蜀黍・馬鈴薯・煙草と移入の小麥・綿・甘蔗に於てその産額共に世界第一

である。加奈陀南部の小麥、西印度諸島の甘蔗糖・煙草等も亦世界の市價を左右するに足るものである。

【牧畜業】 中部の草原・平原には牛・馬・羊・豚の飼養が盛に行はれ、肉類其の他の畜産物が頗る多い。

【林業】 合衆國及び加奈陀の東西兩海岸地方は林産に著はれ、木材やバルブの産出が夥しい。また中央アメリカ及び西印度諸島にはマホガニーその他の良材を出す。

【鑛業】 本洲は世界有数の鑛業地で、合衆國・加奈陀・墨西哥は石油・石炭・鐵・銅・金・銀・ニッケル等頗る多く産出する。

鐵	產	出	國
合衆國(世界第一)。			
合衆國(世界第一)。			加奈陀・墨西哥。

金	產	出	國
合衆國・加奈陀・墨西哥。			
墨西哥(世界第一)。			合衆國・加奈陀。
ニッケル			加奈陀(世界第一)。
石炭			合衆國(世界第一)。
石油			合衆國(世界第一)。

【工業】 鐵・石炭・石油及び水力に富み、原料品は殆ど無盡蔵だから、合衆國及び加奈陀に於ては著しい、發達を遂げ、殊に合衆國の盛大は歐洲の先進國を凌ぐとするものがある。

【商業】 貿易の盛なことも合衆國と加奈陀とで、殊に合衆國は輸出入總額英國と相伯仲し、殊にその年々の輸出超過は巨額に上つてゐる。

主要開港場は大西洋岸に發達し、取引は最も多く合衆國加奈陀兩國に行はれる外に、兩國共に英吉利との

間にも多く行はれる。

主要商港

合衆國……紐育・ホストン・費府  
 ニューオールリンス・桑港。  
 加奈陀……モントリオール・晚香坡。  
 キューバ……ハバナ。

交通

【鐵道】 世界の鐵道の半分は本洲にある。

殊に東部は歐洲に向ひ、港灣に富み、また早く開けた處だけに、最も著しく發達してゐる。

東西海岸を連絡する大陸横斷鐵道の主なものは、加奈陀太平洋・グラントトランク太平洋・大北・北太平洋・西太平洋・ユニオン太平洋・南太平洋の七鐵道である。

これから横斷鐵道の列車は、もと汽力によつたけれども次第に電化して來た。そしてこの横斷に速いのは

四日かかる。列車の速度も次第に大きくなつて、一時間八十哩に達するものがある。

【水運】 海港も亦東北部に多く、歐洲との間には盛に大汽船が通つて、紐育・ホストン・費府等が世界屈指の巨港となつてゐる。英佛の諸國が競争して快速力の巨船を用ひ、爲に英米間の航海は僅に五日で出来る。東洋及び濠洲等との間にも、我が國を始め各國の汽船が往來して、日本の間は普通二週間かかるが、大汽船によると約八日で達することも出来る。

五大湖・セントローレンス河・ミシシッピ河等の河湖及びその間の運河の利用も他の大陸に比類なき程に盛であつて、合衆國の如き、五湖地方には太平洋方面よりも以上の汽船を配してゐる。

またパナマ運河の開通は、大西・太平洋の連絡を容易にして、日米・日歐間航路に大變化を與へた。

海陸交通の連絡地は、大西洋岸にあつては紐育・ハリ  
フックス。太平洋岸にあつては桑港・晚香坡。

【電信】 海底電線は歐洲を始め、東亞・濠洲を連絡し、無  
線電信も歐洲に通ずる外、近年また我が國との通信も  
可能となつた。

### 住民

全人口約一億四千五百萬。一方里の密度は僅かに九十  
人にしか當らない。

原住民はアメリカインデアンだけでも最近四百年來  
歐洲から移住した白人の爲に壓迫せられて、漸次僻地に  
引き退き、人口も寧ろ減少する傾向がある。今約八百萬  
位のものである。

歐洲からの移民及びその子孫は、人口の大部を占め、  
その数大約九千萬に及ぶ。その内、西班牙人の子孫は墨

西哥以南の南部、佛蘭西人の子孫はカナダの東部に居る  
けれども、英吉利人の子孫は中部・北部の到る處に繁茂し  
て、最大多数を占めてゐる。

この外、東南部にはかつて奴隷であつた阿弗利加の黒  
人の子孫が約千五百萬。カナダの北部には約一萬五千の  
エスキモー族が住み、尙ほ印甸人及び西班牙人の混血種  
メスチゾ族、西班牙人及び黒人の混血種ミュラット族等  
を始め、その他の白人・土人・黒人の混血種も約一千萬  
はあらう。

西部には支那人・日本人等の移住してゐるものも若干  
ある。

### 政治

大陸の中央部にアメリカ合衆國があつて、その北隣に  
英領カナダがあり、共に廣大な面積を占めてゐる。南部

は、合衆國の南隣に稍々大きなメキシコ共和國があるけ  
れども、中央アメリカから西印度諸島への一帯、數ヶの  
小共和國に分立して、その間には歐洲諸國並にアメリカ  
合衆國の小領地が介在して著しく錯綜してゐる。

これらの獨立國は何れも合衆國獨立以後の建國で、合  
衆國に倣つて立憲制を布いたのだが、政府の基礎も固ま  
らず。内紛も相次いで、國勢が振はない爲に兎角合衆國  
の全米主義に捲き込まれやうとしてゐる。

本洲の獨立國はアメリカ合衆國・墨西哥・グアテマラ・  
ホンデウラス・サルバドル・ニカラガ・コスタリカ・パナ  
マ・キューバ・ハイチ・ドミニカの十一ヶ國で、一も君主  
國はない。合衆國と墨西哥は我が條約國で、合衆國には  
大使を、墨西哥には公使を派遣してゐる。我が總領事館  
所在地は、オッタワ・紐育・桑港。領事館所在地は晚香  
坡・シヤトル・ポートルランド・ローサンジェルヌス・シカゴ・

ニューオーリンズ・ハバナ・パナマ。

屬地は英領にカナダ・ニューファンドランド・バーミュ  
ダ・ボンヂウラス・バハマ・ジャマイカ・バードストリ  
ニダート等。佛領にマルチニー。蘭領にキュラソー。米  
領にアラスカ・ポートルニコ・セントトーマス等がある。

### 問題

- 一、北米大陸の位置。
- 二、北米大陸の概形を描きて主要なる山系と水系とを記  
入せよ。
- 三、北米大陸に於ける火山脈如何。
- 四、北米大陸の太平洋岸に於ける主要なる出入如何。
- 五、ミシシッピ河とセントローレン河との比較。
- 六、ハドソン灣とメキシコ灣との比較。
- 七、次の説明を求む。

コルゲレラ山糸      アバラザヤ山糸  
ミシシツヒー河

メスチゾ族      ミュラツト族  
エスキモー族

- 八、北米大陸の平原につきて。
- 九、北米大陸の湖沼につきて。
- 一〇、北米大陸の氣候と海流との關係。
- 一一、北米大陸の主要農・礦物を擧げよ。
- 一二、北米大陸固有の動植物如何。
- 一三、左記アメリカの天産につきて説明せよ。  
野牛      桃花心木  
ヒューマ
- 一四、北亞米利加洲の産業と歐羅巴洲の産業とを比較せよ。
- 一五、北亞米利加洲の交通及び産業の關係。
- 一六、北米大陸横斷鐵道を擧げよ。
- 一七、北亞米利加洲の政治區劃を示す略圖を描け。
- 一八、左記種族の説明を求む。

- 一九、北亞米利加洲に於ける住民につきて。
- 二〇、北亞米利加洲に航路を有する我が汽船會社、及びその汽船の寄航地又は終航地。

## 第四編 南亞米利加洲

### 第二章 ベネズエラ

#### 第一章 緒論

#### 位置・境域

南亞米利加大陸の最北部を占め、北はカリブ海に臨み、東はギアナ・南は伯刺西爾・西は哥倫比亞に接する。面積約六萬六千方里。

#### 南亞米利加洲

北亞米利加洲の南に連り、我が國との對蹠點に當り、新大陸の南部をなす。

#### 地勢

面積約百二十萬方里、世界第四の大陸であるが、發見も移民も北アメリカ洲より更におくれた爲に、人口約六千萬に過ぎずして、その密度は六大洲中最小に位す。  
アルゼンチン・ブラジル・チリ等十ヶの獨立國があるが、一も君主國はない。この外三ヶの英・佛・蘭三國の小植民地がある。

北部は、アンデス山脈の支脈がマラカイボ灣を抱いて海岸に連り、最高點四七〇〇米に達するが、餘脈は海に入つて小アンチル列島となる。中部はオリノコ河の流域で、流域の平原をリヤノスといひ、季節によつて沙漠となり草原となる。オリノコ河は東に流れ、河口には三角洲が發達してゐる。南部にはギアナにつづく山地があつ

て、ギアナ山地といふ。中でバリメ山脈が最も著はれ、最高點二千五百米に及ぶ。

### 氣候

熱帯にあるけれども、北部山脈の地は溫和である。乾季と雨季とがあり、雨季にはラノスの如きは一面に河水が氾濫する。

### 産業

南部山地は鐵物と林産とに富むが、まだ開發の緒に著かぬ。ラノスは、牛・馬・羊等の牧畜が行はれ、北部では珈琲を作る。甘蔗・コ、ア、ゴムなどもある。東南部からは金が出る。

人口約二四〇萬。西班牙人の移民の子孫が多くて、舊教が行はれてゐる。政治は共和制を布いてゐる。

### 處誌

「カラカス」首府で、人口約十萬ある。北部山地の海拔三千尺の地に位し、氣候は好い。

「ラゲアイラ」カラカスの外港で、カラカスとの間には世界にも名高い屈曲した鐵道を通ずる。

〔註〕カラカス・ラゲアイラの間は、直徑僅に六哩であるが、鐵道は屈曲して二十三哩に及んでゐる。

〔註〕ベネズエラは小ベニスの義。歐人始めてマラカイホ灣に來た時、土人の水上に生活する狀がベニスに似てゐるから名づけたのだといふ。

### 第三章 ギヤナ

### 住民・政治

くて、全部を合せて僅か五〇萬に過ぎない。南米中に於て人口の密度が最小である。黒人が多い。

### 地勢・産業

南緯ブラジルとの間には、ギアナ山脈があつて、これから北方の海岸に向ひ、階段狀をなして次第に低下してゐる。

平地は高温・多濕で、種々の熱帯性植物が繁茂してゐるけれども、不健康地が多くて、人口が少い。佛領の如きは今も尙ほ罪人の流謫地としてゐる。何れも耕地には甘蔗・米・カ、オ等を栽培し、山地からは森林があり、また金を産する。

### 都邑

「ジョージタウン」英領の首都。人口五萬五千。

### 位置・境域

ベネズエラの東に連り、南はブラジルに包まれて、北は大西洋に面する。英・蘭・佛の三國に分屬し、面積は、英領一萬五千方里、蘭領八千七千方里、佛領五千三百方里。人口は甚だ少





【パラマリボ】 蘭領の首都。  
【カイエンヌ】 佛領の首都。

### 第四章 伯刺西爾

#### 位置・境域

南亞米利加洲第一の大國で、面積約五十五萬方里に近く、我が國の約十二倍半もある。本洲の東部から、中部にかけて、殆ど本洲の半を占めてゐる。随つて智利・エクアドル二國を除けば、その他の南米諸國とは悉く境を交へてゐる。

#### 地勢

國土は廣いけれども、地勢は簡單で大要、二部に分たれる。  
【東南部のブラジル山地】 海拔千乃至三千尺の一大高

原で、大海の波濤の如くに起伏して、全國の過半に據がり海岸近い處がかへつて稍々高峻な山脈をなしてゐるけれども、それでも、この廣い國土に一萬尺以上の高峰が見當らない。

内地は次第に低くなつて、いつとなしにアマゾン河及びブラタ河流域の平原に接続してゐる。概して氣候が良好であつて白人の居住に適する。

【西北部アマゾン河流域】 東西千二百里、南北八百里に及ぶ大平原で、一帶にセルバスと稱する大森林地をなす。アマゾン河は世界第一の大河で、南米大陸の幅員の最も大きい部分に、その數多の支流を擴げて、三方の山地からの水をあつめる。熱帯の豪雨を受けるときは河水の六十尺も漲り増すことがある。水量の増したときは漫々たる湖水の觀を呈し、まことに南米の地中海の名に背かない。潮汐は六百哩の上流にまで感ぜら

てゐる。

南部のパラニヤ河の支流には名高いイグアス瀑がある。また東部のサンフランシスコもかなりの大河だけれども下流に瀑布があつて舟行に不便である。

#### 氣候

國の大部は熱帶内に含まれ、アマゾン河流域と北部の海岸地方は殊に純熱帶性で、周年酷熱が衰へない。歲に乾季と雨季との交代があるだけである。けれどもブラジルの高臺地は最も溫和で、四季の變化も行はれ、至つて健康に適する。

#### 産業

【農業】 東南部の山地に行はれ、殊に珈琲の栽培が最も盛で、その産額は世界全額の約七割を占め、本國の最

れ、汽船は何の隙ることなく河を溯り、國境を越えて秘露にまて達することが出る。流域は多雨炎熱であるから各種の樹木が密生繁茂して、林中は長夜の如く、怪獸異禽がその間に電得顔に棲ん



林森大のスマルゼ

大富源をなしてゐる。サンパウロ州を主産地とし、サントス港が主要輸出港である。

東部地方は夥しく、甘蔗・

煙草等を産する。また南部

地方には米作が有望である

近年起つた我が伯刺西爾會

社はこれが爲である。この

外、南部地方にはマテ茶・小

麥を出す。

【牧畜業】 南部地方に行は

れ、牛・馬・羊等を養ふ。

【林業】 セルバスの森林地は

護謨・マホガニー・シーダー

松・椰子等の木材・染料材・藥用材等種々有用の天産に

富むが、資本勞力の不足によつて、その大部はまだ十分



明瑞のルソラフ

利用せられない。就中護謨はこの國第一の産物で、産額世界第一に位す。バラ港から輸出せられるので、世にバラ護謨と稱せられる。

【鑛業】 ブラジル山地に金及び金剛石があるが、探掘はまだ十分でない。

【工業】 尙幼稚であるけれども、近時、綿絲紡績が大に發達して前途頗る好望である。

【商業】 亦盛大で、主要輸出品は珈琲を第一とし、砂糖・綿・皮革・コ、ア・煙草・マテ茶・ゴム等之に次ぐ、輸出額は年々輸入額を超過し、主に米・英・亞爾然丁等と取引する。

### 住民

人口約三千万。

葡萄牙人の子孫が最も多数を占め、葡萄牙語を國語と

してゐる。白人・黒人・雜種も少くない。

人口の密度が小で、我が國の四十分の一ぐらゐにしか

當らない程であるから、大に各國の移民を歓迎してゐ

る。伊太利・獨逸・西班牙等からの移民が最も多いが、

中でも獨逸人が一番勢力があつて、純然たる獨逸村落

と成つてゐる處さへある。我が移民會社も亦サンパウ

ロ州政府との契約に基いて、多数の移民を送り、今在

住同胞は四萬に餘り、邦人の多いことは南米中第一で

ある。

(註) 大正九年から十一年まで三年間の入國移民數三

百六十餘萬人。

### 政治

この國はかつて葡萄牙の領土であつたが、十九世紀の初に獨立して皇帝を戴き、明治二十二年に至つて之を廢

し、今の二十州、一區から成れる合衆共和國を建てた。我が條約國で、首府リオデジャネイロに大使と領事とを派し、サンパウロに總領事館を置いてゐる。

### 都 邑

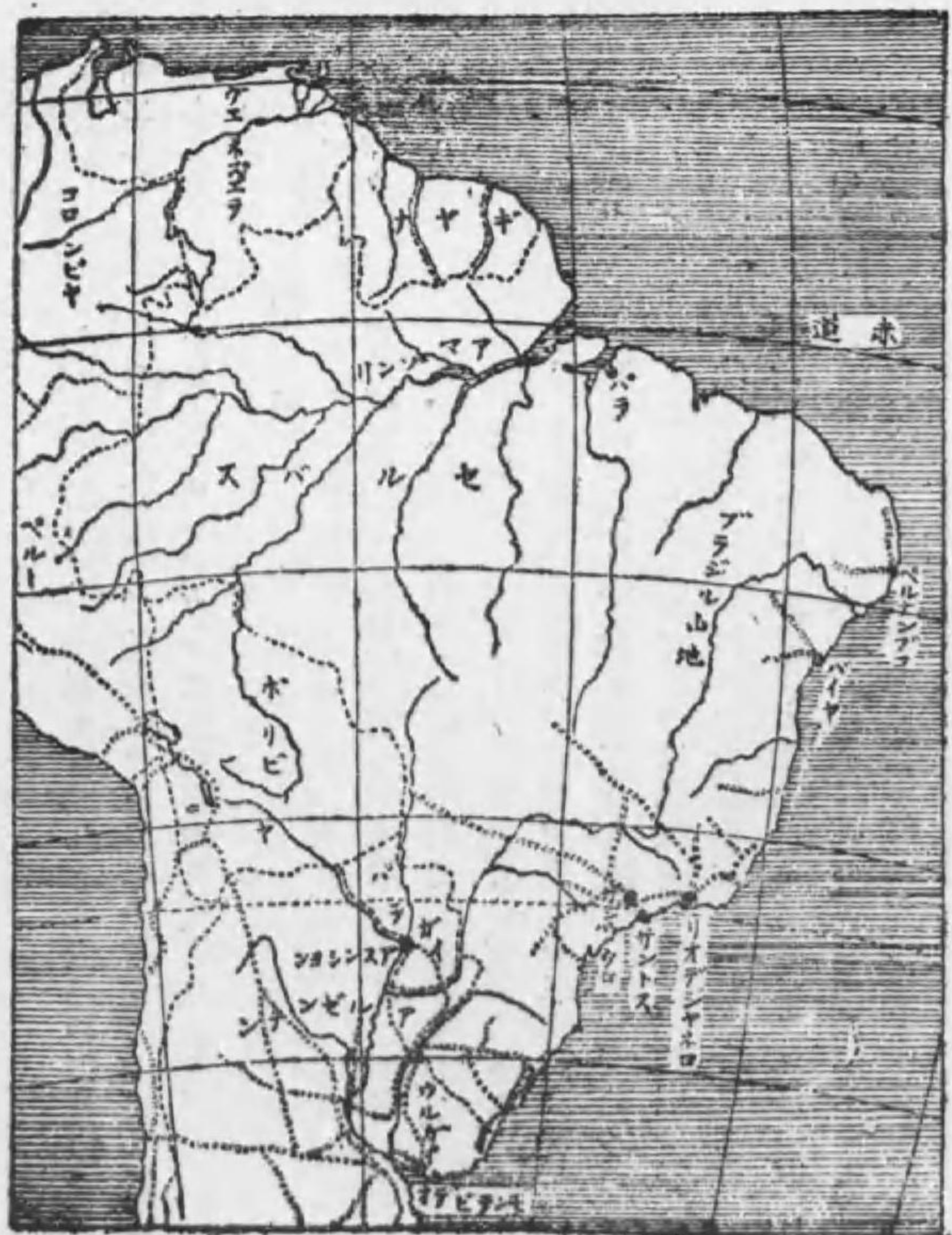
【リオデジャネイロ】 國の東南岸にあり、同名の灣に臨み、眺望の絶佳を以て著はれてゐる。市街は清麗であり、港灣にはいかな大艦。巨船でも碇泊することが出来る。首府で、商港で、軍港で、人口一二〇萬に及ぶ。珈琲取引が盛で、我が領事館もこゝにある。北方の高臺上にあるベトロポリスは氣候も爽快で、健康に好い。我が國を始め列國の大公使館所在地である。

【サンパウロ】 珈琲の大産地たるサンパウロ州の中心地であるから、人口五八萬に達し、この國第二の大都市をなしてゐる。附近に我が邦人の在住するものが多く

随つて、我が總領事館がこゝにある。北方のリオデジャネイロは我が移民居住の中心地であつて、我が領事館分館がある。

【サントス】 サンパウロ市の門戸で、珈琲輸出が甚だ盛である。輸入貿易は首府のリオデジャネイロに及ばないが輸出貿易は此州第一である。また我が移民の上陸地である爲に、首府のリオデジャネイロと共に我が日本郵船會社の南米航路及び大阪商船會社の亞爾然丁航路の重要寄航地となつてゐる。近年大規模の築港も出来汽車は約二時間間でサンパウロ市に達する人口八萬。

【バヒヤ】 東岸の良港で、附近の砂糖・煙草・綿・金等を輸出する。人口二八萬。



【ベルナンブコ】 この國の東端に位し、歐羅巴及びアフリカからの海底電線の陸揚地で、また砂糖・綿等の輸出港。

【パラ】 一名ベレム。アマゾン河三角洲上の良港で、護謨の輸出に著はれてゐる。人口二四萬。

【マナオス】 アマゾン河の中流、支流ネクロ河との會點に位し、大汽船も溯る。護謨の輸出が多い。人口七萬五千。

### 第五章 パラグアイ

#### 位置・境域

ウルグアイと同じく本洲中の小國で、伯刺西爾・亞爾然丁二大國の間に介在し、またホリビヤと共に本洲中の内陸國をなす。

伯刺西爾・亞爾然丁及びホリビヤ三國に圍まれ、亞爾然丁との國境は全くパラグアイ河及びその支流なるパラニヤ・シルコマヨ兩河を以て劃られてゐる。面積約一萬六千方里。

#### 地勢

パラグアイ河が國の中央を貫流し、地勢自ら東西の三部に分れる。東部は、ブラジル山脈の餘勢を受けて、低い丘陵が波

#### 問題

- 一、ベネズエラ及びギアナの地勢圖を描け。
- 二、カラカス及びラグアイラ間の交通を問ふ。
- 三、伯刺西爾の主要産業、地勢及び産業。
- 四、リオデジャネイロに就きて。
- 五、リアノス及びセルバスにつきて。

及して来て、所在に森林と原野と相望んでゐる。西部は一帶に低温であつて、沼澤や森林や、藪叢や草原が相交錯し、之をチャコと稱する。不健康地が多い。

のまゝに摘み取つて乾かして作る。茶の代用とするが、トニツクと稱する強壯劑を含んでゐる。牧畜は主として牛・馬・羊を飼養する。

### 氣候

### 住民・政治

緯度は低いけれども、南風が吹く爲に、気温が百度以上で達することは稀で、夜間は殊に涼しい。

### 産業

人口約百萬。人口の密度は甚だ小さいけれども、土地が肥え、氣候も好いことから、開拓さへ進んだら裕に一千萬の人口でも收容することが出来ると稱せられる。近時我が國と通商條約を結んだ。

農・牧を主とし、バラグアイ河以東に行はれ、以西はただ手を着けるまでに至らない。

### 都 邑

農産にはマテ茶・綿・煙草・オレンヂ等がある。マテ茶は此國の特産物で、世にバラグアイ茶といはれてゐる。  
(註) エルバマテといふ野生の冬青屬の灌木の葉から製する樹の高さは二丈にも及ぶが、その嫩葉を小枝

〔アスンシオン〕 首府で、人口十萬。バラグアイ河に臨み、風光の明媚を以て著はれてゐる。汽船も湖り鐵道も通じ、農・牧畜産物の集散地となつてゐる。

## 第六章 ウルグアイ

### 位置・境域

面積約一萬二千方里。本洲中の最小國である。伯刺西爾の南に連り、西から南にかけては、ラブラタ河の三角江及びその支流のバラグアイ河の水を隔て、亞爾然丁と相隣してゐる。  
この國の東南海中がちやうど我が國の對蹠點に當つてゐる。

### 地 勢

國內一體にブラジル山脈の餘波を蒙り、二千米以下の丘陵地に富むけれども、平原も少くない。

### 産 業

### 住民・政治

人口約一六〇萬に近く、人口密度の大きいことは、南米諸國中の首位を占めてゐる。  
我が國の條約國である。

### 都 邑

〔モンテビデオ〕 首府。人口三五萬。ラブラタ河の三角

江に臨む港市で、港の設備がよく整ひ、歐洲各國の汽船が輻輳して貿易殊に畜産物の輸出が盛である。市街は歐風で規模が大きい。また好保養地となつてゐる。

### 第七章 亞爾然丁

#### 位置・境域

南米南部の大國で、面積約十九萬方里。我が國の四倍に餘る。

#### 地勢

西境チリとの間にはアンデス山脈が連り、脈中に、世界最高の火山アコンカグワ(二萬六千尺弱)を始め、一萬五千尺を超える高峰が少くない。高度は概して北から南に落ちてゐる。南端にはマゼラン海峡を隔て、フエゴ島があり、智利と兩分してゐる。

#### 氣候

國內は大體に平野が廣く、北部はラブラタ河水系の流域に屬し、一部パラグアイよりの方はチャコと稱する林地をなすけれども、中部は一面に茫漠たるパンパスと稱する草原をひろげてゐる。  
南部は平均三千尺の高度を有するパタゴニヤと稱する臺地で、階段状をなして次第に海岸に落ち南下する程、荒地となる。處々に南北に亘る山脈があつて森林を有する。

#### 産業

土地の廣いだけに氣候も様々であるが、大部は温熱中和を得、概して雨が少い。雨が少い爲に草原が廣く發達してゐる。而して北部は涼しい南風をうけて炎暑を緩和され、南部は寒流の影響で比較的に寒い。

地勢・氣候の關係上、自ら農業・牧畜業が發達して世界に於ける重要な農・牧産物の輸出國となつてゐる。

家畜では、羊・牛・豚が最も多く、中でも羊は其の數三千萬頭に及び、濠洲に亞ぎ、世界第二位、牛は三千七百萬頭で、第四位を占めてゐる。随つて羊毛・皮革・凍肉等の産出が夥しい。

農業では小麦が最も多く、玉蜀黍も亞麻も亦少くない。甘蔗・葡萄・綿・煙草等も獲れる。而已ならず、將來土地の利用にして尙ほ宜しきを得たなら、或は今日に十數倍する産額をあげることも出来やうといはれてゐる。鐵産や林産は、多少はあるが、こゝに擧げる程でない。工業は、凍肉が第一で製粉が之に次ぐ。

商業の盛なことは南米第一で、盛に英・米二國と取引する。その輸出品の六割は農産物、三割五分は畜産物で之を占めてゐる。

#### 交通

鐵道の發達も南米第一に位し、延長二萬二千哩。南米に於ける鐵道總延長の三分の一に當る。その幹線はブエノスアイレスに集中して、水運と連絡する。南米唯一のアンデス横斷鐵道も、ブエノスアイレスから出てゐる。またバイヤブランカから太平洋に出るものは、近く竣功するであらう。

(註) ブエノスアイレス・バルパライソ間は鐵道八九〇哩ある。狭軌鐵道で汽車が小さく速力もおそく、アンデス山脈を横斷する處は、海拔一〇六五〇呎に及び、約七六〇間の隧道があり、且兩國で軌道を異にしてゐる爲に、國境で乗替える不便があるが、ともかく三十二時で達する。もし海上を迂回すれば七十一日かかる。

### 住民

人口約八八〇萬。主に西班牙人の子孫であるが、人口



密度が小である爲に、歐洲の移民を歓迎してゐるから、伊太利人、獨逸人等の渡來するものが甚だ多い。

土人の中で南部に棲むパタゴニヤ人は體格が偉大なので名高い。  
我が國の條約國である。國力の隆盛であり、教育の進歩してゐることは南米第一に位する。コルドバには世界有数の天文臺がある。

### 都邑

【ブエノス・アイレス】首府。ラプラタ河三角江の右岸に位する南半球第一の大都市で、人口百七十二萬。築港は完成し、市街は整美で、風俗も華美で、俗に南米の巴里と稱せられる。水陸の衝に當る爲に農産・畜産が集中して、歐洲各國の汽船が常に輻湊する。また凍肉・製粉等の工業も盛に行はれる。我が公使館の所在地で、我が大阪商船亞爾然丁航路の終點、日本郵船南米航路の寄航地である。

【ロサリオ】人口二二萬、此の國第二の都會で、バラニヤ河下流右岸にあり、河港を兼ね、商業が盛に行はれる  
【バイヤフランカ】パンバス平原の開拓に伴れ、近年大に活氣を呈せる港である。人口四萬四千。

### 問題

- 一、亞爾然丁の位置。
- 二、ラプラタ河の流域につきて。
- 三、バラグアイの國境地勢及び産業を問ふ。
- 四、亞爾然丁の産業。
- 五、亞爾然丁の住民。
- 六、亞爾然丁の鐵道につきて知れるところを述べよ。
- 七、左記につきて。  
パタゴニヤ地方   ブエノスアイレス  
ラプラタ河

### 位置・境域

南米大陸南部の西斜面にある、世界第一の細長い國である。南北の長さ約一一六〇里、緯度三八度にも互るけれども、東西の幅は廣い處で僅か四〇里しかない。面積は約五萬方里。

### 地勢

全國、アンデス山系の西の斜面に位し、アルゼンチンの境上には五六千米の高峰が幾つも競ひ聳えて、而かも火山に富む。中でアコンカグワ(七〇三五米)がアメリカ

### 第八章 智利

第一の高峰である。

海岸に沿うて一條の山脈(最高點一六七〇米)が連つて、アンデスとの間に、延長千軒、巾一二乃至九〇軒の平原を挟んでゐる。

南端のマガリヤエンヌ(マセラン)海峡に瀆する一部は、バタゴニヤの段丘に屬し、南端のテラデルフェゴ島は高さ三百米以下の低い島である。海岸は南部に於て甚しく出入、島嶼に富んでゐる。

### 氣候・産業

硝石・銅・錫等の鑛産の豊富な國で、これら鑛産と羊毛とを輸出し、主として英・米・獨諸國と取引するが、年々輸出超過を示してゐる。國土が南北に長いから、氣候によつて北部の鑛業帯・中部の農業及び牧畜業帯、南部の林業帯・漁業帯と分けることが出来る。

【北部】熱帯に屬するけれども、山脈があつて南東貿易風を遮ぎるので、雨が少く、タマルガルとか、アタカマとかいふやうな、滿目荒涼たる兀山か、鹽分を含んだ砂地が到る處に横はつてゐて、雨が降れば流れる管の鳥糞層。硝石の如きものが立派に保存せられてゐる。硝石は智利硝石といつて曹達硝石である、埋藏量實に夥しく、硝石の輸出はこの國總輸出の七割を超え、その輸出税がこの國の主要財源となつてゐる。また銅の産額も世界第二位にある。

(註) 硝石は南緯十五度から二十六度の間で、二千尺乃至六千尺の高地に産し、主として肥料に供するが藥品又は火薬の原料にも用ひらる。北部の荒地に都邑が幾つも發達せるのは全くこの硝石の出る爲である。

【中部】氣候が溫和で、殊に山間の平原は、歐洲地中海

### 住民・政治

人口約三八〇萬。一般によく産業を勵み、アルセンチンと共に此の大陸中に於て國運進歩の著しいので名高い。我が條約國である。

### 都 邑

【サンチアゴ】首府で、略々國の中央海拔一八〇〇尺の地にあり。鐵道の要地を占め。人口五〇萬。街衢は整然として公園・劇場其の他市の施設の立派なものが多い。我が公使館の所在地。

【バルパライソ】良港で、軍港・商港を兼ね首府サンチアゴの門戸をなし、その間一一七哩電車を通ずる。またアンデス横斷鐵道の起點で、我が東洋汽船智利航路の終點に當る。人口一八萬。

### 交 通

鐵道は中部以北に縱貫線が出来てゐて、これから數條の支線が海に連絡してゐる。またアンデス山脈を横斷して亞爾然丁に至るもの、ホリビヤに通ずるものもあるがまだ鐵道の總延長五千六百餘哩に過ぎずして、不便が多い。我が東洋汽船會社の智利航路はバルパライソを終點としてイキケを經由する。

沿岸の氣候に似て、葡萄・橄欖の栽培に適し、盛に小麦・大豆・馬鈴薯等を作る。牧畜も行はれ、牛は三千七百萬頭羊は三千萬頭に餘る。また養蜂も行はれる。

【南部】秘露海流の影響で、氣候が緯度よりも稍寒いが雨が多い。森林は廣く繁茂してゐる。また海岸の峽灣島嶼の間に好漁場が多い。けれども何れもまだ一向に開發されてゐない。

【アントファガスタ】北部にあり、硝石の輸出港として知られ、ホリビヤのオルロとも鐵道を通じてゐる。人口五萬。

【イキケ】硝石の大輸出港で、我が汽船が寄港する。人口三萬七千。

【アリカ】やはり硝石の積出港で、ホリビヤのラバスと鐵道を通ずる。

【フンタアレナス】マゼラン海峡に臨み、地球上極南の都會である。一人口一萬五千。羊毛を産する。富豪が多い。港には立派な棧橋がある。

### 第九章 ホリビヤ

#### 位置 境域

チレの北につゞく内陸國で、面積約八萬五千餘方里ある。

#### 地勢

東半は廣大な平原で、アマゾンとラブラダの流域に屬してゐる。隨つてその北部は一帶に卑濕な森林地であるが、



南部は草原・叢地に富む。西半はアンデスの山地で、平均一萬二千尺の高原をなし、チ、カ、湖の水面が海拔三千八百米の高所にある。

#### 氣候

東部平原は純熱帶性であるが、西部高原には、温帶性から寒帶性の處さへある。殊に高原では、その高さが高くて空氣が稀薄である爲か外國人は大抵山醉病に罹るやうである。

#### 産業

國土の四分の三はまだ全く産業的に手を染めてゐない。東部の森林中には、各種の植物が繁茂するが、中で護謨が最も著しい。産額は、伯刺西爾に次いで南米中第二位である。西部高原には、鑛物の埋藏が極めて豊富で

#### 交通

國の最大資源をなす。銀・銅・錫・亞鉛・アンチモニー等種々あるが、銀が最も名高い。また錫はその産額世界の四分の一に當り、馬來半島に次いで世界第一位に居る。

高原地方は専らリヤマによつて貨物を運搬し、またチ、カ、湖の汽船を利用する。この國は海港を缺く爲に、海外の取引等には秘露のモリエンドと、智利のアントファガスタ・アリカ等を経由してゐる。

(註) チ、カ、湖の葦舟 高原は雨の多い爲に樹木が少いから湖邊の葦を刈取つて之を編んで舟を作る湖上に浮べて十數時間もたつと水がしみて沈むから、僅に沿岸航行の用に堪えるぐらゐのものである。チカリス河の圓舟(グーフア)と共に奇舟として名高い。



### 住民・政治

人口約三百萬。我が條約國である。

### 都 邑

【ラパス】チ、カ、湖に近い、海拔一、二三〇〇尺の高原上にあり、事實上の首府で、政治、商業の中心をなし、人口十一萬五千。ここから智利のアリカに通ずる鐵道は世界最高の線路と稱せられる。

【スケレ】アマゾン・ラブラタ兩河の分水界にあたる海拔九二三〇尺の高原にあり、人口一萬八千。名義上の首府で、市街は清麗だけれども繁榮は到底ラパスの比でない。

【ポトシ】海拔四千米の高地に位し、人口三萬。世界最高の都會である。附近に名高い銀山がある。

### 位置・境域

チリの北についで、太平洋岸の國で、面積約十二萬方里。

### 第十章 秘 露

### 地勢・氣候

東部の低地はアマゾン河の上流流域で、大森林に被はれ、氣候は高温・濕潤である。

中部のアンデス山地は、アンデスの主脈、三條に分れその間に高原を抱く。秘露富士の名あるミスチ火山は國の南部にある。而して高原の氣候は頗る溫和である。

西部の海岸地方は幅員平均三十哩ばかりの低地であるが、寒流の秘露海流が近海を流れる爲に、氣候が乾燥して沙漠の海岸に接して横はる處が少くない。けれどもア

ンデスの雪解の水の流れて来る河邊には肥沃の地がある。

### 産 業



秘露の海岸の鳥群

森林地方は護謨・規那・コ、ア・ココカ等を産し、中部地方は石油・銅・銀等の鑛物を産する外、アルバ

第四編 南亞米利加洲

カ・リアマ・羊等を飼育し、海岸の低地は、川邊で綿・甘蔗珈琲等を耕作する。

この國の主要輸出品は、石油・銅・綿・砂糖の四つで、取引國はやはり英・米二國が首位を占めてゐる。而して年々概して輸出超過のやうである。

### 交 通

鐵道はまだ處々に短距離のものが出来てゐるだけである。我が東洋汽船の智利航路は、この國のカリヤオを寄航地としてゐる。

### 住民・政治

最近の人口約五五萬。過半数は土人である。

この國は我が條約國で、公使を派遣してゐる。また約一萬人の我が移民が首府のリマ附近で農耕に従つてゐる。

る。  
 (註) インカ帝國 この國は、もと土人の建てたインカ帝國のあつた地で、歐人の渡來前に於て、すでにココヤ規那が栽培せられ、金・銀を採掘せられ、産業も相當に發達して土人固有の文化が夙くから開けてゐたのを、彼の名高い西班牙の探險家ピザロによつて征服せられたのである。クスコはその舊都で、一五三三年ピザロの爲に破却せられたが當時の街區は廣大で建築は實に壯麗驚くものがあつたといふことである。  
 今の共和國はその後移民が本國の西班牙に反いて樹たものである。先年ボリビヤと共に智利と戦つて敗れ硝石の産地を割いて國勢が著しく衰へたけれども最近に至り、稍々恢復の模様がある。

### 都 邑

【リマ】 首府で、人口一八萬。海拔一七五米の地にあり一五三五年にピザロの建てた純粹の西班牙風の市街で、南米最濶の大學もある。我が公使館の所在地。  
 【カイヤオ】 秘露第一の港で、この國の貿易の三分の二は此の地で行はれる。リマへは電車三十分で達する。我が東洋汽船會社智利航路にあたる。人口五萬餘。  
 【モリエンド】 南部の港市で、アレキマを経て、ボリビヤに通ずる鐵道がこゝから起る。  
 【イキトス】 アマゾン河航路の要港で、東部の物産は主としてこゝから大西洋に送られる。  
 【クスコ】 國の東南部、海拔三五〇〇米の地にある。往昔のインカ帝國の首府で、舊蹟が多い。人口一萬以上はあらう。  
 (註) クスコでは帝國時代の道路・水道を當今に使用してゐる。民家もインカ時代そのまゝの石造に煉瓦

造りの二階を造り足し、教會は大抵インカの神殿(日の神を祀つてゐる)を代用してゐる。近郊に古城岩があるが、その規模の宏壯と石工の進歩してゐたことは實に驚くの外がない。

### 第十一章 エクアドル

#### 位置・境域

赤道直下にある。國名のエクアドルは赤道の義。面積はまだ調査がいろいろになつてゐて、よく分らないが約一萬八九千方里はあるであらう。

#### 地 勢

東部はアマゾンの上流流域の大森林で、中部はアンデスの山地で、高峻なチンボラソ(六三二〇米)・コトバキン(五九四二米)等の火山が聳えてゐる。

第四編 南亞米利加洲

西部は太平洋岸の狭い低地で、海上にガラパゴス諸島がある。



#### 氣 候

高地の氣候は實に良好である。

### 産業

この國の重要輸出品はコ、アを第一とし珈琲バナマ帽子等之に次ぐ、そのコ、アの如きは年二千萬圓からの輸出がある。



(ア、カ) ア・コ

(註) バナマ帽 この國の特産であるが、バナマ商人の手を経て販賣せられるから、この名を得た。原料はトギーヤと稱する。棕櫚科の植物の扇形の若葉から採る。上等品は朝

か夕方の濕氣の多い時に編む。一月に七百打位づゝ作る。

### 住民

人口大約二百萬。

### 處誌

【キート】 首府。海拔二八五〇米の高地にあり、風景絶佳で、且つ四時春のやうな氣候であるが、地震の多いのを缺點とする人口八萬。  
【グアヤキル】 キートの咽喉をなし、この國第一の貿易港。バナマ帽の製造に名高い。人口十萬。  
【ガラバゴス諸島】 エクアドルに屬し、六百哩の海上にある。交通上の要地で、龍甲を産する。

## 第十二章 哥倫比亞

### 位置・境域

南米の西北隅に位し、面積約七萬三千方里。

### 地勢

東西の二部に分れる。東部は一帯の大平原で、オリノコ河及びアマゾン河の流域に屬する。西部はアンデスの山地で、山系は、この國では、數條の山脈となつて北方に開き、中に五千米に達する高峰もある。山間の溪谷をマダレナ河及びその支流のガウカ河が北に流れてカリブ海に入る。

### 氣候

五百米以下の平地では、炎熱燻くが如きも、海拔の加はるに伴つて次第に氣温が下り、二三千米以上の高地は四時春のやうに溫和である。

### 産業

國土の大部は地味肥沃なにかゝはらず、交通運輸の便を缺く爲に一向利用せられてゐない。殊に東部は甚しい。農業で珈琲の栽培が最も著はれ、バナナが之に次ぐ。その他綿・煙草等を産し、バナマ帽子も多く米國に出る。牧畜も好適の牧場が到る處自然にある關係上盛に行はれて皮革の輸出がある。

この國はまた金・銀・白金・綠柱石・岩鹽等の鐵産に富み

中にも金坑の如きは國內に一萬九千餘もある。  
首府ホゴダの北方にあるジバクイラの岩鹽坑は政府の有であるが、政府はこれによつて歳入の大部を得てゐる。

この國の主要輸出品は珈琲・白金・バナ、皮革・金銀等である。

### 住民・政治

人口約五八〇萬。マケダレナ河の流域に密である。我が國と條約は締結してゐるけれども、まだ公使を派遣してゐない。

### 都 邑

【ホゴタ】 首府。海拔二六三〇米の高原に位し、氣候が極めて良好で、農牧及び鑛業の中心をなし、鐵道で以

て、マケダレナ河汽船通航の極點たるホンダとを連絡してゐる。人口一八萬。  
【バランキリヤ】 マケダレナ河口に位する港市で、この國の門戸に當つてゐる。人口六萬五千。

### 問 題

- 一、智利の氣候及び産業につきて。
- 二、智利の主要産物を挙げよ。
- 三、ホルビヤの主要産物。
- 四、秘露の主要産物。
- 五、南米に於ける太平洋沿岸諸國を比較せよ。
- 六、左記につきて知れるところを述べよ。

バルバライソ	サンチアゴ
ナラデルフェゴ	アコンカグワ
クスコ	リマ
	カイヤオ
	ラバズ

- 七、秘露及びホルビヤの産物。
- 九、秘露ホルビヤ諸國の交通につきて。
- 九、チ、カコ湖につきて。
- 一〇、左記につきて。

ガラバゴス	キトー	ホゴタ
グワヤキル		

- 一一、コロンビヤ及びエクアドルの人口密度を計算せよ。
- 一二、エクアドルの地勢産業を問ふ。
- 一三、我が國と智利とを比較せよ。
- 一四、コロンビヤ以南諸國中、我が條約國如何

### 第十三章 南亞米利加洲總括

#### 第一節 地 文

#### 位置・境域

第四編 南亞米利加洲

南亞米利加洲は西半球の南部を占め、パナマ地峽によつて、北亞米利加洲の南に連り、大部は南半球に位す。面積約百二十萬方里、歐羅巴の約二倍、亞細亞の約四割に當り、世界第四の大陸である。

### 地 勢

大陸の略々三角形をなすことも、地勢の大體三部に分たれることも、北亞米利加とよく似てゐる。

【山系】 大陸の三邊に接して、山脈・高地が發達し、その間に大平野が連つて、その大河が流れてゐる。

西部太平洋方面の高地すなはちアンデス山地は、コルジレラ山系の南半で、數條の山脈から成り、太平洋岸に沿うて並んで南北に走る。その長さ約千八百里に及び、西に急で、東は緩な傾斜である。高度はヒマラヤ山脈の次だけれども、その長大な點に於ては世界無双である。山

脈の間には幾つも高原があつて、殊に中央部のものが最も大きい。

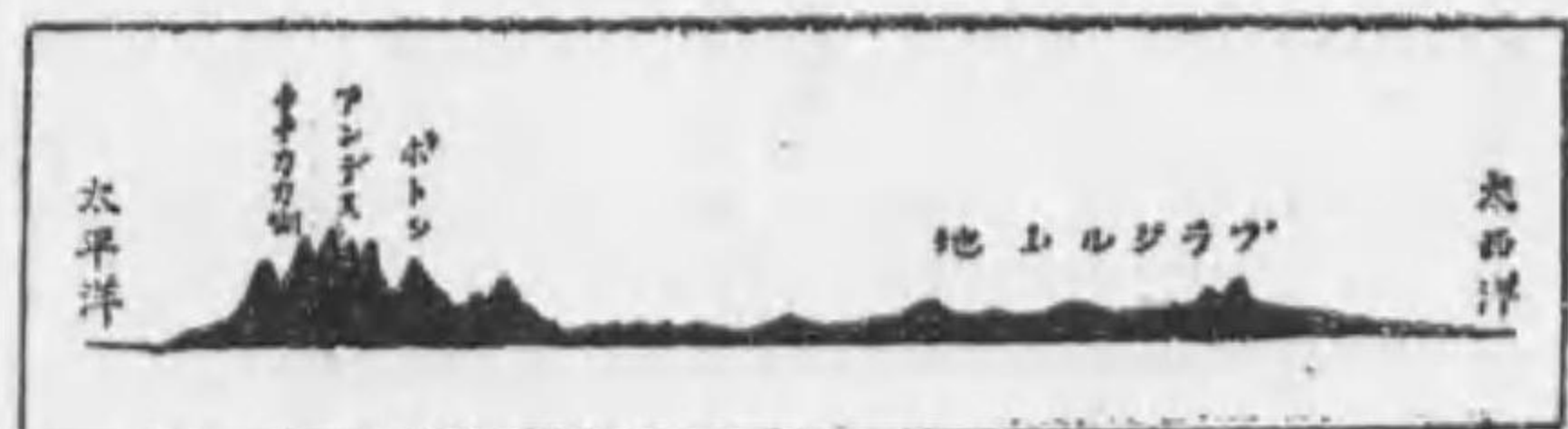


火山脈もまた、山系の走向に随つて延び、アコンカグア(七〇四〇米)・ミスチ(六一〇八米)・チンボラソ(六三

一〇米)・コトバキン(五九四二米)等の火山をおこしてゐる。アコンカグアは本州第一の高峰で、コトバキンは世界最高の活火山である。

火山地方は屢々地震がある。サンチアゴ市の如きは一九〇六年に非常な損害を蒙つた。

東部大西洋方面の高地其の一すなはちブラジル高地は大西洋岸に崛起して次第に内地へ傾く廣大な波状臺地で、最高點は約三三〇〇米ある。其の二、すなはちギアナ山地は、大陸の北部を東西に亘る臺地で、最高點はロライマ山(約二六



六〇米)である。

【水系】 山地の間には平野が連つて、オリノコ、アマゾン及びラアラタの三大河が流れ、三河の分水界は極低い。アマゾン河は、流程一五七九里。大陸の幅員の最も大きな、赤道直下の炎熱多雨な地方に横つて、アンデス・ブラジル・ギアナ三山地の水を一手に集める爲に、水量の多いこと、流域の大きなことに於ては世界第一である。

水量の多いので、中流でさへ、漫々たる湖水の觀を呈し、日夜搬出される土砂の爲に、河口から十數里の沖合まで海水が、黄く濁つてゐる。本支流の可航水路は二萬哩もあらう。航洋汽船が中流のマナオスまで溯り、小汽船ならば遠い哥倫比亞や秘露やホリビヤ等のアンデス山中にまで行くことが出来る。淮域の面積は四六萬方里全歐洲のやがて三分の二にも及び、所謂セ

ルバスの大森林地をなし、建築用・薬用・染料用その他有用植物のありとあらゆるものが繁茂してゐるけれども、氣候その他の關係上開發が大に遅れてゐる。

〔註〕 セルバスでは植物の生育が最も盛で、偶々林間に切株からの新芽が床板を突いて出たり、拂つた枝が再び伸びて壁を破つたりするといふことである。ラアラタ河はブラジル・アンデス兩山地の間の水を集め、南に流れて河口に大三角江を有し、流域にパンパスの草原を横へてゐる。流程一二〇( )里、流域二〇萬方里オリノコ河はアンデス・ギアナ兩山地の水を集め北に流れて河口に稍々大きな三角洲を造り、流域にリヤノスの半砂半草原をひろげてゐる。河の長さ五六〇里流域六萬方里。

〔註〕 ベネズエラの南部、パリメ山脈の西に、カシキ

アレ河がある。オリノコ河の上流とアマゾンの支流  
ネグロ河とを接続してゐて、乾季と雨季とで半年は  
北に流れ、半年は南に流れる。

【海岸】 西南岸に簇つてゐる峽灣を除いては至つて出入  
に乏しくて、屬島も、僅に南端のマゼラン海峽を隔て  
て相對するフェゴ島、その東にあるフオークランド諸  
島、西北海中のガラパゴス諸島ぐらゐに過ぎない。

### 氣候

大部熱帯に横はるから、低地は濕熱で、概して不健康  
地である。隨つて一體に高地に人口が集中して都會をな  
してゐる。南部は南温帯に位し溫和であるが、南端に近  
づくると南極地方から来る寒流と寒風の影響で一般に寒冷  
である。

東北及び東南の兩貿易風は大西洋上の濕氣を齎らして



アンデス山脈に達し、その東側に多量の雨を降らし、アマ  
ゾンの大河を養ひ、またその流域に畫尙ほ暗きセルバス

の大森林を作るけれども、風下の太平洋斜面は降雨がズ  
ツと減つて處々に智利のアタカマその他の砂漠をなし、  
僅に硝石や鳥糞層がよく保存せられてゐる。

降雨は赤道を遠かる程少くなる。オリノコ河の流域は  
リヤノスといつて乾季には沙漠となり、雨季には草原と  
なる。亞爾然丁の中部にも雨の少いパンバスの草原があ  
る。極南部は西風が卓越するので、アンデス山脈の西側  
は降雨が多くて一帯の森林をなすけれども、東側は雨が  
極めて少くなつて、礫石の多いパタゴニヤの荒地を成し  
てゐる。

### 天産

【植物】 南亞米利加は北亞米利加に比べて一層新大陸の  
特性を發揮し、殊に高温・多雨の地方では、その發育が  
極めて速く、種類も亦甚だ多いから一に植物大陸とも

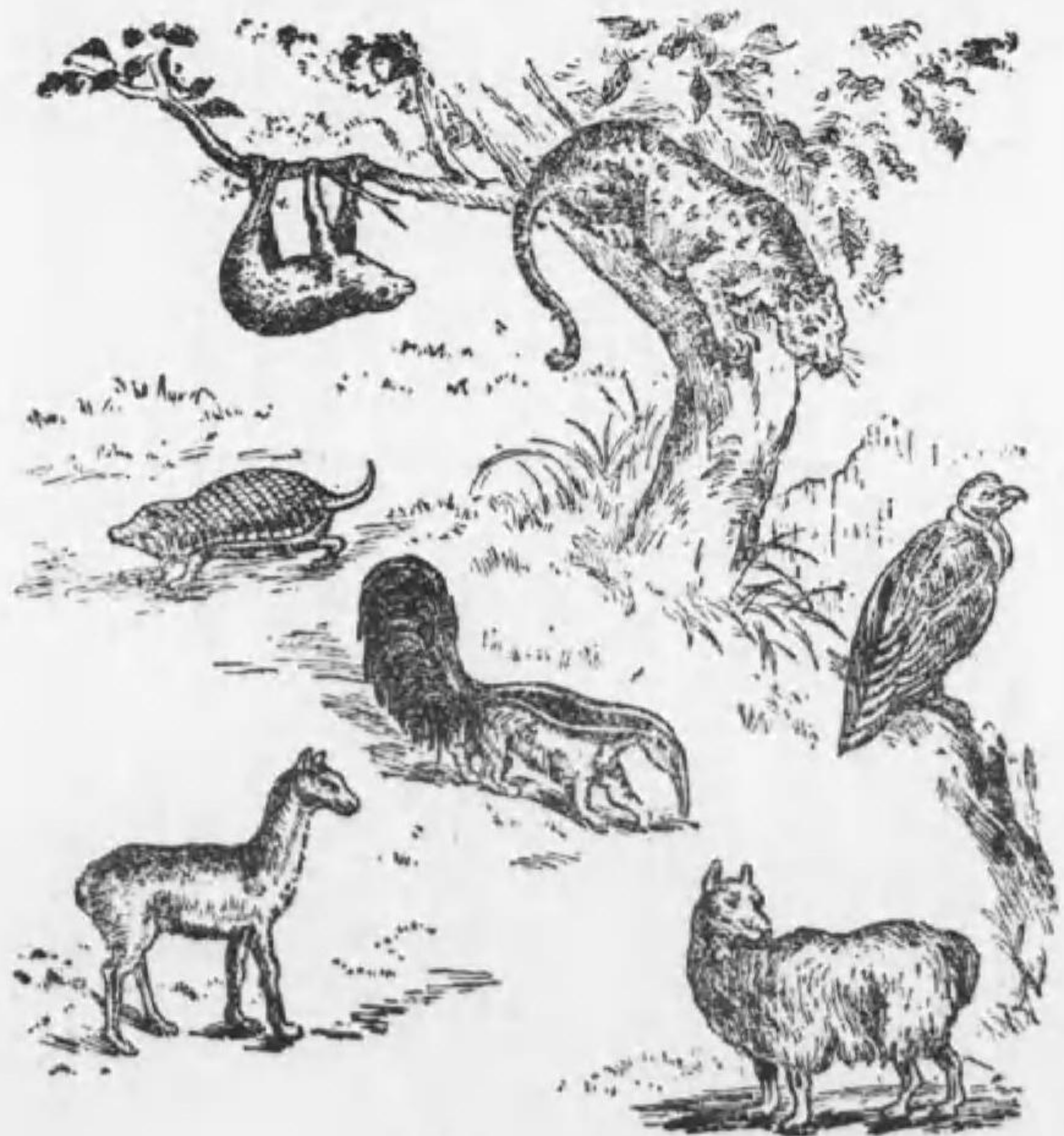
稱へられる。花卉の美しいものあることは世界に類  
が無い。アマゾンの流域には、密林が數百里に亘つて



南亞米利加洲の地圖

天日を蔽ひ、桃花心木・護謨等の富は實に無盡藏であ  
る。山地には規那・ココ・珈琲・カ、オ等を産す。

【動物】 墨西哥以南は新熱帯と稱する分野を劃して、舊大陸にある獅子や虎のやうな猛獸を缺き、之に似たものにビヌーマ・ジヤクアレがあり、この大陸特有なものに狼・樹懶・蟻食・銀狸(狢徐)等がある。リヤマは新世界唯一の駄獸で駱駝のやうな役をなし、アルバカは羊のやうな絨毛を供給する。鳥類も秃鷲の如き雄大なものから蜂鳥の如き可愛らしいものまで棲み、またアリゲートル・ボア・コンストリタートル等の爬蟲類もある。



二七二

コンドン  
大鷲

アマリカ  
虎

アルバカ

アリゲ  
食蟻

アマリカ  
樹懶

アルマ  
銀狸

リヤマ

### 第二節 人文

#### 産業

人口の密度が尙ほ小さく、國土の開発がまだ十分でないから、農業・牧畜・林業等が主要産業となつてゐる。  
【農業】 各國ともに行はれてゐるが、就中、伯刺西爾の珈琲はその産額世界の七割に上り、亞爾然丁の小麥も年産五百萬噸からある。  
【牧畜業】 やはり各國に行はれる。就中、亞爾然丁とウルガイが代表的で、盛に牛・馬・羊等を飼養する。ウルガイの人口一人に對し家畜の頭数の多いことは世界第一に居る。  
【林業】 アマゾンの流域やチレの南部は林産に富み殊に伯刺西爾の護謨は産額世界の半に當る。また指物用の

第四編 南亞米利加洲

マホガニー、染料を取る伯刺西爾樹もこゝに多い。西北の高原地方に産する規那は解熱劑として重用せられる。

【鑛業】 各國共に鑛産は頗る豊富だけれども、就中、智利の硝石、アンデス山地の金・銀・銅が著しい。南亞米利加が富源の極めて多くて、移民及び企業に有望なことは、六大洲中随一である。故に歐洲諸國が近年競うて本大陸に投資する我が國民も亦宜しく大に注意を拂ふべきである。

#### 交通

西部のアンデス山脈は、交通上に大障害を與へてゐる。アンデス山脈の横斷鐵道は唯一條あつて、亞爾然丁と智利との間を通ずる。西部の山地では、鐵道が概ね短距離で、偶々山脈の間

二七三

を通ずるものは、屈曲も甚しく勾配も急で、海拔四千米の上に出で、世界鐵道の最高點に達するものがある。鐵道の總延長は約六百哩で、その内、三萬哩は亞爾然丁に、二萬哩は伯刺西爾にあり、智利・秘露がこれに次ぐ。鐵道は多く外資を輸入して敷設したものであるから、その布設の多いほど、産業も發達し、國運の隆盛も亦これに伴うてゐる。

海運は東岸に盛で、西岸は尙盛でない。英・米・伊等の汽船が多く發着する。我が國の汽船も近年こゝに航路を開いて、一は東から直にその西岸に至り、一は西からその東岸に達する。

(註) 日本郵船會社南米航路。

横濱・四日市・神戸・門司・香港・西貢・新嘉坡・ターバン・ケープタウン・サントス・ブエノスアイレス・リオデジヤネイロ・モツセルベール・ポートエリサベス・東ロンドン。

住民

大阪商船會社亞爾然丁航路。  
神戸・横濱・長崎・香港・新嘉坡・ケープタウン・リオデジヤネイロ・サントス・ブエノスアイレス。  
東洋汽船會社智利航路。  
門司・神戸・横濱・ホノルル・マンサニーヨ・サリナタルス・カイヤオ・イキケ・バルバライツ。

人口約五十萬。我が國よりも遙に少くて、密度は我が國の約五十分の一ぐらゐにしか當らない。隨つて到る處に移民を歓迎して、歐洲殊に伊太利から來るものが多い。近來我が國の移民も次第に増加した。

【種族】 白人が全人口の三分の一を占める。もと西班牙・葡萄牙の植民地であつた爲に、東部の伯刺西爾には葡

を用ひてゐる。

政治

葡萄牙の子孫が多く、その他には西班牙人の子孫が弘く分布してゐる。また近年移住の伊・獨・佛人等も少くない。  
印甸人は土人で、廣く内地の平原に分布し、人口の四割を有する。開化の度は北東の土人よりも低く、殊にアマゾン流域の森林地に住むものはまだ野蠻の域を脱せな

い南部のパタゴニヤ人は世界最長の人類で身長五尺九寸ある。  
黒人は嘗つて奴隸から解放せられた者の子孫で、大陸の北部及び東部に多く分布する。  
メスチゾは印甸人と歐洲人との雜種であるが、一帯に分布して、人口も印甸人に次ぐ。

東洋人、殊に我が國人が多く伯刺西爾、秘露に在住して農業其他の勞作に従事してゐる。支那人も亦少くない。言語はブラジルは葡萄牙語、その他の諸國は西班牙語

【沿革】 一四九八年新大陸の紹介者たるコロンブスが、第三回の航海で、初めてオリノコ河に來て、之を西班牙領としてから、伯刺西爾に葡萄牙人の來た外、到る處に西班牙人が來て、全洲は殆ど兩國の植民地となつてしまつたが、一八一八年智利を魁とし、各地に獨立運動が起つて、今日の十共和國を生じた。けれども此等の國は建國の日が尙ほ淺く、勞力と資本とに缺乏し且つこれまで多くは内憂外患が相踵いだ爲に、國勢が振はなかつた。

現在の獨立國十共和國ヘネズエラ・伯刺西爾・パラグアイ・ウルグアイ・亞爾然丁・智利・ボリビヤ・秘露・エクアドル・哥倫比亞の十國の中、伯刺西爾・亞爾然丁の二



國は國土廣大にして自然の富源無盡蔵で、外來者が多ければ多い程、ます／＼開發を進めるのであるから二國將來の發展はまことに矚目に値する。南米のABCと稱し、この二國に次いで、智利があるが、土地が偏在して交通の便を缺き、且つ生産の種類も限られて、大に伸びない憾みがある。

【我が條約國】 伯刺西爾・亞爾然丁・智利・秘露・ボリビヤ・エクアドル・哥倫比亞・パラグアイ・ウルグアイの九國が、我が國の條約であつて、伯刺西爾には大使、亞爾然丁・智利・秘露の三國には、それ／＼に專任の公使を派遣してゐる。そしてボリビヤ・エクアドル・哥倫比亞・パラグアイの四國とは唯條約を結んだだけで、まだ公使を派遣するまでに至らない。

また南米に於ける我が領事館所在地を示せば、  
總領事館 サンパウロ

領事館

リマ・リオデジャネイロ・ブエノスアイレス。

【歐洲諸國の領土】 本大陸、大部、前記の獨立國を以て占められ、北部の一小區域に限りて英・蘭・佛の領地があり、フォークランドが英國に屬するだけで、他の大陸とは餘程その趣を異にしてゐる。

問題

- 一、南亞米利加洲の位置を問ふ。
- 二、南亞米利加洲の地勢を述べよ。
- 三、南亞米利加洲の氣候を述べよ。
- 四、南亞米利加洲の天産如何。
- 五、南米大陸の概形を描け。
- 六、南米大陸の地勢圖を描け。
- 七、南米大陸の氣候及び地相の關係を説明せよ。

八、南米大陸に於ける三山地を比較せよ。  
九、オリノコ・アマゾン・ラプラタ三大河の流域につきて述べよ。

- 一〇、南米大陸が植物大陸と稱せらるゝ所以。
- 一一、南米大陸の鐵道分布につきて。
- 一二、南米の人口密度を我が國と比較せよ。
- 一三、南米に於ける種族及び言語を問ふ。
- 一四、南米に於けるABC三國の國勢比較。
- 一五、我が國と南米諸國との比較。
- 一六、南米の略圖を描きて諸國の國境と首府とを記入せよ。
- 一七、南米に於ける我が條約國を挙げよ。
- 一八、南米に於ける我が大公使館・領事館の所在地。
- 一九、南米諸國の政治宗數如何。
- 二〇、南米諸國に於ける開發と人口との關係。

索引

ア

アールカンサス川	二六六	アシル	一五五	アマゾン川	二四四
アイオワ州	二六六	アスンシオン	二五〇	アムール縣	二六九
アイゲン(愛媛)	二六六	アゼルバイドジャン	二六五	アム川	二六七
アイダホ州	二六六	アタカマ	二六六	アメリカガツシユウコク(亞米利加合衆國)	二六三
アカサカヤマ(赤阪山)	二六六	アダム橋	二六八	アメリカ瀑布	二八三
アカプルコ	二七〇	アツサム	二七〇	アモイ(廈門)	二八三
アクラ	二七〇	アデン	二七〇	アユチャ	二九〇
アコンカガ	二七〇	アトン(亞東)	二九〇	アラスカ	二九〇
アジャシウ(亞細亞洲)	二七〇	アバラチャ山脈	二九二	アラハバード	二九七
アジャロシヤ	二七〇	アフガニスタン	二九三	アラバマ州	二九七
		アフリヨクコウ(鴨綠江)	二九三	アラビヤ	二九七
				アララット山	二九八

アランタン……………二〇四  
 アリカ……………二五八  
 アリゾナ州……………二〇六  
 アリヨウコウ(鴨綠江)……………三三  
 アルカンソウ州……………二〇六  
 アルケン河……………一九  
 アルセンチン(亞爾然丁)……………二五三  
 アルタイ サンケイ……………一四八  
 アルタイテツドウ……………一四四  
 アルメニヤ……………一三三  
 アルメニヤ……………一三六  
 アルユーシヤンレッタウ(アレ  
 ウト列島)……………九〇  
 アレウトレッタウ(アルユーシ  
 ヤン列島)……………二九〇

アレキサンドロフスク……………二一六  
 アレキバ……………二七  
 アンボウテツドウ(安奉鐵道)……………七  
 アンキシヤウ(安徽省)……………七  
 アンゴラ……………二四  
 アンザン(鞍山)……………二五  
 アントウ(安東)……………二六  
 アンズザン(案子山)……………二四  
 アンザヤン……………二七  
 アンデス山系……………二七  
 アントファガスタ……………二八  
 アンナンサンミヤク(安南山脈)……………九八

アンボイナ……………二四  
**イ(イ)**  
 イーメン……………二四  
 イエルサレム……………二四  
 イエローストンコウエン(黃石  
 公園)……………二四  
 イカイエイ(威海衛)……………二六  
 イキトス……………二六  
 イキケ……………二八  
 イケアス瀑……………二五  
 イスザン(椅子山)……………二四  
 イスコンシン……………二六  
 イスタクシファトル……………二七  
 イラン……………二七

イラク……………二四  
 イラワザ川……………九三  
 イリ(伊犁)……………四八  
 イリノイス州……………九八  
 イロホリサンミヤク(伊勒呼里  
 山脈)……………一八  
 インカ……………二六  
 インダス……………二〇  
 インノケンチエスフスカヤ……………二四  
 インヂアナ州……………二〇六  
 インド(印度)……………二七  
 インドシナ(印度支那)……………二七  
 インドシナサンケイ(印度支那  
 山系)……………二七

インドヘイゲン……………二八  
**ウ**  
 ウイニベグ……………一八  
 ウイニベグ湖……………一八  
 ウーソン(吳淞)……………二七  
 ウーチヤン(武昌)……………二七  
 ウエストヴァージニア……………二六  
 ウエラド運河……………二〇  
 ウエルフネウジンスク……………二七  
 ウエールスレー……………二四  
 ウコウ(烏江)……………二七  
 ウズベク……………二七  
 ウスリテツドウ……………二七  
 ウラジオストツク(浦鹽斯德)……………二七

ウラル川……………二六  
 ウルガ……………二八  
 ウルグアイ……………二七  
 ウルムチ(烏爾木齊)……………二九  
 ウンシウ(温州)……………二九  
 ウンナン(雲南)……………二九  
 ウンナンシヤウ(雲南省)……………二九  
 ウンナンテツドウ(雲南鐵道)……………二九  
**エ**  
 エイコウ(營口)……………二六  
 エイリヤウインドシナ(英領印  
 度支那)……………二七  
 エイリヤウホンジュラス……………二七

エイリヤウマレイハンタウ……………二〇四  
 エタワドル……………二六三  
 エスクワイモルト……………一八八  
 エツカントツドウ(粵漢鐵道)……………七  
 エニセイ……………二四九  
 エベレスト峰……………四九  
 エリ湖……………一六  
 エルハサ……………一七九  
 エルブールズ山脈……………一三三  
 エンアン(延安)……………一六  
 エンカイケン(沿海縣)……………一五六  
 エンバイカルケン(沿バイカル縣)……………一五五

オ

オイマン……………一七  
 オクラホマ州……………二〇六  
 オノン河……………一九  
 オハイオ河……………一六  
 オハイオ州……………二〇六  
 オブ……………二四九  
 オブ灣……………一八  
 オムスク……………一五六  
 オリザバ……………一三七  
 オリノコ川……………二四一  
 オレゴン州……………二〇六  
 オレンブルク……………二〇三  
 オロンガ……………二一四  
 オンタリオ湖……………一六

カ

カイエヌ……………二四四  
 カイケフシヨクミンチ(海峽殖民地)……………一〇四  
 カイゲン(開原)……………三  
 カイジャウ(海城)……………三  
 カイバル峠……………二二八  
 カイビン(開平)……………六九  
 ガイヘイ(蓋平)……………三  
 カイホウ(開封)……………七  
 カイヤウタウ(海洋島)……………二  
 カイヤオ……………二六三  
 カイランテツドウ(海蘭鐵道)……………七  
 ガウカ河……………二六五

カウカス(高架索)……………一六五  
 カウチシナ(交趾支那)……………一〇〇  
 カウレウシヨタウ(香料諸島)……………一四  
 ガタシウ(岳州)……………七  
 カシガル(喀什喀爾)……………八九  
 カシミル……………二四  
 カスケード山脈……………二八三  
 カナダ(加奈陀)……………一八〇  
 カナダ瀑……………一八三  
 カナダタイヘイヤウテツドウ……………一八  
 カナン(河南)……………七  
 カナンシヤウ(河南省)……………七  
 カプール……………一五  
 カムチャツカ(甘察加)……………一八

カムチャツカ縣……………一六  
 カラカス……………二四  
 カラコルム(和林)……………八  
 カラコルム山脈……………九  
 カラチ……………二八  
 ガラバゴスシヨタウ……………二六  
 カリカル……………三一  
 カリブ海……………三  
 カリホルニヤ……………二四  
 カリホルニヤ州……………一九  
 カリムスカヤ……………一五  
 カリヨウコウ(嘉陵江)……………三  
 カルカッタ(甲谷陀)……………二七

カルガン……………六  
 カムラン……………九  
 ガルベルストン……………二  
 ガンガ(カンザス)(コウガ)恒河)……………二六  
 カンコウ(漢江)……………三  
 カンコウ(ハンカオ)(漢口)……………七  
 カンサス州……………一九  
 カンジヤウシ(寛城子)……………六  
 カンシユクシヤウ(甘肅省)……………七  
 カンタウ(間島)……………三  
 カンチウ(漢中)……………七  
 ガンダス(ガンガ)(コウガ)(恒)……………七

河)……………  
 カントン(廣東)……………  
 カントンシヤウ(廣東省)……………  
 カンボヂヤ(東藩寨)……………  
 カンヤウ(咸陽)……………  
 カンヤヒヤウバイテツコウシ  
 (漢冶萍煤鐵公司)……………

キ

キウアジヤトルコ……………  
 キウキヤン(九江)……………  
 キウリュウ(九龍)……………  
 キウレンジヤウ(九連城)……………  
 キシウシヤウ(貴州省)……………

ギシヤウ(宜昌)……………  
 キタシナ(北支那)……………  
 キタアメリカシユウ……………  
 キタタイヘイヤウテツドウ……………  
 キタボルネオ……………  
 キツチヤウテツドウ (吉長鐵道)……………  
 キツリン(吉林)……………  
 キツリンシヤウ(吉林省)……………  
 キトオ……………  
 キヤウテウ(京兆)……………  
 ギヤナ……………

ギヤナ山地……………  
 キヤフダ……………  
 キユーバ……………  
 キヨクシガイ(局子街)……………  
 キヨクフ(曲阜)……………  
 キルギス……………  
 キングストーン……………  
 キンシウ(錦州)……………  
 キンシウ(金州)……………  
 キンシウワン(金州灣)……………  
 キンシウチケフ(金州地峽)……………  
 キンモンカイケフ(金門海峽)……………  
 キンレイチン(金嶺鎮)……………

ク

クアヤキル……………  
 クエバツク……………  
 クエンガ……………  
 クシクゴエ……………  
 クスコ……………  
 クラカタウ……………  
 クラントタイヘイヤウテツド  
 ウ……………  
 クリーブランド……………  
 グリーブランド……………  
 グルジン……………  
 タルシヤ……………  
 グレートソルトレイク (大鹹湖)……………  
 クロン (庫倫)……………

クロンスダイク……………  
 クワウガ (黃河)……………  
 クワウカイ (黃海)……………  
 クワウシウ (廣州)……………  
 クワウシウワン (廣州灣)……………  
 クワウセイシヤウ (廣西省)……………  
 クワテマラ……………  
 クワドルツブ……………  
 クワントウシウ (關東州)……………

ケ

ケイカンテツドウ (京漢鐵道)……………  
 ケイシウ (荊州)……………  
 ケイスキテツドウ(京綏鐵道)……………  
 ケイトクチン(景德鎮)……………  
 ケイホウテツドウ (京奉鐵道)……………  
 ケイリン (桂林)……………  
 ケタ……………  
 ケダ……………  
 ケベツク……………  
 ケラツト……………  
 ケルレン河……………  
 ケンタツキ州……………  
 コア……………  
 コアツアコアルコス……………  
 コウアンレイ (興安嶺)……………  
 コウガ(ガンナス)(カンガ)(恒)

コ

河).....二二六  
 コーカサス (高加索).....二二六  
 コウシウ (杭州).....二二六  
 コウシウワン (膠州灣).....二二六  
 コウシユレイ (公主嶺).....二二六  
 コウソシヤウ (江蘇省).....二二六  
 コウネイ (江寧).....二二六  
 コクリヨウコウ (黑龍江).....二二六  
 コクリヨウコウシヤウ (黑龍江省).....二二六  
 ココウテツドウ (滬杭鐵道).....二二六  
 コノル (青海).....二二六  
 ゴザン (五山).....二二六  
 ゴシウ (梧州).....二二六

コスタリカ.....二二六  
 コトバキシ.....二二六  
 コナンシヤウ (湖南省).....二二六  
 コニア.....二二六  
 コネイテツドウ (湖寧鐵道).....二二六  
 ゴビサバク (戈壁沙漠).....二二六  
 コマンドルシヨタウ.....二二六  
 コモリンカイカク.....二二六  
 コルジレラ山系.....二二六  
 コルドバ.....二二六  
 コロタウ (胡芦島).....二二六  
 コロマンデルカイガン.....二二六  
 コロラドカウゲン.....二二六  
 コロラドケフゴク.....二二六  
 コロンビヤ.....二二六

コロンビヤカウゲン.....二二六  
 コロンビヤ河.....二二六  
 コロラド高.....二二六  
 コロンボ.....二二六  
 コンガ (渾河).....二二六  
 コンシユン (渾春).....二二六  
 コンネチカツト州.....二二六  
 コンロン山脈 (崑崙山脈).....二二六  
 サ  
 サイヤン山系.....二二六  
 サイゴン (柴棍).....二二六  
 サイナン (濟南).....二二六  
 サウスカロライナ州.....二二六

サウスダコタ州.....二二六  
 サガレン縣.....二二六  
 サクラメント.....二二六  
 サクラメント川.....二二六  
 サシ (沙市).....二二六  
 サタシ (砂砲子).....二二六  
 サマラン.....二二六  
 サマルカンド.....二二六  
 サラワク.....二二六  
 サリナクルス.....二二六  
 サルウイン川.....二二六  
 サルパドル.....二二六  
 サンカイタワン (山海關).....二二六  
 サンケフ (三峽).....二二六  
 サンサルパドル.....二二六

サンサルパドル島.....二二六  
 サンシカ (贊子河).....二二六  
 サンシン (三姓).....二二六  
 サンセイシヤウ (山西省).....二二六  
 サンタウシヤウ (山東省).....二二六  
 サンタクルーズ.....二二六  
 サンチアゴ.....二二六  
 サントウテツドウ (山東鐵道).....二二六  
 サントウハンタウ (山東半島).....二二六  
 サントオウ (三都澳).....二二六  
 サントス.....二二六  
 サンドドミンゴ.....二二六  
 サンパウロ.....二二六  
 サンパウロ州.....二二六

サンフランシスコ.....二二六  
 サンフランシスコ灣.....二二六  
 サンペドロ.....二二六  
 サンボアンガ.....二二六  
 サンホウセ.....二二六  
 シ  
 ジウ.....二二六  
 シウガン (岫巖).....二二六  
 シウスキシ (周水子).....二二六  
 シウソン (周村).....二二六  
 シエラネバタ山脈.....二二六  
 ジエベルシヤマル.....二二六  
 シオーロン.....二二六  
 シカイ (死海).....二二六

シカゴ……………三〇四  
 シセン (淄川)……………三二二  
 シセンシヤウ (四川省)……………七九  
 シタウテツドウ (四洮鐵道)……………二八  
 シナ (支那)……………四七  
 シナサンケイ (支那山系)……………五〇  
 シナホンブ (支那本部)……………六六  
 ジバクイラ……………三六  
 シヘイガイ (四平街)……………三六  
 シベリヤ……………四七  
 シベリヤテツドウ……………一五三  
 シホタサンミヤク……………一四八  
 シムラ……………一九九  
 シモビルマ (下緬甸)……………一〇三  
 シヤウト (昌圖)……………三三

シヤカ (沙河)……………三三  
 シヤカコウ (沙河江)……………二一  
 シヤツテアルブ……………四三  
 シヤトル……………二〇八  
 ジヤバ (瓜哇)……………二〇七  
 シヤム (暹羅)……………九六  
 シヤム (暹羅灣)……………九五  
 ジヤムナ川……………三七  
 シヤンデルナゴル……………二七九  
 シヤンハイ (上海)……………七五  
 ジヤマイカ……………三六  
 シユコウ (珠江)……………三三  
 ジョジタウン……………二四三  
 ジョーヂヤ州……………二六

ジヨホール……………二四  
 シヨウカコウ (松花江)……………一八  
 シラムーレン (西喇木倫)……………一八  
 シリヤ……………三九  
 シル河……………四三  
 シルカ河……………一六二  
 ジロロ……………一九  
 シンエツテツドウ (滇越鐵道)……………一四  
 シンガポール (新嘉坡)……………一〇四  
 シンギンウ (新義州)……………三三  
 シンキヤウシヤウ (新張省)……………八八  
 シンシベリヤ諸島……………一四八  
 シンシンナチ……………二二  
 シンノウタウ (秦皇島)……………六九  
 シンボテツドウ (津浦鐵道)……………五七

ス

シンミントン (新民屯)……………三六  
 シンミンフ (新民府)……………三三  
 シンレイ (秦岑山脈)……………五〇  
 スキエン (綏遠)……………六四  
 スキシエイ (水師營)……………一四  
 スキトウ (綏東)……………四三  
 スキフンガ (綏芬河)……………三六  
 スクレ……………三六  
 スタノボイサンミヤク……………一四八  
 ストレチエンスク……………一五四  
 スベリオルコ……………一三五  
 スマオ (思茅)……………一八九

スマトラ……………一〇七  
 スミルナ……………一一三  
 スラバヤ……………一一三  
 スリナガル……………一一三  
 スリマンサンミヤク……………一三三  
 スワトウ (汕頭)……………八三  
 ズンガリヤ……………八九  
 スンダ列島……………一〇七  
 セイアン (西安)……………三三  
 セイカイ (青海)……………八九  
 セイチウタウ (西中島)……………三三  
 セイト (成都)……………七九  
 セイブインドシヨタウ……………三三

セ

セーヤ河……………一五三  
 セイロンタウ (錫蘭島)……………二八  
 セウアジャ……………三三  
 セウアンチレルツタウ……………三三  
 セキホウ (赤峯)……………四三  
 セツコウシヤウ (浙江省)……………八〇  
 セミバラチンスク……………一四  
 セラム……………一四  
 セランゴル……………一〇四  
 セルバス……………一〇四  
 セレバス……………一〇七  
 センカンテツドウ (川漢鐵道)……………五八  
 センザン (千山)……………三三

センザンサンミヤク (千山山脈) 二八  
 センセイシヤウ (陝西省) 七三  
 セントジョーン 二〇七  
 セントジョンス 二〇七  
 セントトーマス 二〇七  
 セントビンセント 二〇七  
 セントポール 二〇七  
 セントルイス (聖路易) 二二三  
 セントローレンス河 二八三  
 セントローレンス灣 二八三  
 センヒエル 二八五  
 センペン (川邊) 二八〇

リ

ソーサンマリ 一八六  
 ソーサンマリ運河 二〇三  
 ソシウ (蘇州) 二〇三  
 ソンコイ (紅河) 二〇三  
 ターキー (太沽) 二〇六  
 タージンゲ 二〇九  
 ターダネル 二〇九  
 ターチエンルー (打箭炉) 二〇八  
 タール沙漠 二〇八  
 ダイアンチルシヨタウ 二〇四  
 ダイアンチルレッツタウ 二〇六  
 ダイウンガ (大運河) 二〇九

夕

タイゲン (太原) 七三  
 タイザン (泰山) 七〇  
 タイシカ (太子河) 七三  
 タイドウ (大同) 七三  
 タイトウコウ (大東溝) 七三  
 タウナン (洮南) 七三  
 タイホクテツドウ (大北鐵道) 七三  
 タイミル牛島 七三  
 タイヤ (大冶) 七三  
 タイヤウガ (大洋河) 七三  
 ダイリ (大理) 七三  
 タイレン (大連) 七三  
 タウチウ (桃沖) 七三

タウラス山脈 一三六  
 タクラマカン沙漠 一八九  
 タシケント 二〇七  
 タジマハール 二〇七  
 タバオ 二〇七  
 タブリーズ 二〇七  
 タマスカス 二〇七  
 タマルガル 二〇七  
 タマン 二〇七  
 タムビコ 二〇七  
 タリム (塔里木)盆地 一八八  
 タリオ 二〇四  
 タンジョンブリオク 二〇三

チ

チウアウアジヤ (中央アジヤ) 二〇一  
 チウアウアヂヤテツドウ 二〇二  
 チーフー (芝罘) 二〇三  
 チウシナ (中支那) 二〇四  
 チエサビーク灣 二〇三  
 チエラブンジ 二〇三  
 チグリス川 二〇三  
 チタ 二〇七  
 チチカカ湖 二〇九  
 チハハル 二〇三  
 チフリス 二〇七  
 チベット (西藏) 二〇九

チモル 二〇七  
 チヤウカコウ (張家口) 二〇九  
 チヤウサ (長沙) 二〇七  
 チヤウザンレッツタウ (長山列島) 二〇七  
 チヤウシユン (長春) 二〇七  
 チヤウハクサンケイ (長白山系) 二〇八  
 チヤグレス川 二〇三  
 チヤコ 二〇三  
 チヤハール (察哈爾) 二〇三  
 チユウアウアメリカ 二〇三  
 チユウアウアメリカレンボウ 二〇三  
 チユウアウダイハイヤウテツド 二〇三



ウ (中央太平洋鐵道)……………三〇一  
 デユウケイ (重慶)……………七九三  
 チユクチハントウ……………一四八  
 チユハン……………九六四  
 チエリヤピンスク……………一五三  
 チヨクレイカイケフ (直隸海峽)……………一  
 チヨクレイシヤウ (直隸省)……………六八  
 チリ……………二五五  
 チレ……………二五五  
 チンタオ (青島)……………七一  
 チンヂンクス……………九二  
 チンボラソ……………三六三  
 ……三六八

ツ

ツウカ (通化)……………三  
 ツウコウコウ (通江口)……………三  
 ツウコウシ (通江子)……………六  
 ツーラン……………九  
 ツチコリン……………一〇  
 ツリンコマリ……………一〇  
 テイカトン (鄭家屯)……………三  
 デカンカウゲン……………三  
 テキクワ (迪化)……………九  
 テキサス州……………二〇  
 チクシガルバ……………二〇

テ

テツレイ (鐵嶺)……………三  
 テフアンテベグチケフ……………三  
 テヘラン……………七  
 テラウエーヤ川……………一  
 デラウエーア州……………一  
 デリー……………一  
 テンエツ (騰越)……………一  
 テンザン (天山山脈)……………一  
 テンザンナンロ (天山南路)……………一  
 テンザンホクロ (天山路)……………一  
 テンシン (天津)……………一  
 テンネツシー州……………一  
 テンバー……………一

ト

ドウカン (潼關)……………三  
 トウサンセイ (東三省)……………三  
 トウシテツドウ (東支鐵道)……………三  
 ドーソンシチ……………三  
 ドウテイコ (洞庭湖)……………三  
 トウドウコウ (頭道溝)……………三  
 トウブナイモーク (東部内蒙古)……………三  
 トボルスク……………一  
 トボルスク縣……………一  
 ドミニカ……………三  
 トムスク……………一  
 トムスク縣……………一  
 トランスバイカル縣……………一

ナ

トランスヨルダン……………一  
 トランスヒマラヤ山脈 (外ヒマ  
 ラヤ山脈)……………一  
 トリニダード……………三  
 トルコ (土耳其)……………一  
 トルクメン共和國……………一  
 トロント……………一  
 トロンノル (多倫諾爾)……………一  
 トンキン (東京)……………一  
 トレンガヌ……………一  
 ナイアガラ……………一  
 ナガサキヤマ (長崎山)……………一  
 ナマコヤマ (海鼠山)……………一

ニ

ナンキン (南京)……………一  
 ナンザン (南山)……………一  
 ナンジンテツドウ (南淨鐵道)……………一  
 ナンネイ (南寧)……………一  
 ニカラグワ……………一  
 ニコリスク……………一  
 ニコライエフスク……………一  
 ニシガツツ山脈……………一  
 ニツボンカイリウ……………一  
 ニユーオルリンス……………一  
 ニユージャシー州……………一  
 ニユーチャン (牛莊)……………一

ニューハンブシヤ州……………二〇六  
 ニューフォンドランド……………一八三  
 ニューヘブソン……………一八五  
 ニューメキシコ州……………二〇六  
 ニューヨーク……………一九三  
 ニューヨーク州……………二〇九  
 ニー三高地……………二〇六  
 ニンクダ (寧古塔)……………二〇六  
 ニンバウ (寧波)……………二〇六  
 ネグリセミラン……………一〇六  
 ネヂド……………一〇五

ネ

ネットカ (熱河)……………一〇五  
 ネバダ州……………二〇六  
 ネバール……………二〇三  
 ネムラスカ……………二〇七  
 ノウアン (農安)……………三  
 ノースカロライナ……………二〇六  
 ノースダコタ州……………二〇六  
 ノーホーク……………二〇七  
 ノバスコチヤ……………一八三  
 ノニコラエフスク……………一五  
 ノンニン (嫩江)……………一八

ハ

ハーモ……………一〇四  
 ハーゲンヤ州……………二〇六  
 ハアモント州……………二〇六  
 ハーレイン (諸島)……………二〇七  
 ハーレンランド……………二〇三  
 ハーカルコ……………二〇六  
 ハーダラバード……………二〇六  
 ハーダルバシヤ……………二〇一  
 ハイトオブラント……………二〇一  
 ハイチ……………二〇三  
 ハイテラバート……………二〇三  
 ハイナンタウ (海南島)……………一八  
 ハイフオン (海防)……………一〇〇

バイヤブランカ……………二五三  
 ハイラル (海拉爾)……………二五五  
 バクール……………一六六  
 バクカ (漠河)……………二〇四  
 ハクギョクザン (白玉山)……………一〇四  
 ハクザン (博山)……………七  
 バグダード……………二〇二  
 バグダードテッドウ……………一〇一  
 ハクトウサン (白頭山)……………一八  
 バクナム……………一〇三  
 バスラ……………一〇一  
 バターソン……………二〇〇  
 バタゴニヤ……………二五三  
 バタビヤ……………二二

バタン (巴塘)……………一〇  
 バツウン……………一七  
 バツファロー……………二二  
 バツフィンランド……………一三  
 ハドソン川……………一〇三  
 ハドソン湖……………一〇三  
 バトナ……………二二  
 ハドラマウド……………一七  
 バナマ……………二〇三  
 バナマウング……………二〇三  
 ハノイ (河内)……………九  
 ハバマシヨタウ……………二〇六  
 ハバロフスク……………一〇七  
 バハナ……………一〇六

バビ (馬尾)……………一八  
 バヒヤ……………二〇八  
 バフィンランド……………二〇三  
 ハフカモン (法庫門)……………二〇六  
 バミルカウゲン……………一〇四  
 ハヤウコ (鄱陽湖)……………五  
 バラ……………二〇九  
 バラグワイ……………二〇九  
 バラマリボ……………一〇八  
 バランキリヤ……………二〇六  
 バラニヤツ川……………二〇九  
 バリ……………二〇七  
 ハリファクス……………一〇八  
 バリメサンチ……………二〇三

バルチモア	一九三
バルナウル	二〇一
バルバドス	二〇八
バルバライソ	二〇七
バルハシコ	二〇九
ハルビン(哈爾濱)	二〇八
ハレスタイン	二〇一
バレンバン	二〇二
バンカ	二〇九
ハンカオ(カンコウ)	一九六
(漢口)	一九七

バンクーバー(晩香坡)	二〇六
バンコック(盤谷)	二〇九
バンパス	二〇三
ハンヤン(漢陽)	二〇七
バンリノチヤウジャウ(萬里長城)	二〇九
ビイツバーグ	二〇二
ヒガシインドシヨタウ	二〇七
ヒガシガツツサンミヤク	二〇八
ヒガシケイタワンザン(東鷄冠山)	二〇九
ヒガシトルキスタン	二〇八
ビクトリア	二〇九

ヒシクワ(魏子高)	二〇四
ヒナン(彼南)	二〇五
ヒヤウキヤウ(萍鄉)	二〇七
ヒヤクサウコウ(百草溝)	二〇六
ヒューゼツトサウソンド	二〇五
ヒューロン湖	二〇五
ヒマラヤ山地	二〇九
ヒマラヤ山脈	二〇九
ヒルコマヨ川	二〇九
ビルマ(緬甸)	二〇七
ヒンヅウクシ山脈	二〇三

フ

フィンジュワ山脈	二一八
フイニヤ	二二〇
フイヤンシヤンシヤヌ	二二〇
フィラデルフィア	二二一
フイリヒングンタウ	二二四
ブータン	二二四
フーグリ川	二二六
ブエノスアイレス	二二五
フオーランドシヨタウ	二二六
フクシウ(福州)	二二八
フクネイ(福寧)	二二八
ブコ(燕湖)	二二七

ブジュン(撫順)	二二五
ブシル	二二七
ブダガヤ	二二六
フクケン(福建)	二二六
フツリヤウインドシナ(佛領印度支那)	二二六
ブノベン	二二〇
ブラジル(伯刺西爾)	二二四
ブラジルサンチ	二二四
ブラツク山	二二八
ブラマブトラ川	二二九
ブランタ山	二二九
フランテン(普蘭店)	二二七
ブラゴベシチエンスク	二二五

ブリヒルスク	二二五
ブリアムール	二二六
ブリンスエドワード	二二五
ブリンスルバート	二二六
ブリッチシユコロンピヤ州	二二九
ブリビロフ	二二〇
ブリバイカル	二二五
ブリトン	二二二
ブル	二二四
ブルークリン	二二七
ブレー火山	二二八
ブレイリー	二二六
フレザー川	二二八
ブレマートン	二二七
フロリダ	二二六

ブンタアレナス……………二五  
 ベイルト……………二四一  
 ベーリング海……………一九〇  
 ベーリング海峡……………一四八  
 ヘキリエウカ (碧流河)……………四一  
 ペキン (北京)……………六六  
 ヘジヤス……………一四六  
 ヘジヤステツドウ……………一四一  
 ペシヤワル……………一三八  
 ペトナ (伯都訥)……………六六  
 ペトロバウロフスク……………一五  
 ペトロポリス……………二四七  
 ペナレス……………二二七

ペナン (彼南)……………一〇五  
 ペネズエラ……………一四一  
 ペラリ……………一〇六  
 ペラクルズ……………二九  
 ヘラツト……………一三五  
 ペリズ……………一三三  
 ペリス……………一〇四  
 ペルー (秘露)……………二六〇  
 ペルシヤ (波斯)……………一六六  
 ペルチスタン……………二四  
 ペルナンブゴ……………二四九  
 ペルホヤンスク……………一五一  
 ペンガル灘……………一〇三  
 ペンシルヴァニヤ州……………一九九  
 ペンシル……………二〇六

**ホ**  
 ホイテンゾルグ……………二二  
 ホイツトニー……………九五  
 ホフテン (奉天)……………三〇  
 ホウテンシヤウ (奉天省)……………三  
 ホートオープリンス……………三七  
 ホートメキシコ……………三〇  
 ホートランド……………一〇七  
 ホートリコ……………一〇七  
 ホーメイタウ 鳳鳴島……………二  
 ホーラン越……………一三五  
 ホウワウシヤウ (鳳凰城)……………二六

ボゴダ……………二六六  
 ボガラニーチナヤ……………二八  
 ホシガウラ (星ヶ浦)……………二  
 ホストン……………一三  
 ホスポラス……………一八  
 ホタン (和蘭)……………八九  
 ホツカイ (渤海)……………一  
 ホテイ (保定)……………七〇  
 ホトシ……………一六〇  
 ホトマク川……………一五三  
 ホホカテベトル……………二七  
 ホルチモワ……………一〇七  
 ホルネオ……………一〇七  
 ホリビヤ……………二六

ボロガド州……………二六  
 ホンカンサンミヤク (本韓山脈)……………二八  
 ホンケイコ (本溪湖)……………二五  
 ホンローヘ……………九  
 ホンコン (香港)……………八  
 ホンジユラス……………三三  
 ホンヂシエリー……………三二  
 ホンベイ (孟買)……………九  
**マ**  
 マイソル……………一四  
 マイマナン (寶買城)……………八  
 マエ……………一七  
 マカオ (澳門)……………一七

マカツザル……………一八  
 マガリヤエンヌ (マゼラン)海峡……………二五  
 マダレナ川……………二五  
 マサチユセツト州……………二〇  
 マゼラン (マガリヤエンヌ)海峡……………二五  
 マツキンレイ……………三二  
 マツケンジー川……………一五  
 マドラス……………二九  
 マナオス……………四九  
 マナクワ……………三三  
 マニトバ……………一八  
 マニラ……………二二  
 マライグンタウ……………二二  
 マライハンタウ (馬來半島)……………九七  
 マライレンゴウシウ……………一五

マライレンボウ	一四	ミクロン	一六〇	ミンコウ (岷江)	三
マラカイボワン	一四一	ミシシッピー	一六六	ムセキ (無錫)	七
マラツカ	一四四	ミシガン湖	一六六	ム	
マラバルカイガシ	一四八	ミスチ火山	一六六	メ	
マルタパン湾	一五	ミズリ川	一六八	メーアアイランド	一七〇
マルチニー	一五八	ミズリー州	一六八	メキシコ	一七〇
マンサヨニ	一六〇	ミナミアメリカ州	一六八	メキシコ湾	一七〇
マンシウ (満洲)	一六一	ミナミシナ (南支那)	一六八	メクローン川	一七〇
マンシウリ (満洲里)	一六一	ミナミタイヘイヤウテツドウ	一六八	メコン川	一七〇
マンジュニサン (萬壽山)	一六六	ミナミマンシウテツドウ	一六八	メソポタミヤ	一七〇
マンダレー	一六八	ミネソタ州	一六八	メナナ	一七〇
マンハタン島	一六九	ミネヤポリス	一六八	メツカ	一七〇

メナド	一四	モンツウ (蒙自)	一八四	ユーコン川	一八〇
メナン川	一四五	モントリオール	一八八	ユトフラテス川	一八〇
メリーランド	一四六	モンテビデオ	一八八	ユエ (順化)	一八〇
メルゲン (墨爾根)	一八	ヤウスコウ (楊子江)	一八〇	ユカタン半島	一八〇
メルプ	一八	ヤクツク地方	一八〇	ユタ	一八〇
メンイン (猛印)	一八	ヤクツク	一八〇	ユター州	一八〇
メーレンシウ	一八	ヤナオン	一八〇	ユダヤ (猶太)	一八〇
ミンチエ (蒙自)	一八	ヤプロノイタカダイ	一八〇	ユニオンタイヘイヤウテツドウ	一八〇
モウコ (蒙古)	一八	ヤルカンド (葉爾羌)	一八〇	ヨセミテ	一八〇
モスル	一八	ヤルマル半島	一八〇	ヨルダン川	一八〇
モリエンド	一八			ラオス (老撾)	一八〇
モルツカ諸島	一八				
モンタナ州	一八				

ラグアイラ……………三三三  
 ラッサ (拉萨)……………三三三  
 ラバズ……………三三三  
 ラブラドル……………三三三  
 ラブラドルカンリウ……………三三三  
 ラブラドルダイチ……………三三三  
 ラブラタ川……………三三三  
 ラホール……………三三三  
 ランダーレ (來貢)……………三三三  
 ランシウ (灤州)……………三三三  
 リーウドシヨタウ……………三三三  
 リーダアイランド……………三三三  
 リウコウタウ (劉公島)……………三三三

リ

リウジュトン (柳樹屯)……………三三三  
 リオグランデデルノルテ……………三三三  
 リオアジャネイロ……………三三三  
 リカイ……………三三三  
 リチモンド……………三三三  
 リマ……………三三三  
 リヤノス……………三三三  
 リユウコウ (龍口)……………三三三  
 リユウシウ (龍州)……………三三三  
 リユウシウテツドウ (龍州鐵道)……………三三三  
 リヨジュン (旅順)……………三三三  
 リヨウセイソク (龍井村)……………三三三

ル

ルイジアナ州……………三三三  
 ルイスビル……………三三三  
 ルソン (呂宋)……………三三三  
 レ……………三三三  
 レウガ (遼河)……………三三三  
 レウトウハンタウ (遼東半島)……………三三三  
 レウヤウ (遼陽)……………三三三  
 レツド川……………三三三  
 レナ……………三三三  
 レニングラード……………三三三  
 レンザンワン (連山灣)……………三三三

ロ

ローガン……………三三三  
 ローザンジェルズ……………三三三  
 ロードアイランドシウ……………三三三  
 ロサリオ……………三三三  
 ロッキンサンミヤク……………三三三  
 ロブノル (ロブ湖)……………三三三  
 ロライマ……………三三三  
 ロンカ島……………三三三  
 ロンボック……………三三三  
 ワーレス線……………三三三  
 ワイオミング州……………三三三

ワ

ワイスキ (淮水)……………三三三  
 ワシントン (華盛頓)……………三三三  
 ワシントン州……………三三三  
 ワットリング……………三三三  
 ヲンダ山脈 (宗達山脈)……………三三三

大正十四年十月二十五日印刷  
大正十四年十一月三日發行



(女學生の參考書)

女學生の世界地理 上卷

定價金壹圓貳拾五錢  
送料金拾貳錢

著者 高橋清次郎

發行者 牛込區西五軒町四十一番地 福山福太郎

代表者 牛込區西五軒町四十一番地 福山福太郎

印刷者 牛込區西五軒町四十一番地 福山威之助

東京市牛込區西五軒町四十一番地

發兌文洋社

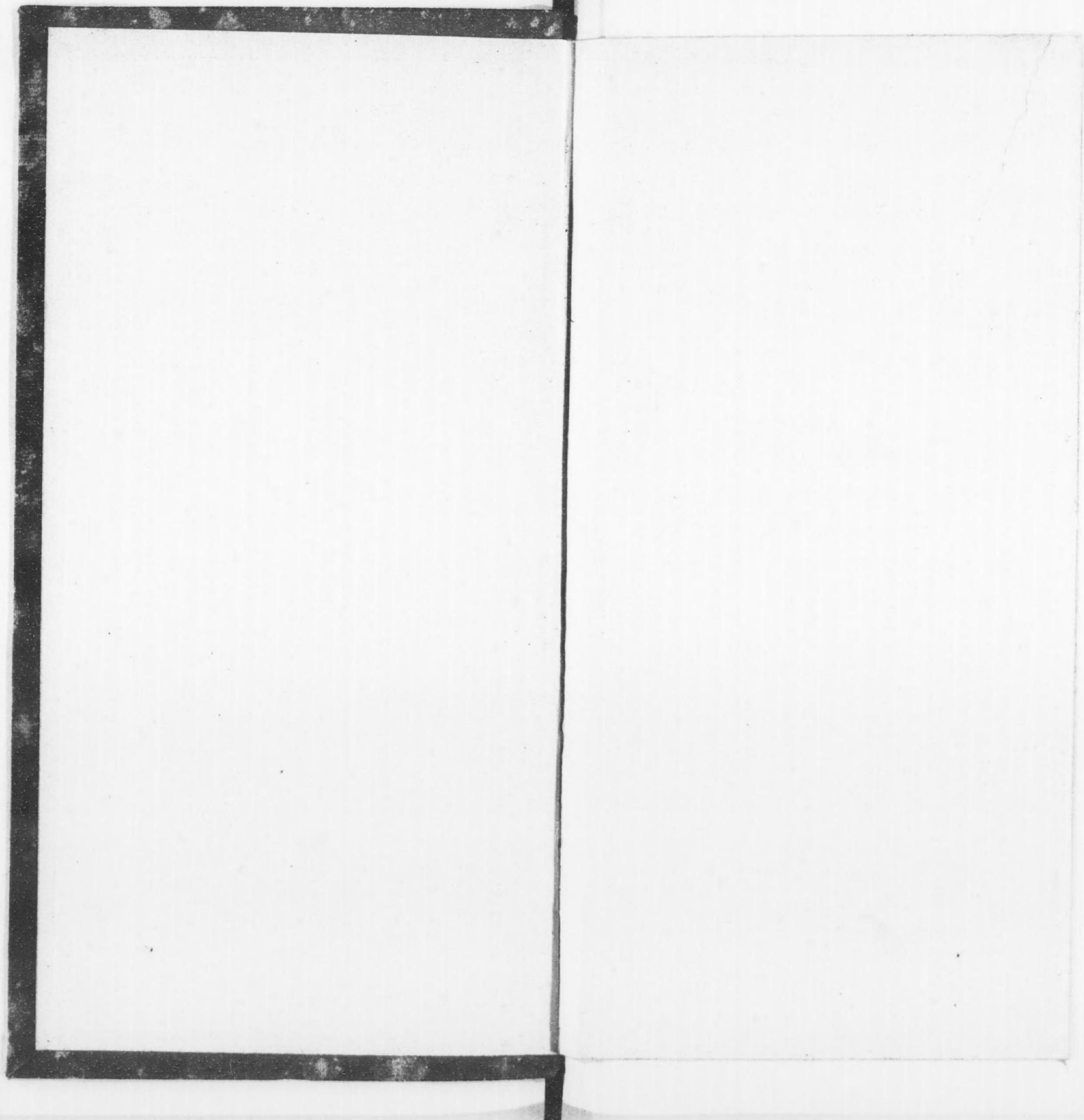
電話牛込九一六番  
振替東京一五〇九四番

## 續 刊 書 目

- 女學生。代數 東京女子高師教諭 中澤伊與吉先生  
同 算 術 東京女子高師教授 堀口きみこ先生  
同 幾 何 女子學習院教授 鈴木 元美先生  
同 動 物 東京女子高師教授 竹島 茂郎先生  
          文 檢 試 驗 委 員  
同 植 物 東京府立第3高女教諭 和田 精一先生  
同 鑛 物 同 同  
同 生理衛生 東京女子高師教授 竹島 茂郎先生  
同 物 理 東京女子高師教授 堀 七 藏先生  
          文 檢 試 驗 委 員  
同 日本地理 女子學習院教授 友納 養德先生  
同 世界地理(下卷)府立第1高女教諭 高橋清次郎先生  
同 地理概說 女子學習院教授 友納 養德先生  
同 日本歷史(上卷)東京女子高師教授 富士德治郎先生  
同 (下卷) 同 同  
同 東洋歷史 東京府立第3高女教諭 山岸 貫次先生  
同 西洋歷史 同 同  
同 國 語 東京女子高師教授 金子彦二郎先生  
同 作 文 同 同  
同 裁縫(和服) 東京女子高師教授 成 田 順先生  
同 裁縫(洋服) 同 同  
同 家 事 東京女子高師教授 堀 七 藏先生

以 下 逐 次 發 表





終

